

◆ 杉並区 ◆  
中小企業の景況

令和3年度第2四半期  
(令和3年7~9月)



杉並区産業振興センター

目 次

都内中小企業の景況（令和3年7月～9月期）	1
杉並区内中小企業の景況（令和3年7月～9月期）	2
杉並区内各業種別業況の動きと来期の予想	2
業種別業況の動き（実績）と来期の予想（東京都・杉並区の比較）	4
・ 製造業	6
・ 卸売業	9
・ 小売業	12
・ サービス業	16
・ 建設業	20
・ 不動産業	23
経営者の声	26
日銀短観	27
杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向	28
特別調査「中小企業の雇用環境について」	30
中小企業景況調査 比較表	33
中小企業景況調査 転記表	37

調査方法・対象と回収状況

- 1 調査機関 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部業務課
- 2 調査方法 信用金庫営業店から企業へ直接面接調査
- 3 調査時期 令和3年7～9月期を対象に令和3年9月上旬に実施
- 4 実施状況 129事業所




※新型コロナウイルス感染拡大にともない、調査にご協力いただけない事業所が多数生じていることから、「調査対象事業所数」及び「未集計事業所数」は把握不能となっております。

[回答事業所数の規模別内訳]

単位：事業所数（％）

	有効回答 事業所数	4人以下	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50～ 99人	100～ 199人	200～ 300人
製 造 業	10	1	4	3	0	1	0	1	0	0
卸 売 業	13	8	1	1	2	1	0	0	0	0
小 売 業	31	19	10	2	0	0	0	0	0	0
サ ー ビ ス 業	31	14	7	3	0	3	1	2	1	0
建 設 業	26	7	8	4	4	1	2	0	0	0
不 動 産 業	18	10	4	2	0	1	1	0	0	0
業 種 計	129	59 (45.7)	34 (26.4)	15 (11.6)	6 (4.7)	7 (5.4)	4 (3.1)	3 (2.3)	1 (0.8)	0 (0.0)

判断表 業種別定点指標値

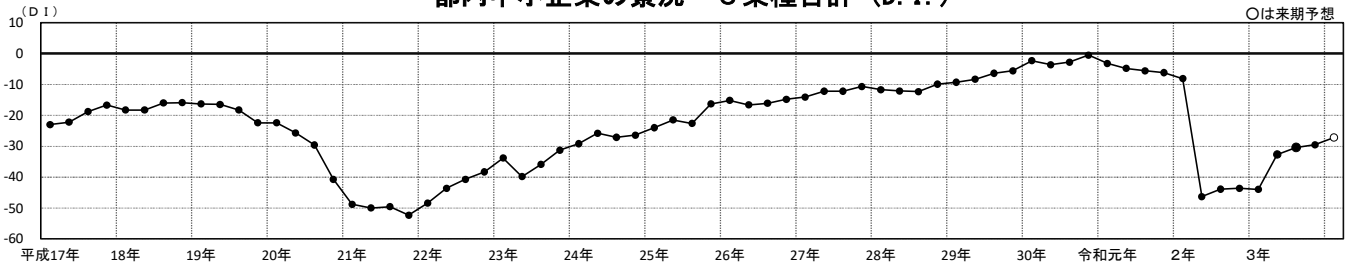
	大きく上昇 	上 昇 	やや上昇 	横ばい 	やや下降 	下 降 	大きく下降 
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

← 好調  不調 →

# 都内中小企業の景況（令和3年7月～9月期）

## 都内の景況感 2期連続改善の動き ～材料・仕入価格の上昇を懸念～

都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は4度目の緊急事態宣言により、営業活動自粛の影響を受けた飲食店関連企業、娯楽業など個人消費関連企業にとって厳しい経営環境となり、不調が続いていたものの、全体で△29.5（前期は△32.7）と前期に比べ3.2ポイント改善し、2期連続で回復の動きとなった。

来期は、緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種の更なる普及とともに経済活動が正常化に向かうことが期待されることから、不動産業を除く全ての業種で改善が続くと予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-37.8	-31.5	6.3	-28.5	3.0
卸売業	-38.2	-33.0	5.2	-29.0	4.0
小売業	-42.2	-41.7	0.5	-39.8	1.9
サービス業	-35.8	-31.9	3.9	-29.4	2.5
建設業	-9.8	-11.0	-1.2	-9.1	1.9
不動産業	-12.5	-9.4	3.1	-12.2	-2.8
総合	-32.7	-29.5	3.2	-27.2	2.3

※前期（令和3年4～6月） 末期（令和3年10～12月）

### <製造業>

業況は落ち込んだ底から脱し2期連続で改善した。売上額・受注残・収益でも電子部品や半導体需要の高まりを背景に水面下ながら引続き改善の動きとなった。価格面では、販売価格はゆるやかな上昇傾向が続き、原材料価格の上昇が強まった。資金繰りは前期同様の厳しさで、原材料在庫については前期並の不足感が続いている。

来期の業況は引続き改善すると見ている。売上額・受注残・収益でも持ち直しが期待できると予想している。価格面では販売価格は今期並の水準で推移し、原材料価格の上昇はわずかながら落ち着きを取り戻すと見ている。

### <卸売業>

業況は化学製品・建築材料を中心に回復傾向が続いた。売上額・収益については5期連続の改善が続いている。価格面では仕入価格が上昇傾向を強め、販売価格についても上昇に転じた。

来期の業況は引続き改善が続くと予想しており、売上額・収益ともに悪化幅を縮小させ持ち直すと見ている。価格面では販売価格、仕入価格の上昇はともに落ち着きを見せると予想している。

### <小売業>

ワクチン接種後の発熱、痛みを和らげる市販薬の需要拡大を受けて医薬品が好調であったものの、業況は前期同様の厳しさで他業種と比べ回復が遅れている。売上額・収益はともに前期並で推移した。価格面では、販売価格・仕入価格ともにわずかに上昇した。

緊急事態宣言解除にともない経済活動が正常化に向かい人出が戻ることを期待し、売上額・収益の改善を予想しているものの、来期の業況は今期並と見ている。価格面では販売価格は変動なく推移し、仕入価格の上昇はわずかに弱まると予想している。

### <サービス業>

業況は度重なる緊急事態宣言の発令・延長も、ワクチン接種率の向上による人流の増加を受けて洗濯・理容・美容・娯楽などが上向き、ゆるやかな改善傾向が窺えた。売上額は5期連続で回復し、収益についても持ち直しが見られた。価格面では料金価格・材料価格は前期並に推移した。資金繰りは前期同様苦しさに変化は見られない。

来期の業況は、緊急事態宣言の全面解除を受け、行動制限が緩和されることから回復傾向を維持すると予想している。売上額・収益においても改善が進むことを期待している。価格面では料金価格は変動なく推移し、材料価格の上昇はわずかに落ち着きを取り戻すと見ている。

### <建設業>

他業種と比べ回復が早かった業況は足踏み状態となった。売上額・受注残・施工高・収益においても変動なく推移した。価格面では請負価格はほぼ横這いで、材料価格はウッドショック等の影響を受けて3期連続の上昇傾向となった。

来期の業況はわずかに上向くと予想している。受注残は変動なく推移し、売上額・施工高・収益はわずかな改善が見られると予想している。価格面では請負価格・材料価格ともに今期並で推移すると予想している。

### <不動産業>

業況はゆるやかな改善が続き、売上額・収益においても回復基調となった。価格面では、前期上昇に転じた販売価格は更に上昇傾向を強め、仕入価格は前期並の高い水準となっている。資金繰りはわずかに窮屈感を脱した。

来期の業況は建売・土地売買の動きが弱まり、若干落ち込むと予想している。価格面では販売価格・仕入価格ともにわずかに落ち着きを取り戻すと見ている。

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

### [注]

○D. I (Diffusion Index)の略

D. I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D. I. (季節調整済)

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. I を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I 値です。修正値ともいいます。

○傾向値

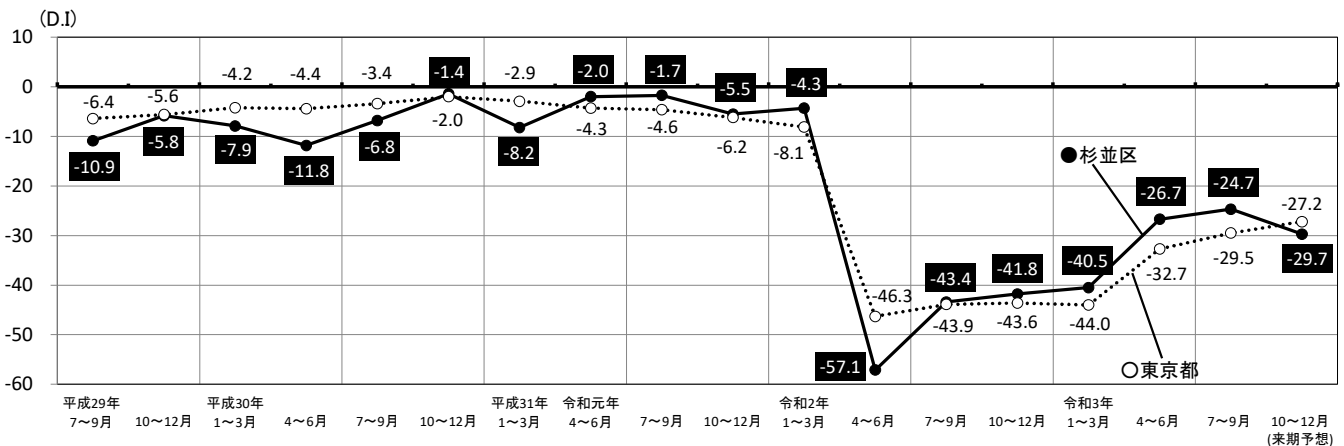
傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

## 杉並区内中小企業の景況（令和3年7月～9月期）

業況判断D.I.（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-24.7と前期（令和3年4月～6月）の-26.7に比べ2.0ポイント上昇した。業種別に見ると、製造業、小売業、サービス業は厳しさが大幅に弱まり、卸売業は悪化幅が幾分縮小した。建設業は再び悪化傾向がかなり強まり、不動産業は再び厳しい状況に大きく転じた。

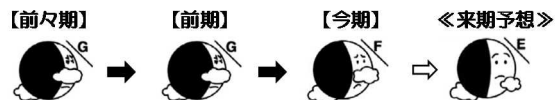
前期大幅に改善した不動産業と建設業が良化の兆しが見えたものの再び悪化傾向を強めたが、製造業、小売業、サービス業は5期前のコロナショック以降で悪化度合いが最も縮小している。

来期（令和3年10月～12月）の見込みについては、調査時期が9月上旬でコロナ感染者数が減少傾向にあったものの緊急事態宣言中であったことから、悪化幅が多少強まると予想されている。業種別に見ると、製造業と不動産業はかなり持ち直すが卸売業、小売業、建設業は悪化幅が拡大すると見込まれている。サービス業は今期並の悪化水準で推移すると予想している。



## 杉並区内各業種別業況の動きと来期の予想

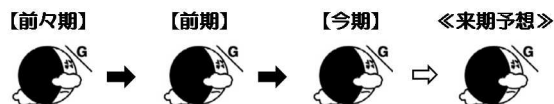
### 製造業



業況は厳しい状況ながらもかなり持ち直した。売上額は大きく持ち直し、受注残は減少幅が大幅に縮小した。収益も極端に改善した。販売価格は前期同様の減少幅で推移し、原材料価格も前期並の上昇幅で推移した。原材料在庫は過剰からわずかに不足に転じた。

来期の見通しについて、業況は今期に引き続き改善傾向がさらに進むと見込まれている。売上額と受注残も大幅に改善するが、収益は今期並の水準で推移すると予想している。

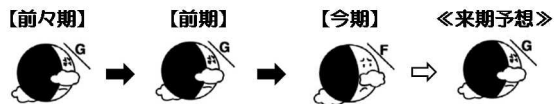
### 卸売業



業況は厳しい状況が続いているものの悪化幅が幾分縮小した。売上額は減少傾向が多少和らぎ、収益は減益幅が大きく縮小した。販売価格は下降傾向が大きく改善されたが、仕入価格はさらに上昇し厳しさを強めた。在庫数量は過剰感が大きく増した。

来期の見通しについて、業況は再び悪化傾向が大きく強まると見込まれている。売上額と収益は今期並の減少・減益幅で推移すると予想されている。

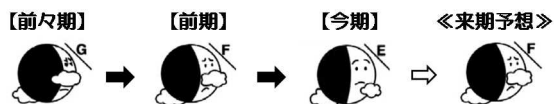
## 小売業



業況は厳しい状況ながら大幅に持ち直した。売上額と収益は減少・減益幅が大幅に縮小した。販売価格は幾分上昇し良好感が現れたが、仕入価格は大幅に上昇し厳しさが増した。在庫数量は過剰感がかなり改善された。

来期の見通しについて、業況は再び悪化傾向が大きく強まると見込まれている。売上額は減少幅がわずかに拡大するが、収益は今期並の減益幅で推移すると予想されている。

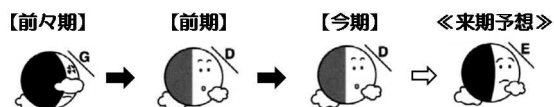
## サービス業



業況は悪化傾向ながらかなり持ち直した。売上額と収益はともに減少・減益幅が大幅に縮小した。料金価格は下降からわずかに上昇に転じた。材料価格は上昇が弱まり落ち着きを見せた。

来期の見通しについて、業況は前期同様の厳しさが続く見込まれているが、売上額は減少幅がかなり縮小し、収益も多少改善すると予想している。

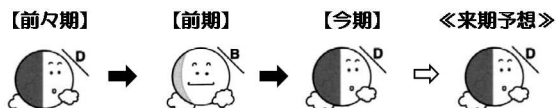
## 建設業



業況は再び悪化傾向がかなり強まった。売上額と収益は減少・減益幅が大幅に拡大し、受注残と施工高も増勢から極端に減少に転じて厳しさを強めた。請負価格は再び下降傾向を大きく強め、材料価格は非常に大きく上昇し厳しさが増した。在庫数量は不足感がわずかに強まった。

来期の見通しについて、業況は悪化傾向を大きく強めると見込まれている。売上額は減少がかなり強まり、受注残と収益は減少・減益幅が若干拡大し、施工高は今期並の減少水準で推移すると予想している。

## 不動産業

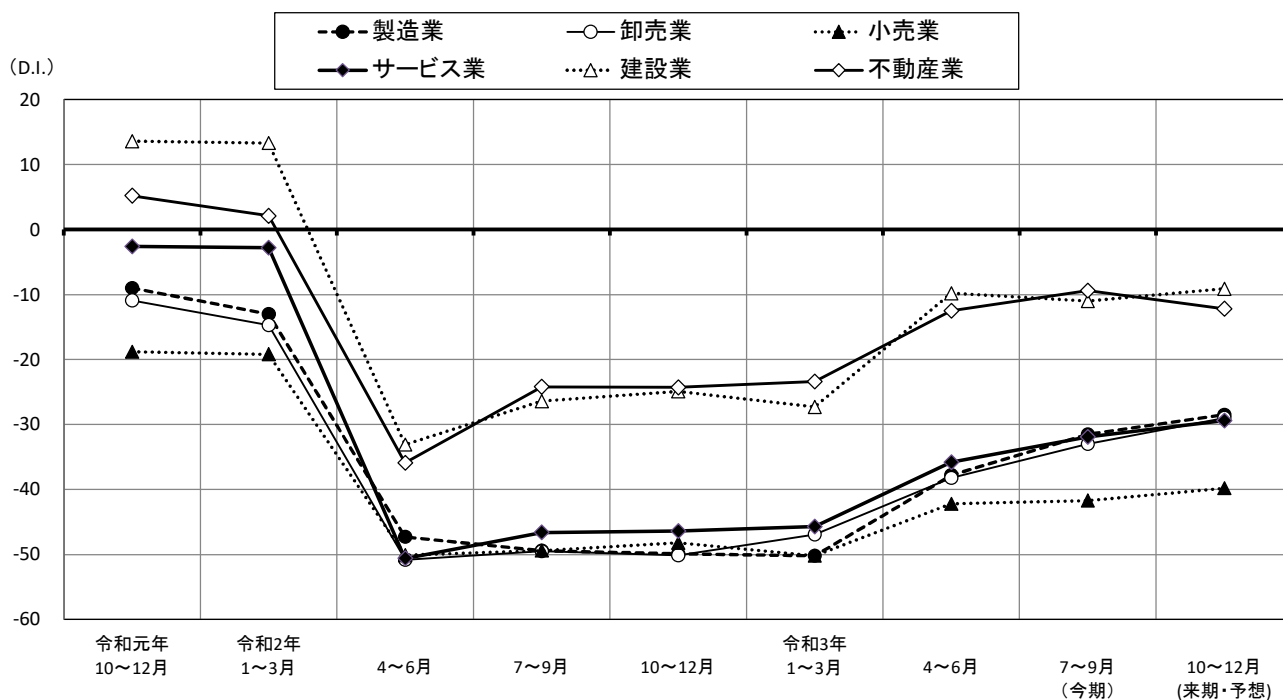


業況は再び厳しい状況に大きく転じた。売上額は減少幅がかなり拡大したが、収益は幾分改善した。販売価格は横這いで推移したが、仕入価格は上昇がかなり弱まり厳しさが和らいだ。在庫数量は不足が大幅に緩和された。

来期の見通しについて、業況は水面下ながら大きく持ち直すとしている。売上額は減少傾向が極端に改善しわずかに増加に転じ、収益も減益幅が大きく縮小すると予想している。

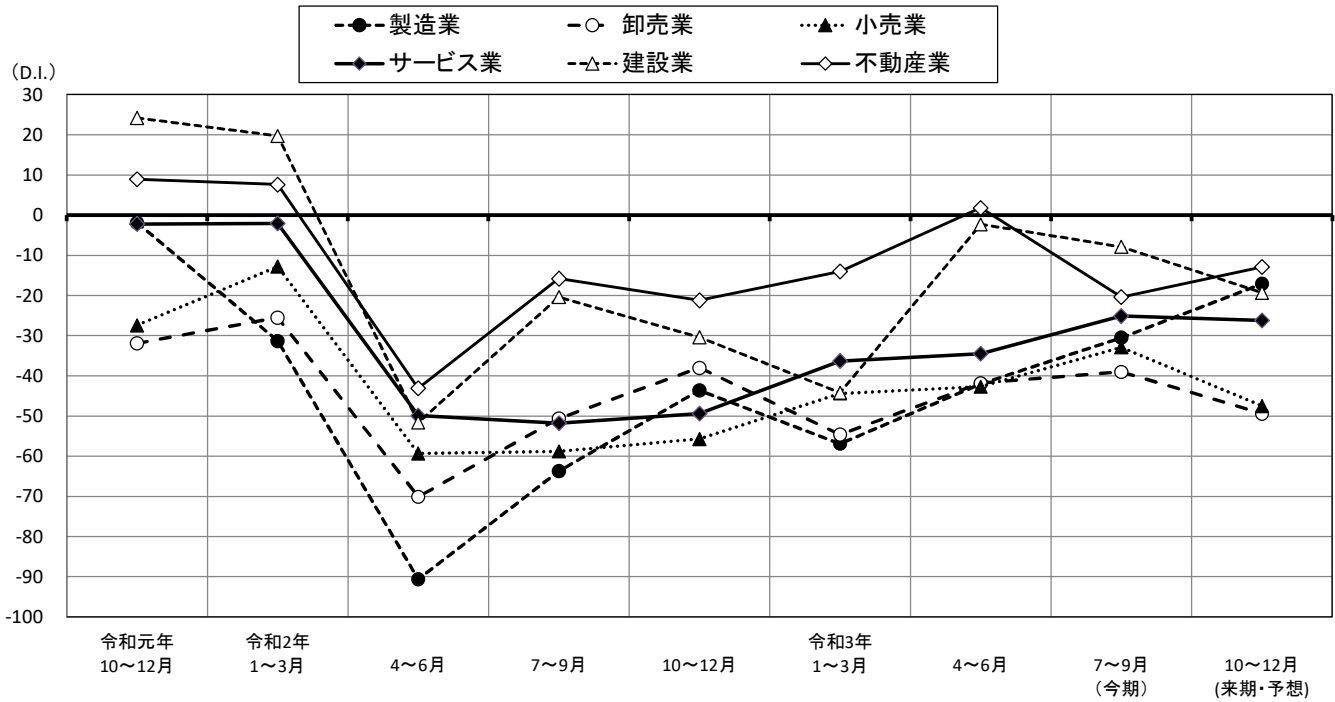
業種別業況の動き(実績)と来期の予想(東京都・杉並区の比較)

東京都



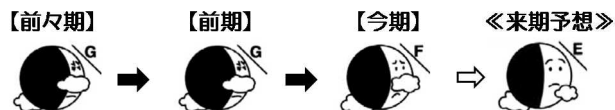
	令和元年 10~12月	令和2年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和3年 1~3月	4~6月	7~9月 (今期)	前期からの増減	10~12月 (来期・予想)	今期からの増減
製造業	-9.0	-13.0	-47.3	-49.4	-49.9	-50.2	-37.8	-31.5	6.3	-28.5	3.0
卸売業	-10.9	-14.7	-50.8	-49.5	-50.1	-46.9	-38.2	-33.0	5.2	-29.0	4.0
小売業	-18.8	-19.2	-50.1	-49.4	-48.2	-50.2	-42.2	-41.7	0.5	-39.8	1.9
サービス業	-2.6	-2.8	-50.6	-46.6	-46.4	-45.7	-35.8	-31.9	3.9	-29.4	2.5
建設業	13.6	13.3	-33.1	-26.4	-24.9	-27.3	-9.8	-11.0	-1.2	-9.1	1.9
不動産業	5.2	2.1	-35.9	-24.2	-24.3	-23.4	-12.5	-9.4	3.1	-12.2	-2.8
総合	-6.2	-8.1	-46.3	-43.9	-43.6	-44.0	-32.7	-29.5	3.2	-27.2	2.3

# 杉並区



	令和元年 10~12月	令和2年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和3年 1~3月	4~6月	7~9月 (今期)	前期から の増減	10~12月 (来期・予想)	今期から の増減
製 造 業	-1.9	-31.3	-90.6	-63.7	-43.6	-56.9	-42.0	-30.5	11.5	-17.1	13.4
卸 売 業	-31.9	-25.5	-70.1	-50.6	-38.0	-54.6	-41.8	-39.0	2.8	-49.4	-10.4
小 売 業	-27.4	-12.8	-59.3	-58.8	-55.7	-44.4	-42.7	-32.9	9.8	-47.5	-14.6
サ ー ビ ス 業	-2.2	-2.1	-49.9	-51.8	-49.4	-36.3	-34.5	-25.1	9.4	-26.2	-1.1
建 設 業	24.2	19.7	-51.6	-20.4	-30.4	-44.2	-2.3	-7.9	-5.6	-19.3	-11.4
不 動 産 業	8.9	7.6	-43.1	-15.8	-21.2	-14.0	1.8	-20.4	-22.2	-12.9	7.5
総 合	-5.5	-4.3	-57.1	-43.4	-41.8	-40.5	-26.7	-24.7	2.0	-29.7	-5.0

# 製 造 業



注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## 業 況

業況（ $\Delta 56.9 \rightarrow \Delta 42.0 \rightarrow \Delta 30.5$ ）は厳しい状況ながらもかなり持ち直した。

## 売上額・収益・受注残

売上額（ $\Delta 55.5 \rightarrow \Delta 32.1 \rightarrow \Delta 22.0$ ）は大きく持ち直し、受注残（ $\Delta 65.1 \rightarrow \Delta 42.5 \rightarrow \Delta 22.5$ ）は減少幅が大幅に縮小した。収益（ $\Delta 57.5 \rightarrow \Delta 34.4 \rightarrow \Delta 2.7$ ）も極端に改善した。

## 価格・原材料在庫動向

販売価格（ $\Delta 7.9 \rightarrow \Delta 8.6 \rightarrow \Delta 9.7$ ）は前期同様の減少幅で推移し、原材料価格（ $\Delta 1.8 \rightarrow 2.5 \rightarrow 3.7$ ）も前期並の上昇幅で推移した。原材料在庫（ $7.6 \rightarrow 1.1 \rightarrow \Delta 2.2$ ）は過剰からわずかに不足に転じた。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り（ $\Delta 8.8 \rightarrow 6.8 \rightarrow 26.7$ ）は楽な状況が極端に強まったが、借入難易度（ $20.0 \rightarrow 20.0 \rightarrow 0.0$ ）は大幅に後退し容易さがなくなった。

設備投資を「実施した」企業（ $9.1\% \rightarrow 9.1\% \rightarrow 10.0\%$ ）は前期から0.9ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（60.0%）が今期も最多となり、以下「利幅の縮小」（50.0%）、「大手企業との競争の激化」と「同業者間の競争の激化」（各30.0%）、「原材料高」、「工場・機械の狭小・老朽化」、「人手不足」（各10.0%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（100.0%）は前期同様すべての企業が挙げて今期も最多となった。以下「経費を節減する」（70.0%）、「人材を確保する」と「教育訓練を強化する」（各20.0%）、「提携先を見つける」、「工場・機械を増設・移転する」、「新製品・技術を開発する」、「情報力を強化する」（各10.0%）の順であった。

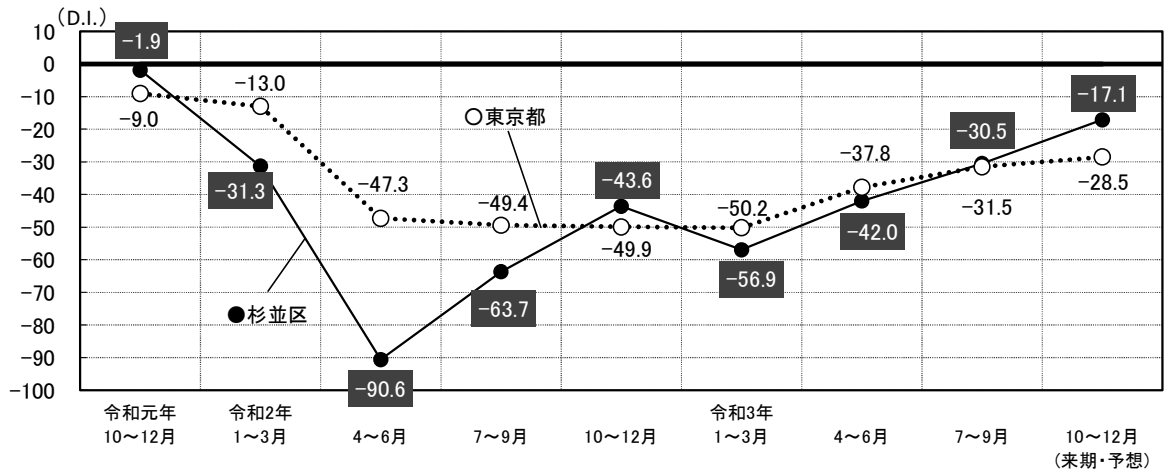
## 来 期 の 見 通 し

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 17.1$  予想）は今期に引き続き改善傾向がさらに進むと見込まれている。売上額（ $\Delta 4.5$  予想）と受注残（ $\Delta 15.2$  予想）も大幅に改善するが、収益（ $\Delta 4.1$  予想）は今期並の水準で推移すると予想している。

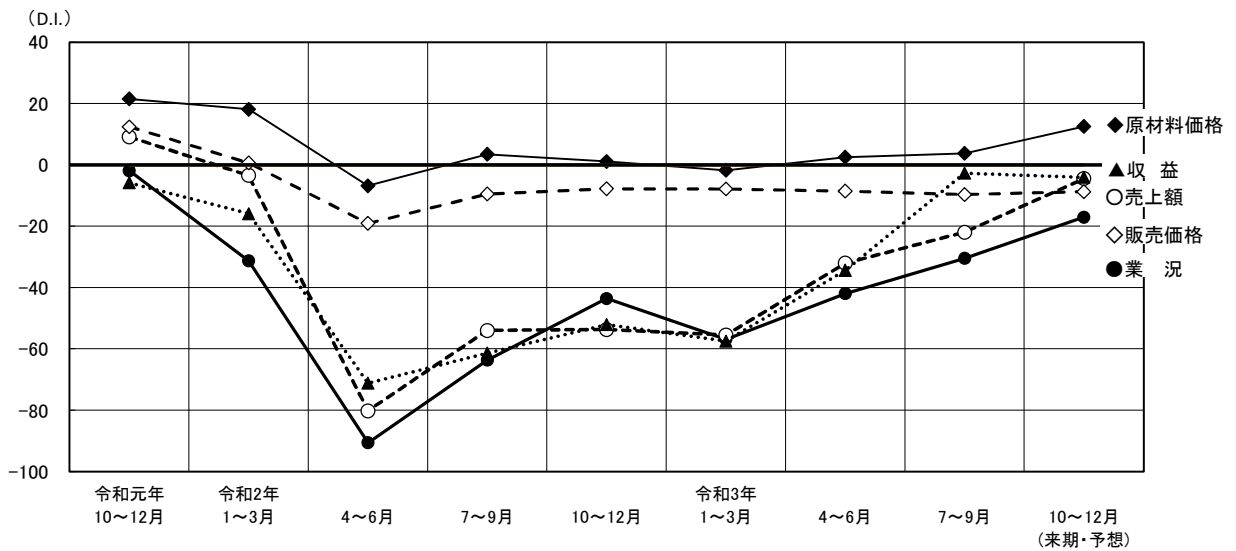
価格面では、販売価格（ $\Delta 8.8$  予想）は今期並の下降水準で推移したが、原材料価格（12.5 予想）はさらに上昇し厳しさが増すと予想している。



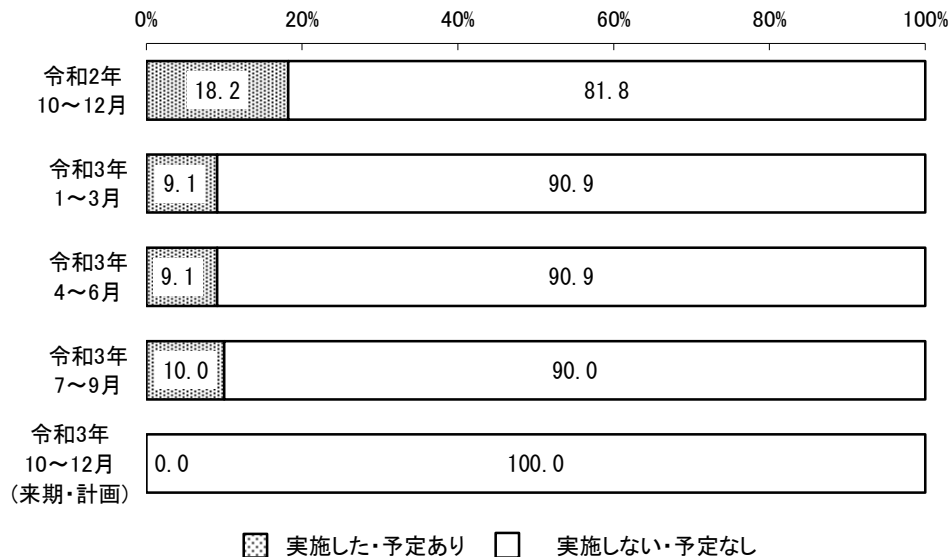
## 【製造業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予想

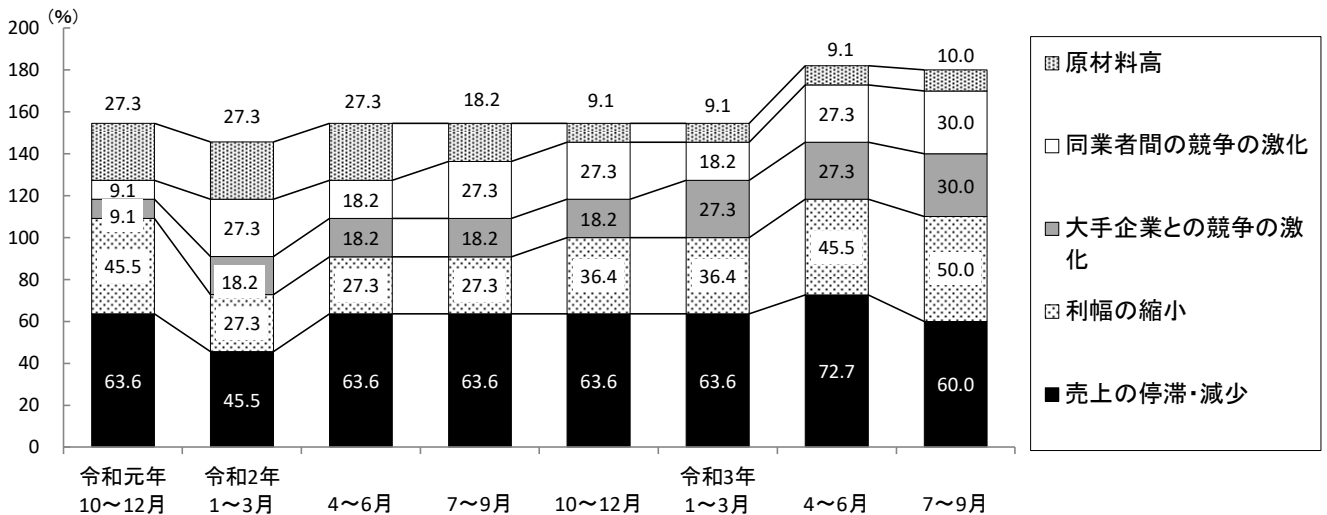


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

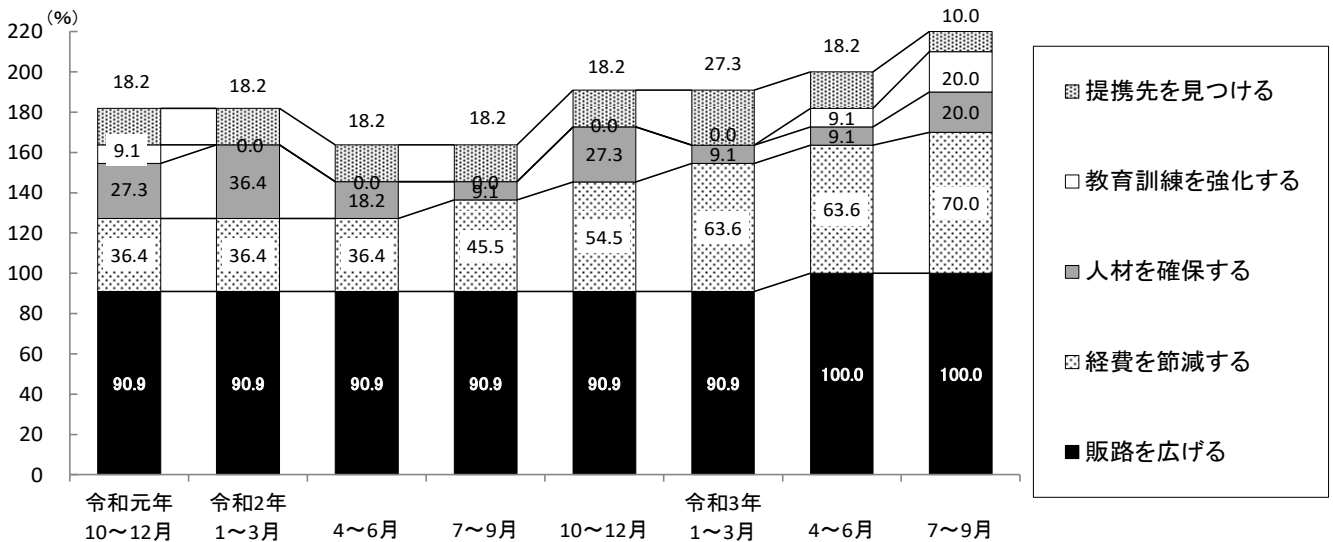


(注:今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期	
売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	72.7%	売上の停滞・減少	60.0%
利幅の縮小	36.4%	利幅の縮小	36.4%	利幅の縮小	45.5%	利幅の縮小	50.0%
同業者間の競争の激化	27.3%	大手企業との競争の激化	27.3%	大手企業との競争の激化 同業者間の競争の激化	27.3%	大手企業との競争の激化 同業者間の競争の激化	30.0%
人手不足 大手企業との競争の激化	18.2%	原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	9.1%	原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	9.1%	原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 人手不足	10.0%

## 重点経営施策

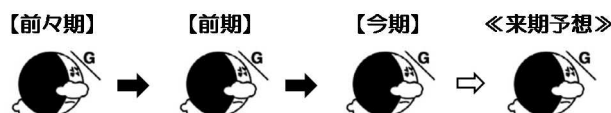
(複数回答)



(注:今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期	
販路を広げる	90.9%	販路を広げる	90.9%	販路を広げる	100.0%	販路を広げる	100.0%
経費を節減する	54.5%	経費を節減する	63.6%	経費を節減する	63.6%	経費を節減する	70.0%
人材を確保する	27.3%	提携先を見つける	27.3%	提携先を見つける	18.2%	人材を確保する 教育訓練を強化する	20.0%
提携先を見つける	18.2%	人材を確保する 工場・機械を増設・移転する	9.1%	人材を確保する 工場・機械を増設・移転する	9.1%	提携先を見つける 工場・機械を増設・移転する	10.0%
工場・機械を増設・移転する 機械化を推進する	9.1%	新製品・技術を開発する 情報力を強化する	9.1%	新製品・技術を開発する 情報力を強化する 教育訓練を強化する	9.1%	新製品・技術を開発する 情報力を強化する	10.0%

# 卸 売 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 54.6 \rightarrow \Delta 41.8 \rightarrow \Delta 39.0$ ) は厳しい状況が続いているものの悪化幅が幾分縮小した。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 54.9 \rightarrow \Delta 35.0 \rightarrow \Delta 32.0$ ) は減少傾向が多少和らぎ、収益 ( $\Delta 53.5 \rightarrow \Delta 40.1 \rightarrow \Delta 29.8$ ) は減益幅が大きく縮小した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 13.3 \rightarrow \Delta 7.3 \rightarrow \Delta 0.7$ ) は下降傾向が大きく改善されたが、仕入価格 ( $19.1 \rightarrow 15.2 \rightarrow 21.6$ ) はさらに上昇し厳しさを強めた。

在庫数量 ( $\Delta 2.9 \rightarrow 1.7 \rightarrow 8.0$ ) は過剰感が大きく増した。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 19.1 \rightarrow \Delta 13.3 \rightarrow \Delta 30.2$ ) は窮屈感が大幅に強まり、借入難易度 ( $\Delta 23.1 \rightarrow \Delta 21.5 \rightarrow \Delta 25.0$ ) も厳しさが幾分増した。

設備投資を「実施した」企業 ( $7.1\% \rightarrow 21.4\% \rightarrow 7.7\%$ ) は前期から13.7ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(61.5%) が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(38.5%)、「利幅の縮小」(30.8%)、「仕入先からの値上げ要請」(15.4%)、「取引先の減少」、「為替レートの変動」、「大手企業・工場の縮小・撤退」、「人手不足」、「流通経路の変化による競争の激化」、「天候の不順」、「店舗の狭小・老朽化」、「小口注文・多頻度配送の増加」、「人件費の増加」(以上9項目各7.7%) の順であった。

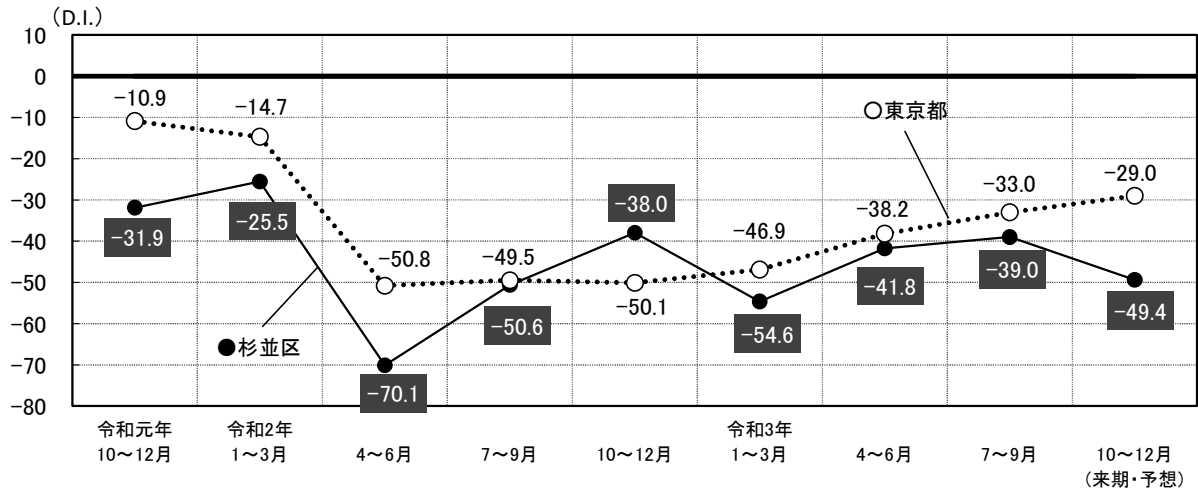
重点経営施策では、「販路を広げる」(69.2%) が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」(61.5%)、「情報力を強化する」(23.1%)、「人材を確保する」(15.4%)、「流通経路の見直しをする」、「労働条件を改善する」、「取引先を支援する」、「機械化を推進する」、「提携先を見つける」(以上5項目各7.7%) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

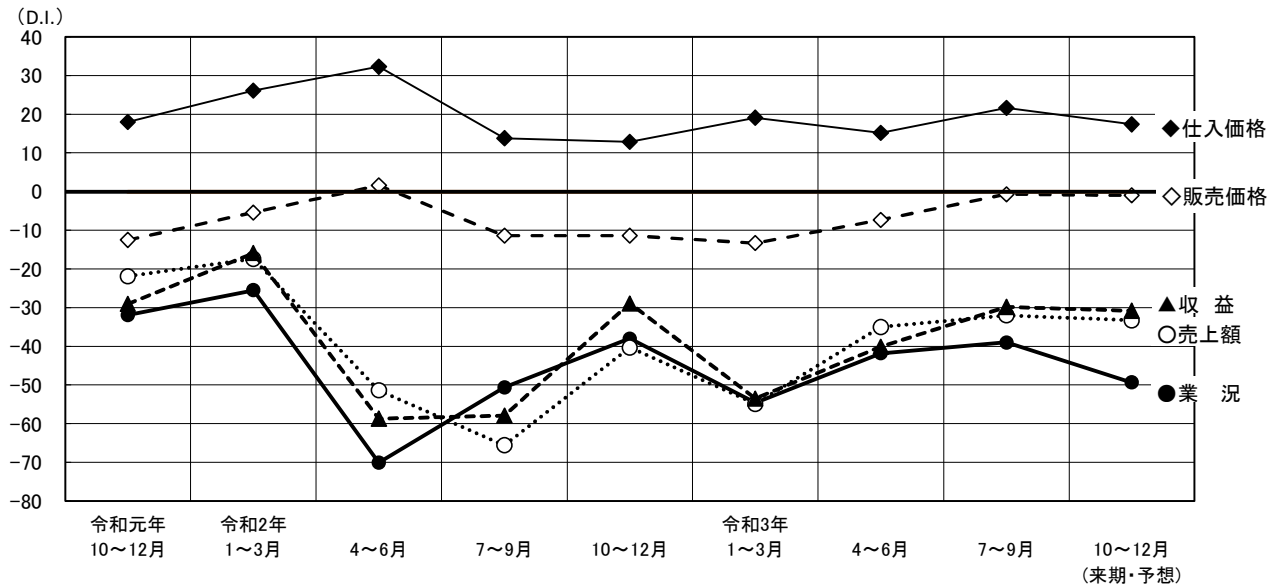
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 49.4$  予想) は再び悪化傾向が大きく強まると見込まれている。売上額 ( $\Delta 33.3$  予想) と収益 ( $\Delta 30.8$  予想) は今期並の減少・減益幅で推移すると予想されている。

価格面では、販売価格 ( $\Delta 1.0$  予想) は今期同様の水準が続くが、仕入価格 (17.4 予想) は上昇傾向がわずかに弱まると見込まれている。

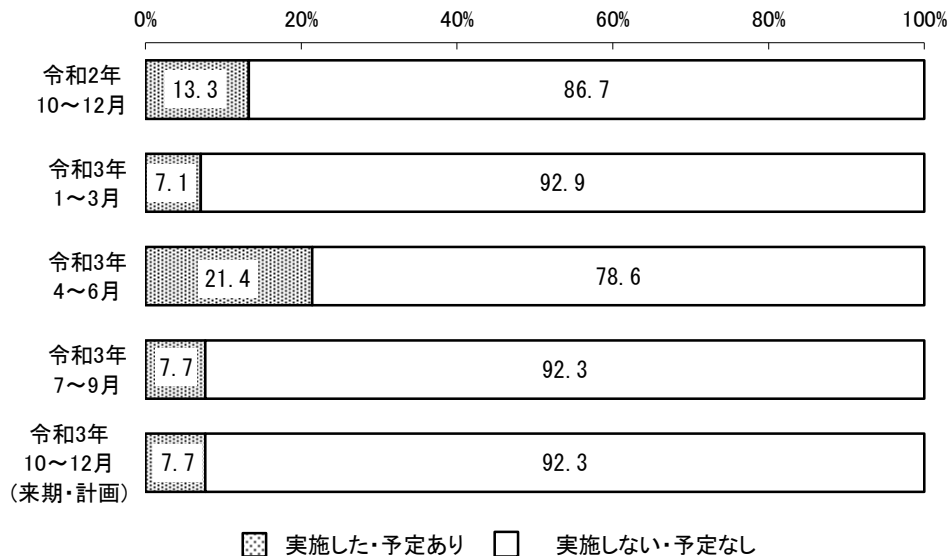
## 【卸売業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想

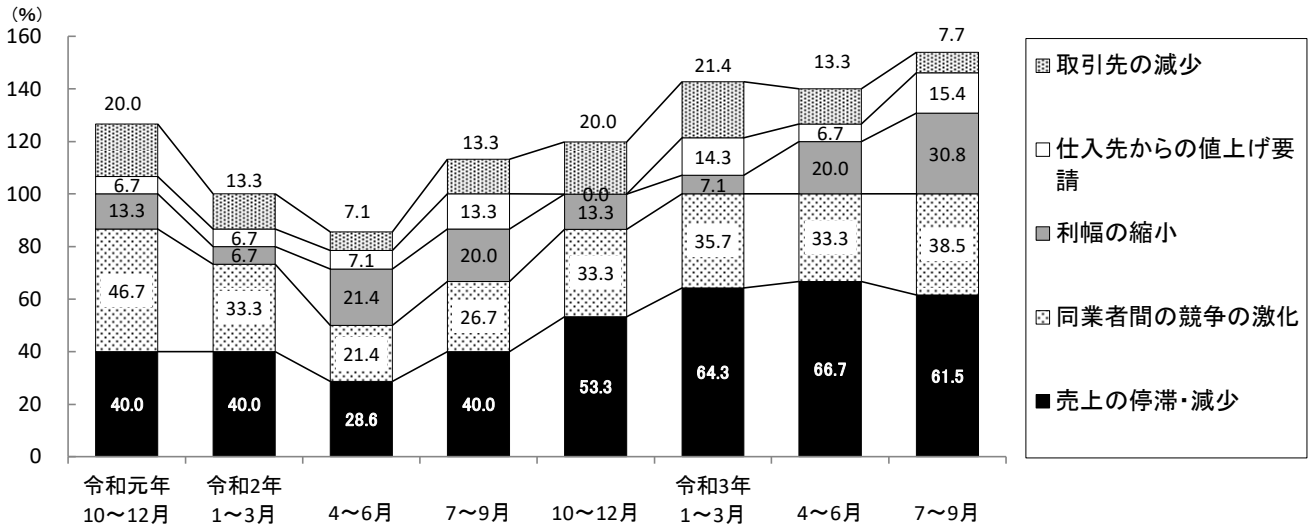


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

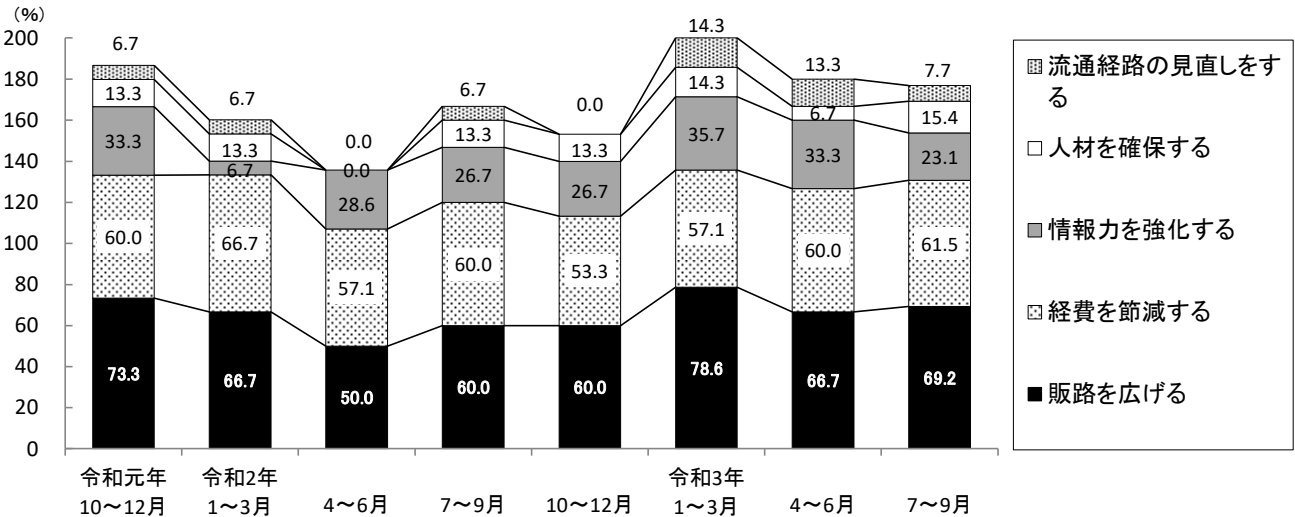
(複数回答)



令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期	
売上の停滞・減少	53.3%	売上の停滞・減少	64.3%	売上の停滞・減少	66.7%	売上の停滞・減少	61.5%
同業者間の競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	35.7%	同業者間の競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	38.5%
取引先の減少	20.0%	取引先の減少	21.4%	利幅の縮小	20.0%	利幅の縮小	30.8%
利幅の縮小/人手不足 為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退 販売商品の不足	13.3%	人手不足 為替レートの変動 仕入先からの値上げ要請	14.3%	取引先の減少 為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退	13.3%	仕入先からの値上げ要請	15.4%
						取引先の減少/為替レートの変動/大手企業・工場の縮小・撤退/人手不足/流通経路の変化による競争の激化/天候の不順/店舗の狭小・老朽化/小口注文・多頻度配送の増加/人件費の増加	7.7%

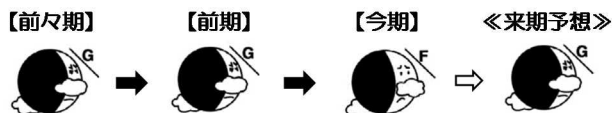
## 重点経営施策

(複数回答)



令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期	
販路を広げる	60.0%	販路を広げる	78.6%	販路を広げる	66.7%	販路を広げる	69.2%
経費を節減する	53.3%	経費を節減する	57.1%	経費を節減する	60.0%	経費を節減する	61.5%
情報力を強化する	26.7%	情報力を強化する	35.7%	情報力を強化する	33.3%	情報力を強化する	23.1%
人材を確保する 教育訓練を強化する	13.3%	人材を確保する 流通経路の見直しをする 機械化を推進する	14.3%	流通経路の見直しをする 人材を確保する/品揃えを充実する 労働条件を改善する/教育訓練を強化する/取引先を支援する/提携先を見つめる/新しい事業を始める	13.3%	人材を確保する 流通経路の見直しをする/労働条件を改善する/取引先を支援する/機械化を推進する/提携先を見つめる	7.7%

# 小 売 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 44.4 \rightarrow \Delta 42.7 \rightarrow \Delta 32.9$ ) は厳しい状況ながら大幅に持ち直した。

業種別で見ると、「飲食店」 ( $\Delta 82.0 \rightarrow \Delta 75.3 \rightarrow \Delta 62.9$ ) は深刻な状況は続くものの徐々に改善してきており、「飲食料品」 ( $\Delta 2.7 \rightarrow \Delta 24.2 \rightarrow \Delta 8.4$ ) も大幅に持ち直したが、「衣服、呉服、身の回り品」 ( $\Delta 32.7 \rightarrow \Delta 6.0 \rightarrow \Delta 36.6$ ) は再び極端に悪化傾向を強めた。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 43.1 \rightarrow \Delta 35.9 \rightarrow \Delta 29.3$ ) と収益 ( $\Delta 44.1 \rightarrow \Delta 40.2 \rightarrow \Delta 29.8$ ) は減少・減益幅が大幅に縮小した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 3.3 \rightarrow 0.0 \rightarrow 3.2$ ) は幾分上昇し良好感が現れたが、仕入価格 ( $3.1 \rightarrow 7.0 \rightarrow 14.9$ ) は大幅に上昇し厳しさが増した。

在庫数量 ( $12.1 \rightarrow 18.0 \rightarrow 10.4$ ) は過剰感がかなり改善された。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 46.2 \rightarrow \Delta 36.0 \rightarrow \Delta 33.6$ ) は窮屈感がわずかに緩和したが、借入難易度 ( $\Delta 8.0 \rightarrow \Delta 3.9 \rightarrow \Delta 12.5$ ) は大幅に厳しさが増した。

設備投資を「実施した」企業 ( $6.3\% \rightarrow 6.1\% \rightarrow 6.5\%$ ) は前期から0.4ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」 (58.1%) が今期も最多となり、以下、「同業者間の競争の激化」 (29.0%)、「人手不足」 (22.6%)、「商店街の集客力の低下」、「店舗の狭小・老朽化」 (各19.4%) の順であった。

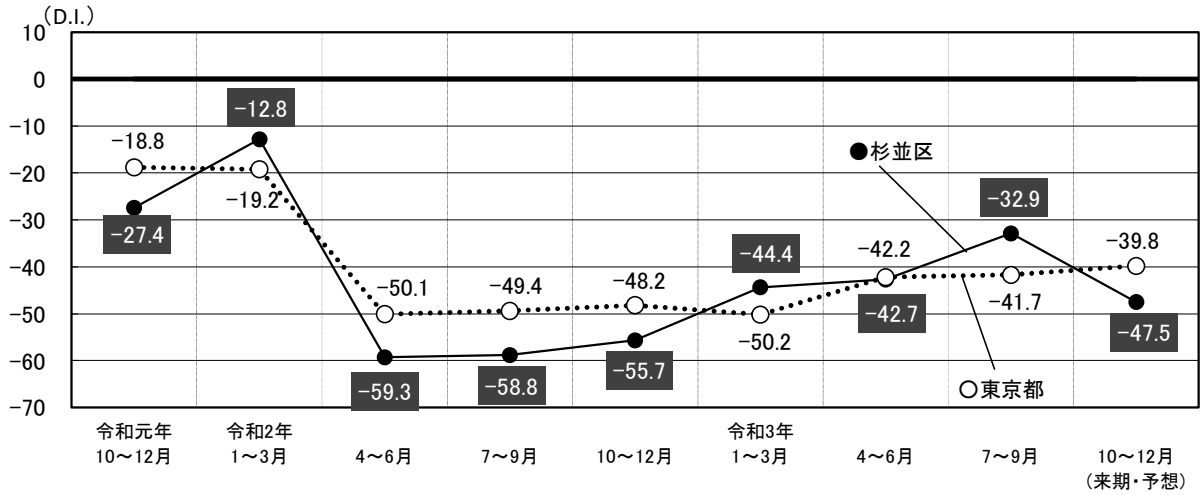
重点経営施策では、「経費を節減する」 (38.7%) が今期は単独で最多となった。以下、「宣伝・広告を強化する」 (32.3%)、「人材を確保する」 (22.6%)、「品揃えを改善する」 (19.4%)、「商店街事業を活性化させる」 (16.1%) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

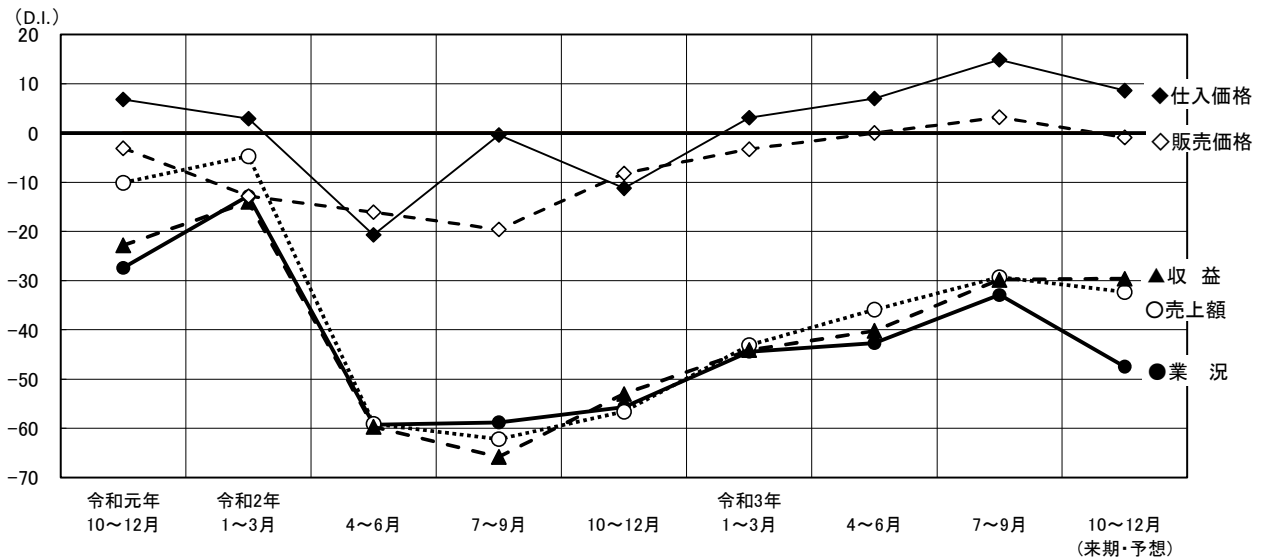
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 47.5$  予想) は再び悪化傾向が大きく強まると見込まれている。売上額 ( $\Delta 32.3$  予想) は減少幅がわずかに拡大するが、収益 ( $\Delta 29.6$  予想) は今期並の減益幅で推移すると予想されている。

価格面では、販売価格 ( $\Delta 0.9$  予想) は上昇から下降に転じるが、仕入価格 (8.6 予想) は大きく下降して落ち着きを見せると予想している。

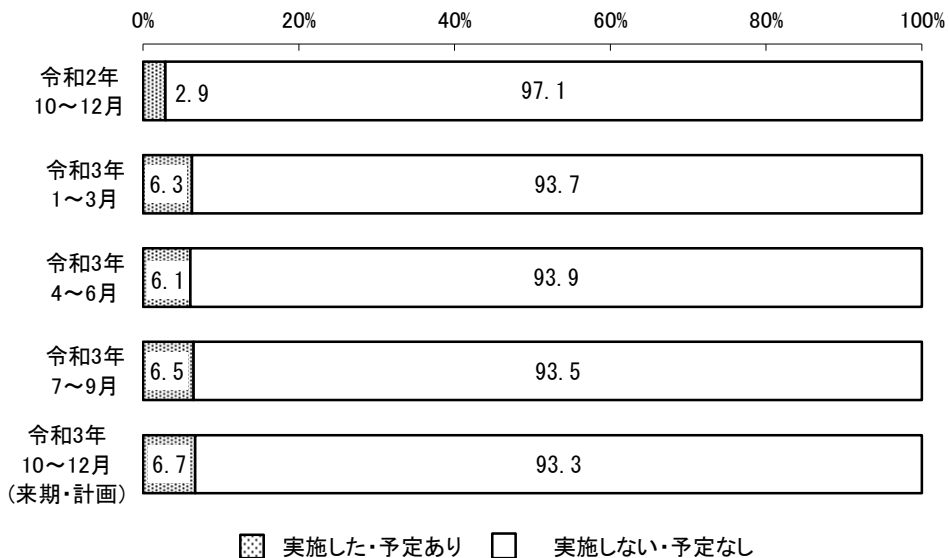
### 【小売業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



### 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想



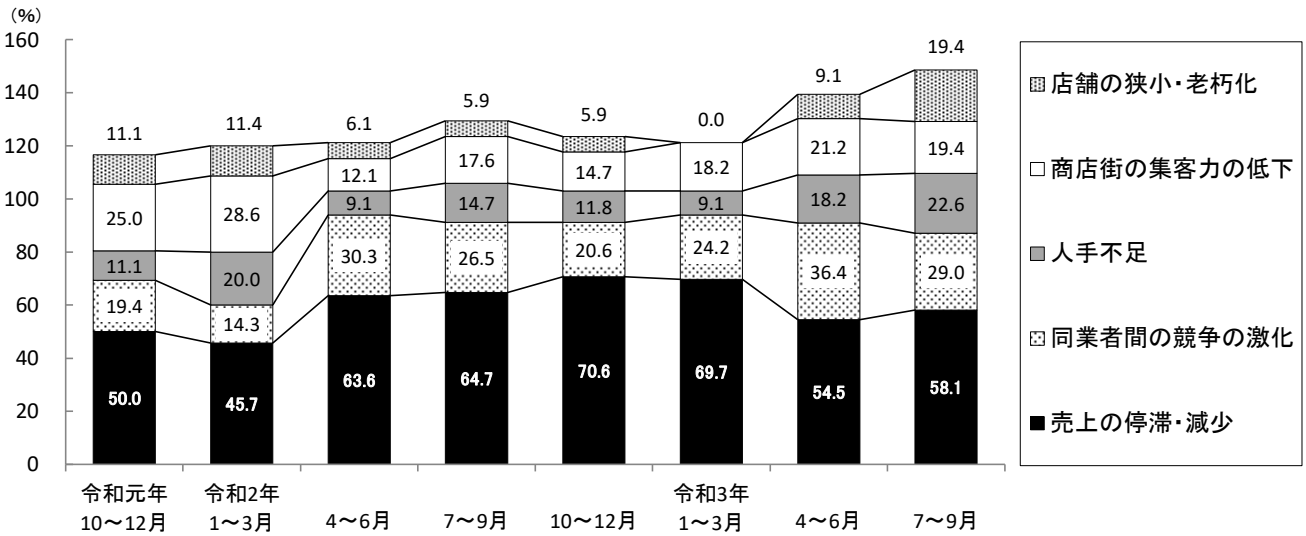
### 設備投資動向





## 経営上の問題点

(複数回答)

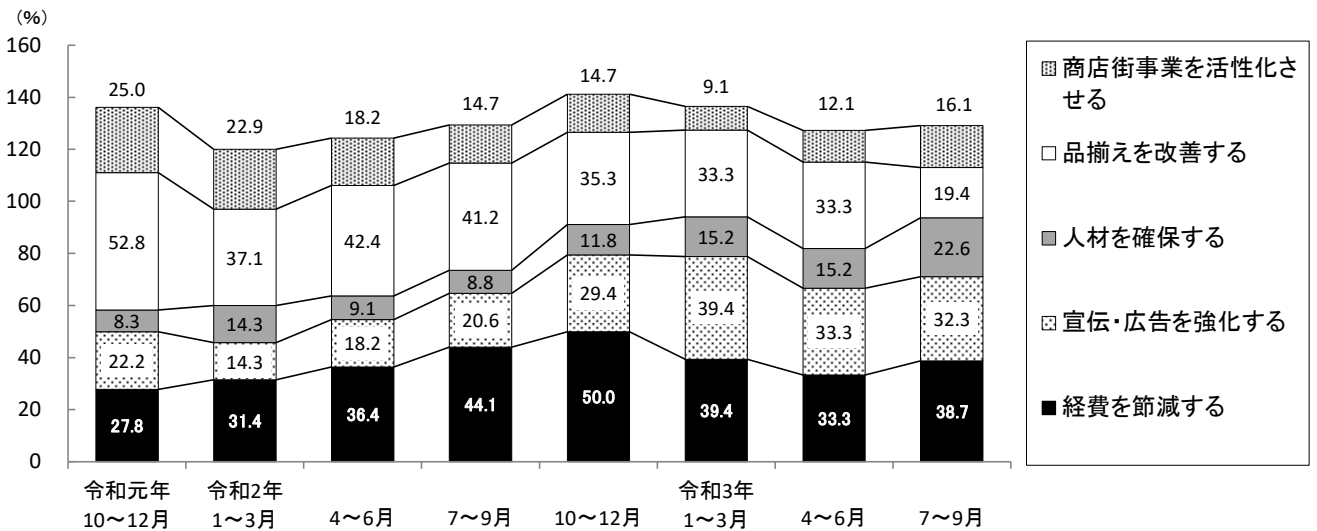


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期	
売上の停滞・減少	70.6%	売上の停滞・減少	69.7%	売上の停滞・減少	54.5%	売上の停滞・減少	58.1%
大型店との競争の激化	26.5%	大型店との競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	36.4%	同業者間の競争の激化	29.0%
同業者間の競争の激化	20.6%	同業者間の競争の激化	24.2%	大型店との競争の激化	24.2%	人手不足	22.6%
商店街の集客力の低下	14.7%	商店街の集客力の低下	18.2%	商店街の集客力の低下	21.2%	商店街の集客力の低下	19.4%
人手不足	11.8%	利幅の縮小	15.2%	人手不足	18.2%	店舗の狭小・老朽化	

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期	
経費を節減する	50.0%	経費を節減する	39.4%	経費を節減する		経費を節減する	38.7%
品揃えを改善する	35.3%	宣伝・広告を強化する		宣伝・広告を強化する	33.3%	宣伝・広告を強化する	32.3%
宣伝・広告を強化する	29.4%	品揃えを改善する	33.3%	品揃えを改善する		人材を確保する	22.6%
商店街事業を活性化させる	14.7%	売れ筋商品を取り扱う	21.2%	人材を確保する	15.2%	品揃えを改善する	19.4%
売れ筋商品を取り扱う 人材を確保する	11.8%	人材を確保する	15.2%	売れ筋商品を取り扱う 商店街事業を活性化させる	12.1%	商店街事業を活性化させる	16.1%



## 中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ●衣服、呉服、身の回り品●

業況（△32.7→△6.0→△36.6）は再び悪化傾向が極端に強まり、売上額（△23.8→△9.3→△35.3）と収益（△22.5→△7.6→△38.7）も減少・減益幅が非常に大きく拡大した。販売価格（△19.1→△11.3→△1.8）は下降傾向が一服し、仕入価格（△17.4→4.0→1.1）も上昇傾向が一服した。在庫数量（△14.2→△15.8→△2.0）は不足感が大きく改善し適正水準となった。

来期の見通しについて、業況（△39.1予想）は悪化傾向が幾分強まると見込まれているが、売上額（△16.9予想）と収益（△17.8予想）は減少・減益傾向が大幅に改善すると予想されている。販売価格（△1.6予想）は今期並の水準で推移するが、仕入価格（△3.1予想）は下降に転じて良好感が現れると見ている。在庫数量（△0.5予想）は引き続き適正水準が保たれると予想されている。

### ●飲食物品●

業況（△2.7→△24.2→△8.4）は水面下ながら大幅に改善した。売上額（△0.7→△29.4→△20.3）は減少幅が大きく縮小したが、収益（△3.5→△30.1→△29.2）は前期並の減益幅で推移した。価格面では、販売価格（12.5→△2.7→△0.8）はほぼ変動なく推移したが、仕入価格（9.1→6.5→18.3）は再び上昇を強めて厳しさが増した。在庫数量（18.1→20.1→9.2）は過剰感が大幅に緩和した。

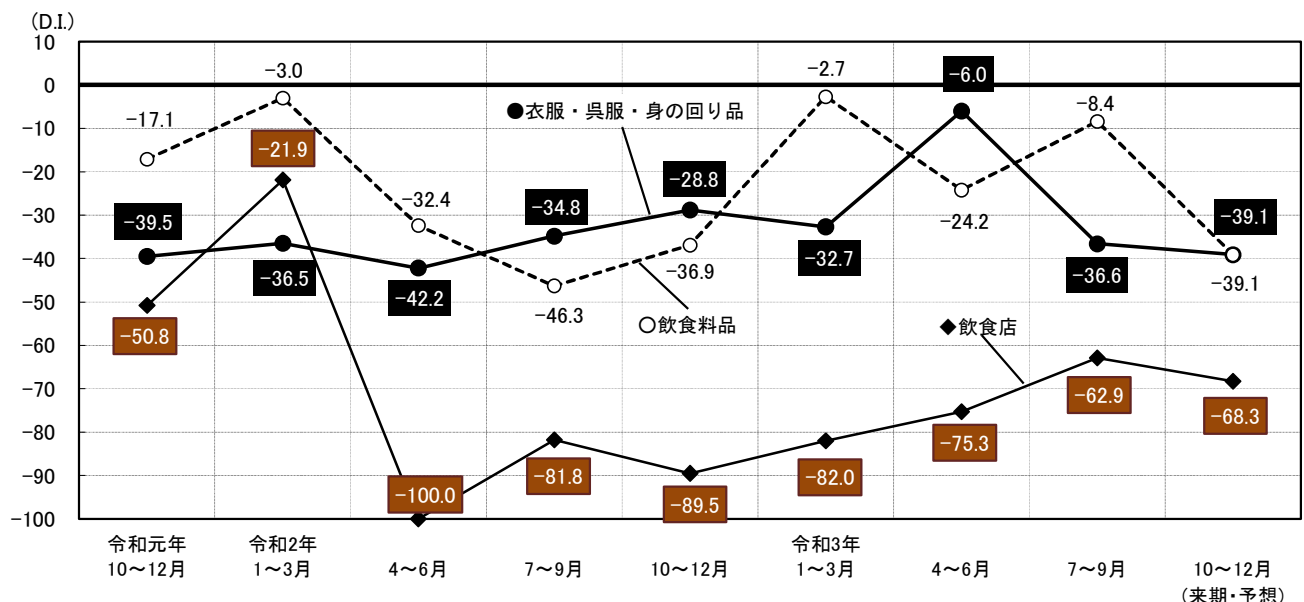
来期の見通しについて、業況（△39.1予想）は再び厳しさが極端に強まると見込まれている。売上額（△31.3予想）は減少傾向を大きく強め、収益（△31.8予想）も減益傾向が若干拡大すると予想されている。販売価格（△6.8予想）は下降をかなり強めると見ている。仕入価格（7.7予想）は大幅に下降し厳しさが和らぐと見込まれている。在庫数量（10.2予想）は今期同様の過剰感が続くとは予想されている。

### ●飲食店●

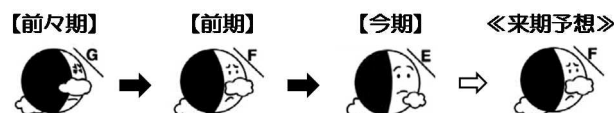
業況（△82.0→△75.3→△62.9）は低調感が大きく弱まった。売上額（△89.9→△61.9→△61.2）は前期同様の減少幅が続いたが、収益（△91.1→△63.4→△52.3）は厳しい状況ながら減益傾向が大きく改善した。販売価格（1.1→12.0→7.5）は上昇傾向がわずかに弱まり、仕入価格（12.6→10.9→19.0）は大きく上昇して厳しさが増した。在庫数量（20.0→34.1→12.6）は過剰感が極端に緩和された。

来期の見通しについて、業況（△68.3予想）は再び悪化傾向が多少強まると見ており、売上額（△69.9予想）と収益（△59.8予想）も減少・減益幅が拡大すると見ている。販売価格（4.5予想）は上昇が幾分弱まるが、仕入価格（18.8予想）は前期並の上昇幅で推移すると予想している。在庫数量（10.7予想）は今期並の過剰感が続くとは予想されている。

【小売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予想



# サービス業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 36.3 \rightarrow \Delta 34.5 \rightarrow \Delta 25.1$ ) は悪化傾向ながらかなり持ち直した。

業種別で見ると、「洗濯、理容、美容業」 ( $\Delta 40.2 \rightarrow \Delta 26.8 \rightarrow \Delta 36.8$ ) は悪化幅がかなり拡大したが、「自動車整備業、駐車場業」 ( $\Delta 52.6 \rightarrow \Delta 49.5 \rightarrow 8.3$ ) は極端に改善し増勢に転じた。

## 売上額・収益

売上額 ( $\Delta 39.1 \rightarrow \Delta 34.8 \rightarrow \Delta 20.9$ ) と収益 ( $\Delta 39.4 \rightarrow \Delta 36.2 \rightarrow \Delta 20.2$ ) はともに減少・減益幅が大幅に縮小した。

## 料金・材料価格動向

料金価格 ( $\Delta 8.9 \rightarrow \Delta 2.0 \rightarrow 0.3$ ) は下降からわずかに上昇に転じた。材料価格 (4.8→7.3→1.9) は上昇が弱まり落ち着きを見せた。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 18.1 \rightarrow \Delta 10.5 \rightarrow \Delta 8.1$ ) は窮屈感がわずかに緩和したが、借入難易度 (23.1→15.4→8.0) は容易さが大幅に後退した。

設備投資を「実施した」企業 (3.1%→15.6%→12.9%) は前期から2.7ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(61.3%) が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(29.0%)、「人手不足」(19.4%)、「利幅の縮小」(12.9%)、「人件費の増加」、「材料価格の上昇」、「取引先の減少」、「料金の値下げ要請」(各6.5%) の順であった。

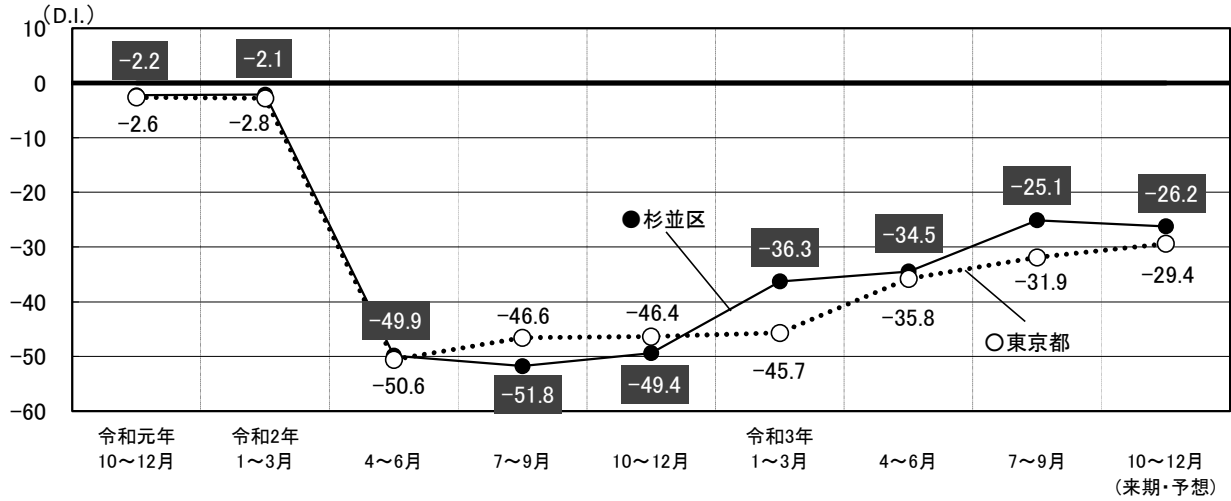
重点経営施策では、「経費を節減する」と「販路を広げる」(各48.4%) がともに今期は最多となった。以下、「宣伝・広告を強化する」(25.8%)、「技術力を強化する」(16.1%)、「人材を確保する」(12.9%) の順であった。

## 来期の見通し

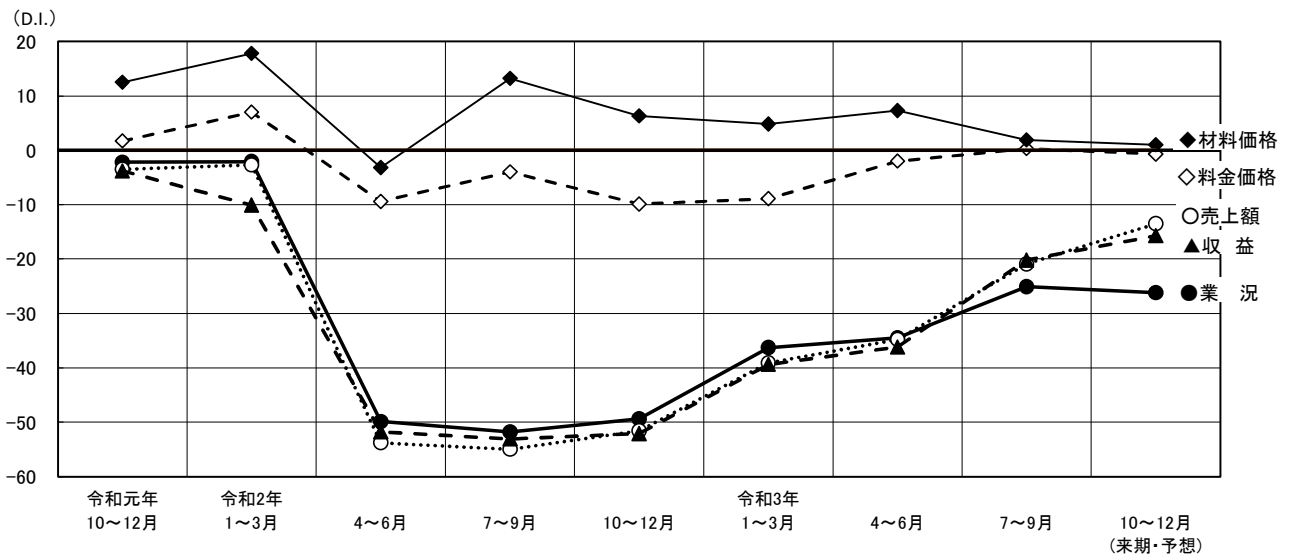
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 26.2$  予想) は前期同様の厳しさが続くが見込まれているが、売上額 ( $\Delta 13.5$  予想) は減少幅がかなり縮小し、収益 ( $\Delta 15.7$  予想) も多少改善すると予想している。

価格面は、料金価格 ( $\Delta 0.7$  予想) と材料価格 (1.0 予想) はほぼ横這いで推移すると見込まれている。

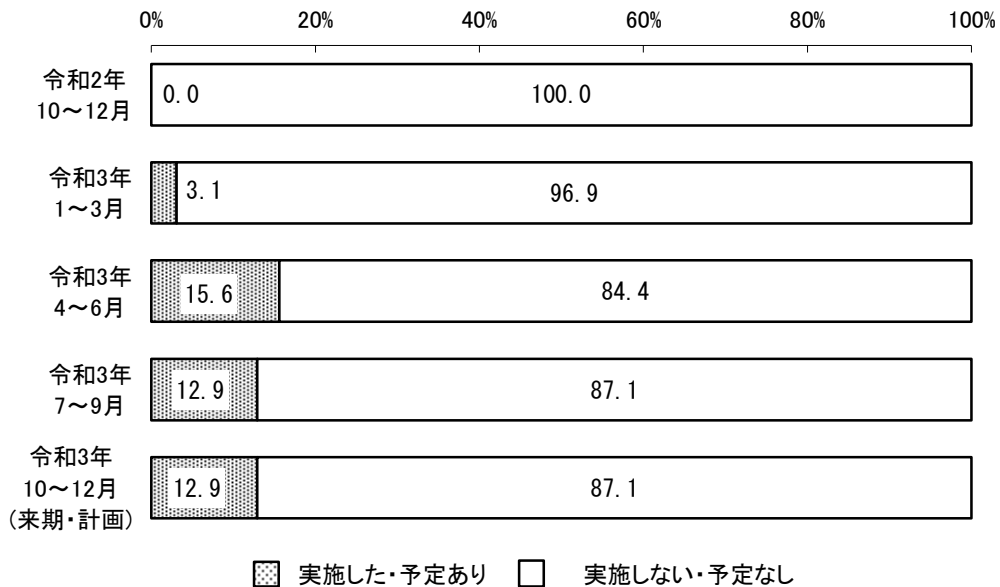
## 【サービス業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予想

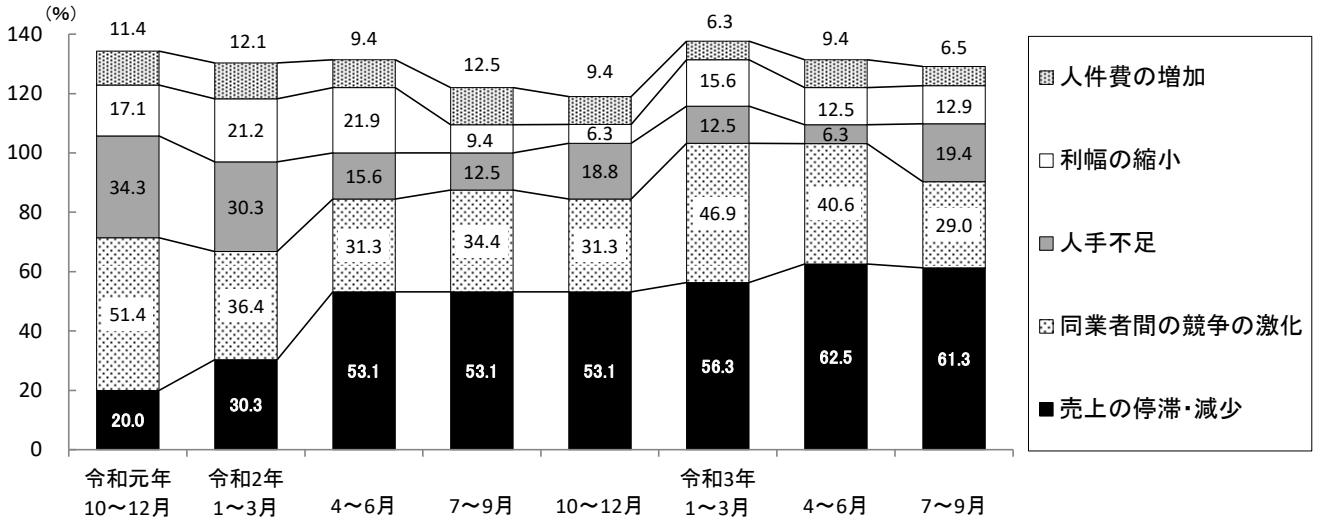


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

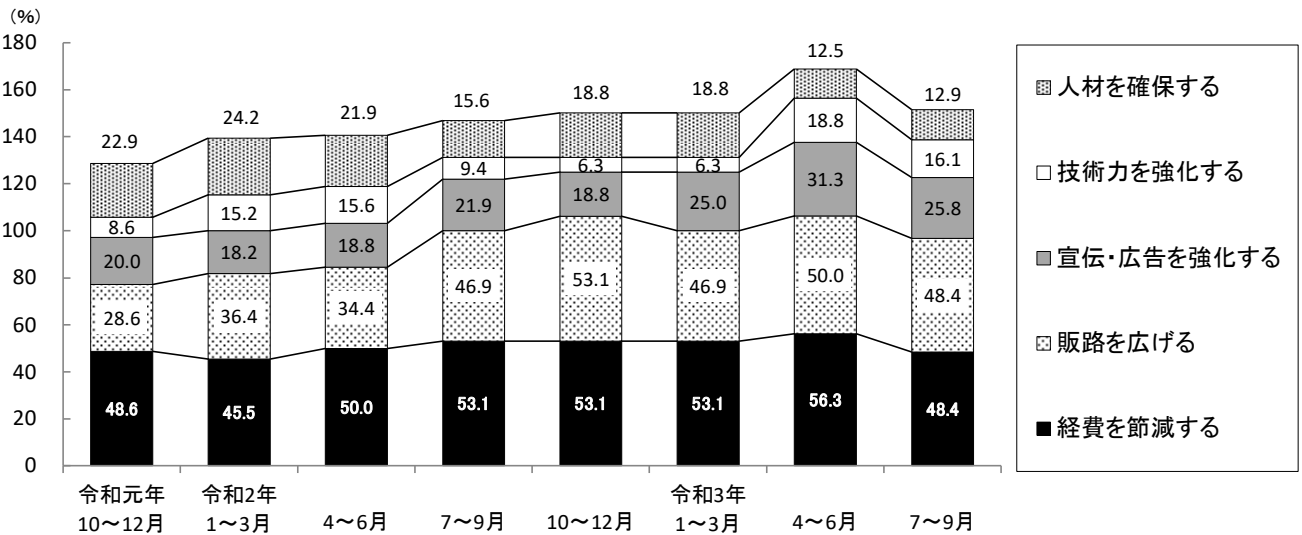


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年10～12月期		令和3年1～3月期		令和3年4～6月期		令和3年7～9月期	
売上の停滞・減少	53.1%	売上の停滞・減少	56.3%	売上の停滞・減少	62.5%	売上の停滞・減少	61.3%
同業者間の競争の激化	31.3%	同業者間の競争の激化	46.9%	同業者間の競争の激化	40.6%	同業者間の競争の激化	29.0%
人手不足	18.8%	利幅の縮小	15.6%	利幅の縮小	12.5%	人手不足	19.4%
人件費の増加	9.4%	人手不足	12.5%	人件費の増加 材料価格の上昇 取引先の減少	9.4%	利幅の縮小	12.9%
利幅の縮小 大企業との競争の激化 材料価格の上昇	6.3%	大企業との競争の激化	9.4%			人件費の増加／材料価格の上昇／取引先の減少／料金の値下げ要請	6.5%

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年10～12月期		令和3年1～3月期		令和3年4～6月期		令和3年7～9月期	
経費を節減する 販路を広げる	53.1%	経費を節減する	53.1%	経費を節減する	56.3%	経費を節減する 販路を広げる	48.4%
		販路を広げる	46.9%	販路を広げる	50.0%		
宣伝・広告を強化する 人材を確保する	18.8%	宣伝・広告を強化する	25.0%	宣伝・広告を強化する	31.3%	宣伝・広告を強化する	25.8%
		人材を確保する	18.8%	技術力を強化する	18.8%	技術力を強化する	16.1%
技術力を強化する 新しい事業を始める	6.3%	技術力を強化する／新しい事業を始める／教育訓練を強化する／提携先を見つける	6.3%	人材を確保する	12.5%	人材を確保する	12.9%

## 中分類種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ●洗濯、理容、美容業●

業況（ $\Delta 40.2 \rightarrow \Delta 26.8 \rightarrow \Delta 36.8$ ）は悪化傾向が大きく強まり、売上額（ $\Delta 38.2 \rightarrow \Delta 30.3 \rightarrow \Delta 39.3$ ）と収益（ $\Delta 39.1 \rightarrow \Delta 23.3 \rightarrow \Delta 34.8$ ）も減少・減益幅が大幅に拡大した。料金価格（ $\Delta 7.0 \rightarrow 1.6 \rightarrow \Delta 10.1$ ）は再び下降に大きく転じて厳しくなったが、材料価格（ $\Delta 5.8 \rightarrow 3.5 \rightarrow \Delta 10.2$ ）は再び下降に転じて好感が出てきた。

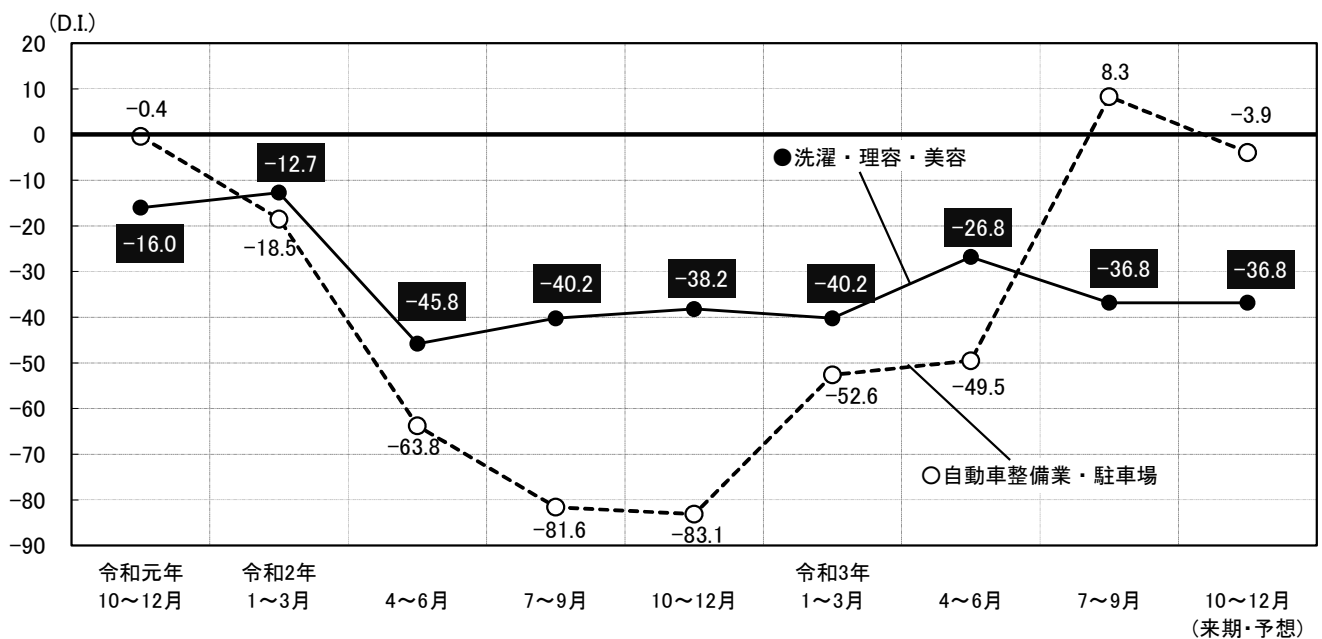
来期の見通しについて、業況（ $\Delta 36.8$ 予想）は今期同様の厳しさが続くと思込まれている。売上額（ $\Delta 27.4$ 予想）は減少幅が大幅に縮小し、収益（ $\Delta 36.7$ 予想）は今期並の減益幅で推移すると予想されている。料金価格（ $\Delta 10.2$ 予想）は今期並の水準で推移するが、材料価格（ $\Delta 3.0$ 予想）は下降幅がかなり縮小し好感が一服すると見込まれている。

### ●自動車整備業、駐車場業●

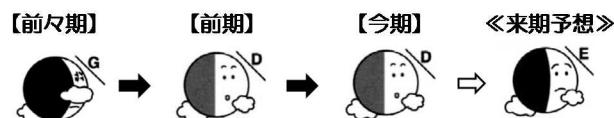
業況（ $\Delta 52.6 \rightarrow \Delta 49.5 \rightarrow 8.3$ ）は極端に回復しプラスに転じた。売上額（ $\Delta 51.0 \rightarrow \Delta 47.4 \rightarrow 33.6$ ）と収益（ $\Delta 50.2 \rightarrow \Delta 47.1 \rightarrow 29.4$ ）も極端に改善し増勢に転じた。料金価格（ $\Delta 17.4 \rightarrow \Delta 12.2 \rightarrow \Delta 1.7$ ）は厳しさが大幅に和らぎ、材料価格（ $17.6 \rightarrow 21.4 \rightarrow \Delta 3.1$ ）も上昇から極端に下降に転じて好感が現れた。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 3.9$ 予想）は再び悪化に転じると見込まれており、売上額（ $14.4$ 予想）と収益（ $13.9$ 予想）も増加幅が縮小すると予想されている。料金価格（ $\Delta 2.1$ 予想）は変動なく推移するが、材料価格（ $\Delta 5.6$ 予想）は幾分下降を強め好感が増すと見込まれている。

【サービス業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予想



# 建設業



注：コメント中の ( ) 内の D, I, 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 44.2 \rightarrow \Delta 2.3 \rightarrow \Delta 7.9$ ) は再び悪化傾向がかなり強まった。

## 売上額・受注残・施工高・収益

売上額 ( $\Delta 40.1 \rightarrow \Delta 0.8 \rightarrow \Delta 14.9$ ) と収益 ( $\Delta 25.9 \rightarrow \Delta 2.5 \rightarrow \Delta 14.2$ ) は減少・減益幅が大幅に拡大し、受注残 ( $\Delta 35.1 \rightarrow 1.8 \rightarrow \Delta 18.4$ ) と施工高 ( $\Delta 32.4 \rightarrow 6.2 \rightarrow \Delta 18.3$ ) も増勢から極端に減少に転じて厳しさを強めた。

## 請負価格・材料価格・在庫

請負価格 ( $\Delta 11.5 \rightarrow \Delta 0.4 \rightarrow \Delta 8.0$ ) は再び下降傾向を大きく強め、材料価格 ( $3.5 \rightarrow 0.3 \rightarrow 26.6$ ) は非常に大きく上昇し厳しさが増した。

在庫数量 ( $\Delta 2.4 \rightarrow \Delta 2.9 \rightarrow \Delta 6.1$ ) は不足感がわずかに強まった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 5.0 \rightarrow 8.5 \rightarrow 1.5$ ) と借入難易度 ( $7.7 \rightarrow 12.0 \rightarrow 4.0$ ) はともに容易さがかなり後退した。設備投資を「実施した」企業 ( $18.5\% \rightarrow 19.2\% \rightarrow 19.2\%$ ) は前期から増減なく推移した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

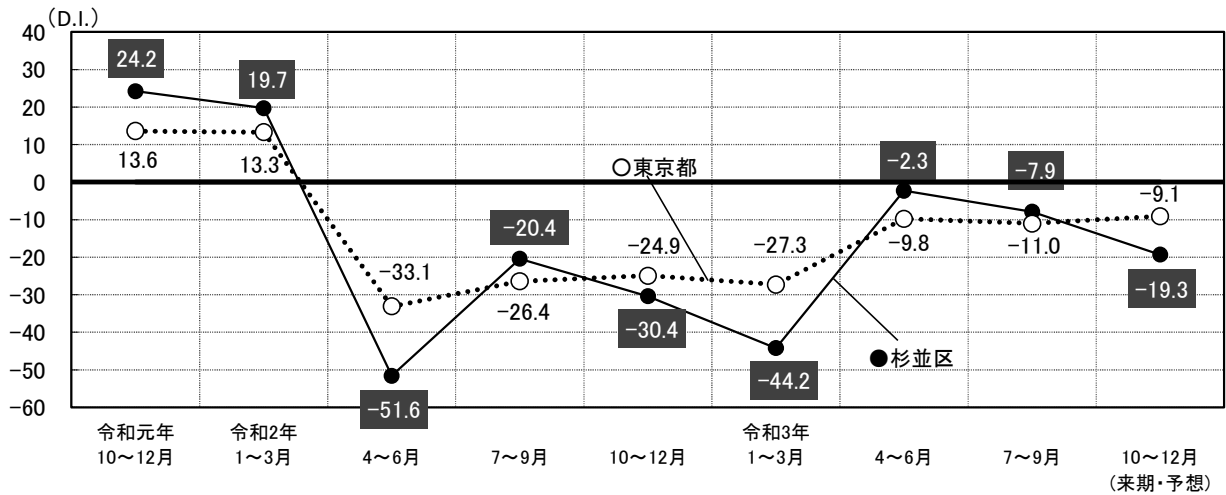
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(42.3%)が今期も最多となった。以下、「材料価格の上昇」(30.8%)、「同業者間の競争の激化」(26.9%)、「利幅の縮小」(23.1%)、「人手不足」(19.2%)の順であった。重点経営施策では、「経費を節減する」(46.2%)が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」(38.5%)、「人材を確保する」(34.6%)、「情報力を強化する」、「技術力を高める」(各26.9%)の順であった。

## 来期の見通し

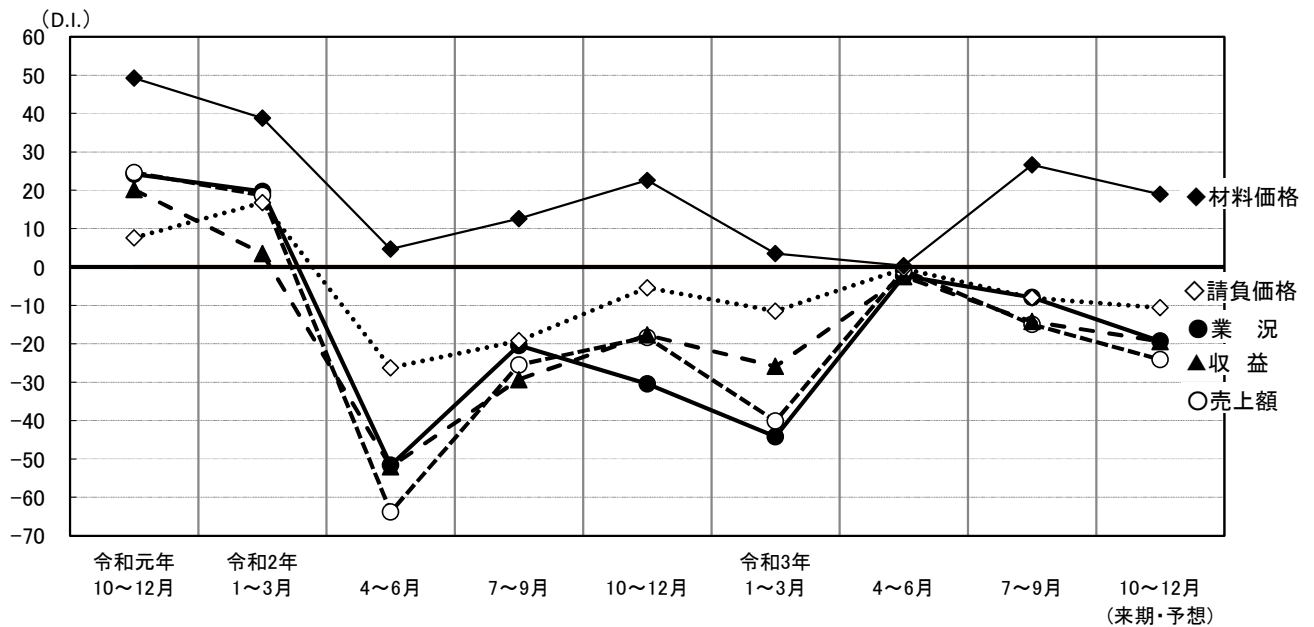
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 19.3$  予想) は悪化傾向を大きく強めると見込まれている。売上額 ( $\Delta 24.1$  予想) は減少がかなり強まり、受注残 ( $\Delta 22.4$  予想) と収益 ( $\Delta 19.4$  予想) は減少・減益幅が若干拡大し、施工高 ( $\Delta 17.2$  予想) は今期並の減少水準で推移すると予想している。

価格面では、請負価格 ( $\Delta 10.6$  予想) は下降幅がやや拡大するが、材料価格 (19.0 予想) は下降が強まり厳しさがかなり和らぐと見込まれている。

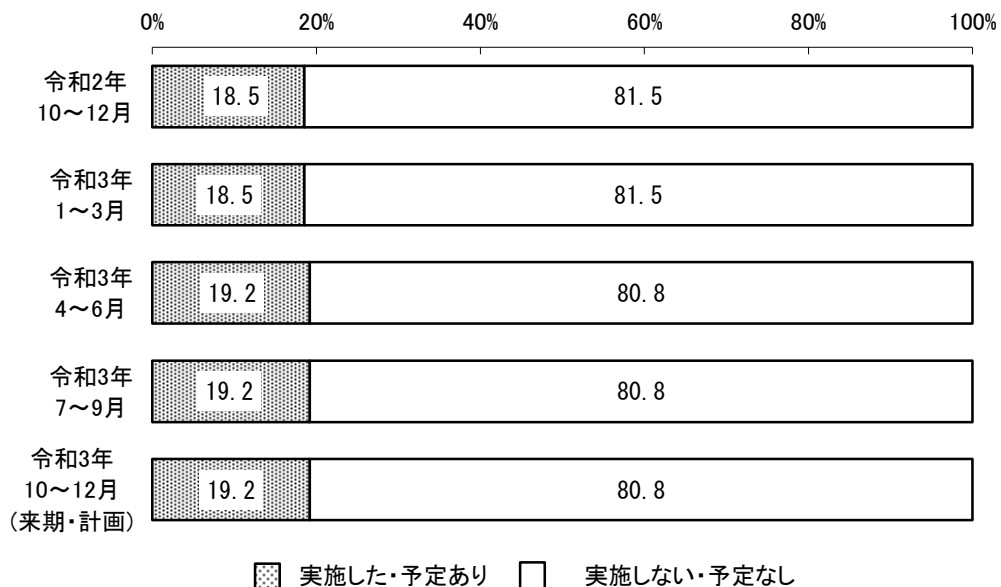
【建設業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予想



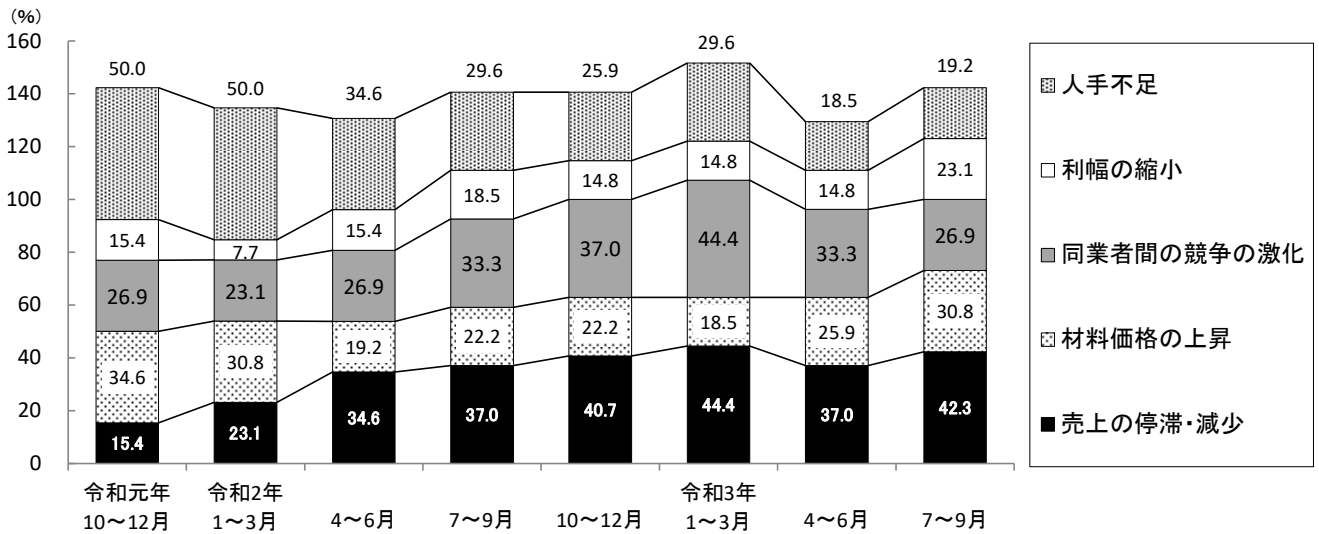
設備投資動向





## 経営上の問題点

(複数回答)

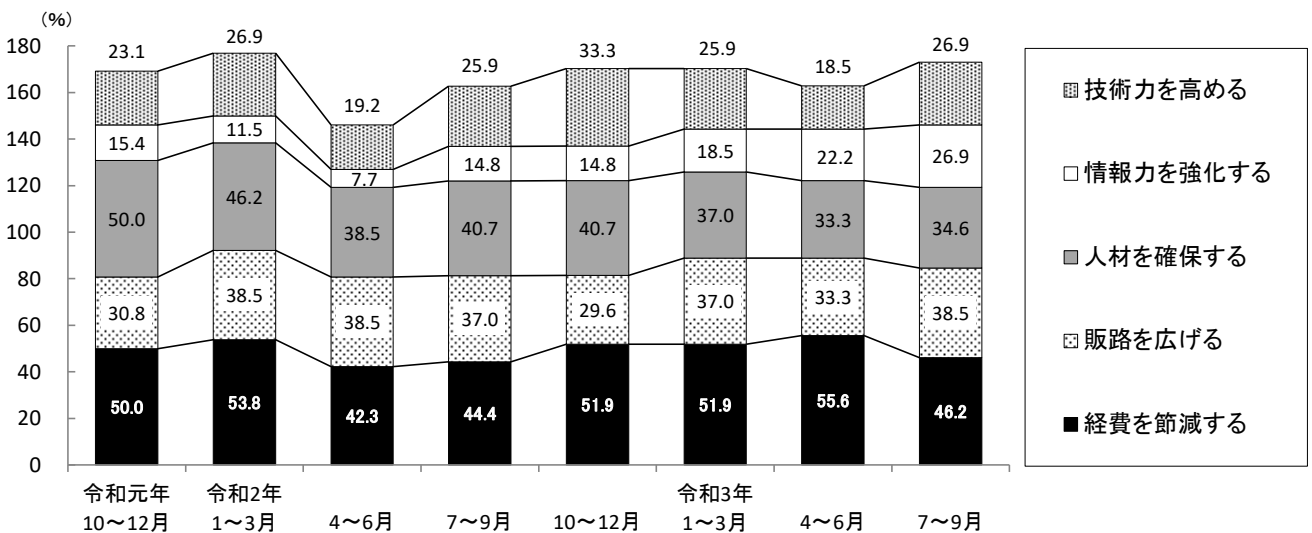


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

項目	令和2年10~12月期	令和3年1~3月期	令和3年4~6月期	令和3年7~9月期
売上の停滞・減少	40.7%	44.4%	37.0%	42.3%
同業者間の競争の激化	37.0%	33.3%	33.3%	26.9%
人件費の増加	29.6%	29.6%	25.9%	26.9%
人手不足	25.9%	22.2%	18.5%	23.1%
材料価格の上昇	22.2%	18.5%	18.5%	19.2%

## 重点経営施策

(複数回答)

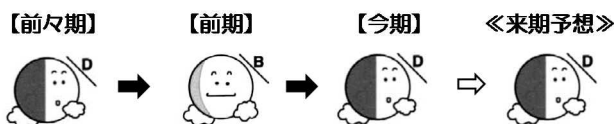


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

項目	令和2年10~12月期	令和3年1~3月期	令和3年4~6月期	令和3年7~9月期
経費を節減する	51.9%	51.9%	55.6%	46.2%
人材を確保する	40.7%	37.0%	33.3%	38.5%
技術力を高める	33.3%	37.0%	33.3%	34.6%
販路を広げる	29.6%	25.9%	22.2%	26.9%
新しい工法を導入する	18.5%	22.2%	18.5%	26.9%



# 不動産業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 14.0 \rightarrow 1.8 \rightarrow \Delta 20.4$ ) は再び厳しい状況に大きく転じた。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 21.9 \rightarrow \Delta 28.1 \rightarrow \Delta 37.2$ ) は減少幅がかなり拡大したが、収益 ( $\Delta 30.6 \rightarrow \Delta 30.7 \rightarrow \Delta 27.0$ ) は幾分改善した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 12.8 \rightarrow \Delta 1.6 \rightarrow \Delta 0.3$ ) は横這いで推移したが、仕入価格 ( $\Delta 1.0 \rightarrow 16.7 \rightarrow 9.7$ ) は上昇がかなり弱まり厳しさが和らいだ。

在庫数量 ( $\Delta 10.8 \rightarrow \Delta 21.3 \rightarrow \Delta 8.9$ ) は不足が大幅に緩和された。

## 資金繰り ・ 借入難易度

資金繰り ( $8.0 \rightarrow \Delta 1.5 \rightarrow 0.7$ ) はわずかに楽な状況に転じた。借入難易度 ( $18.8 \rightarrow 25.0 \rightarrow 18.8$ ) は容易さがかなり後退した。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」(44.4%) が今期も引き続き最多となった。以下、「売上の停滞・減少」(33.3%)、「利幅の縮小」(27.8%)、「商品物件の不足」(22.2%)、「商品物件の高騰」(16.7%)の順であった。

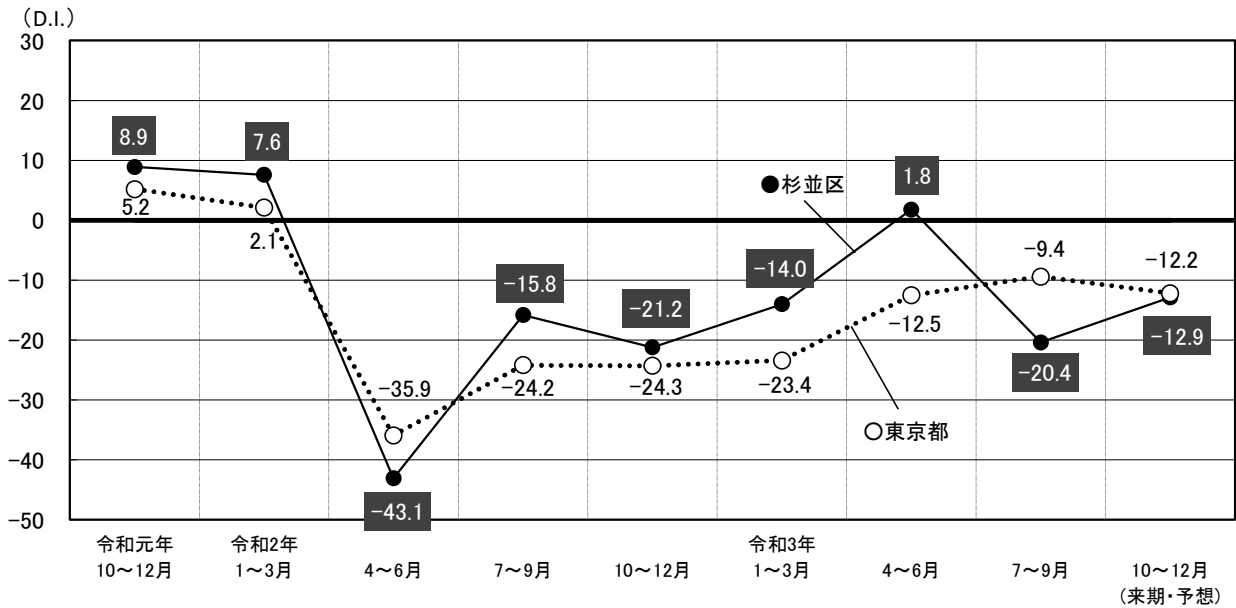
重点経営施策では、「情報力を強化する」(50.0%) が今期最多となった。以下、「経費を節減する」、「不動産の有効活用を図る」、「販路を広げる」(各27.8%)、「宣伝・広告を強化する」(22.2%)の順であった。

## 来期の見通し

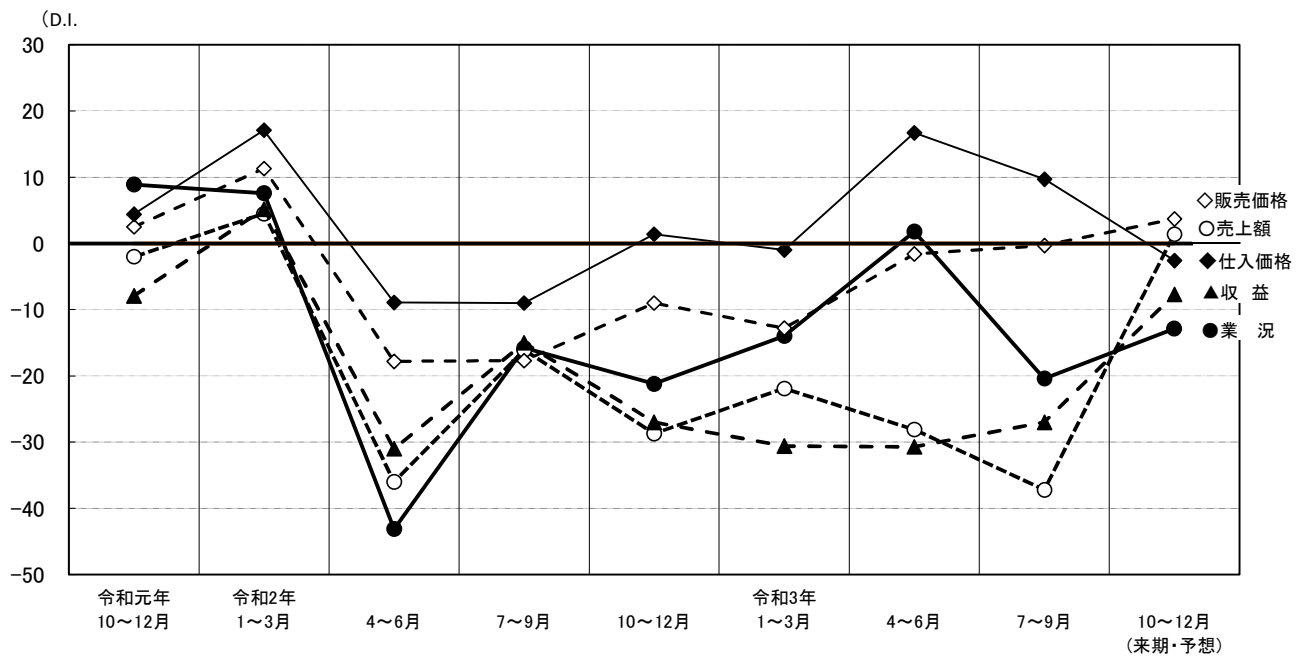
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 12.9$  予想) は水面下ながら大きく持ち直すとしている。売上額 (1.4 予想) は減少傾向が極端に改善しわずかに増加に転じ、収益 ( $\Delta 7.7$  予想) も減益幅が大きく縮小すると予想している。

価格面では、販売価格 (3.7 予想) は上昇に転じ、仕入価格 ( $\Delta 2.6$  予想) は大きく下降し良好感が現れると予想している。

【不動産業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想

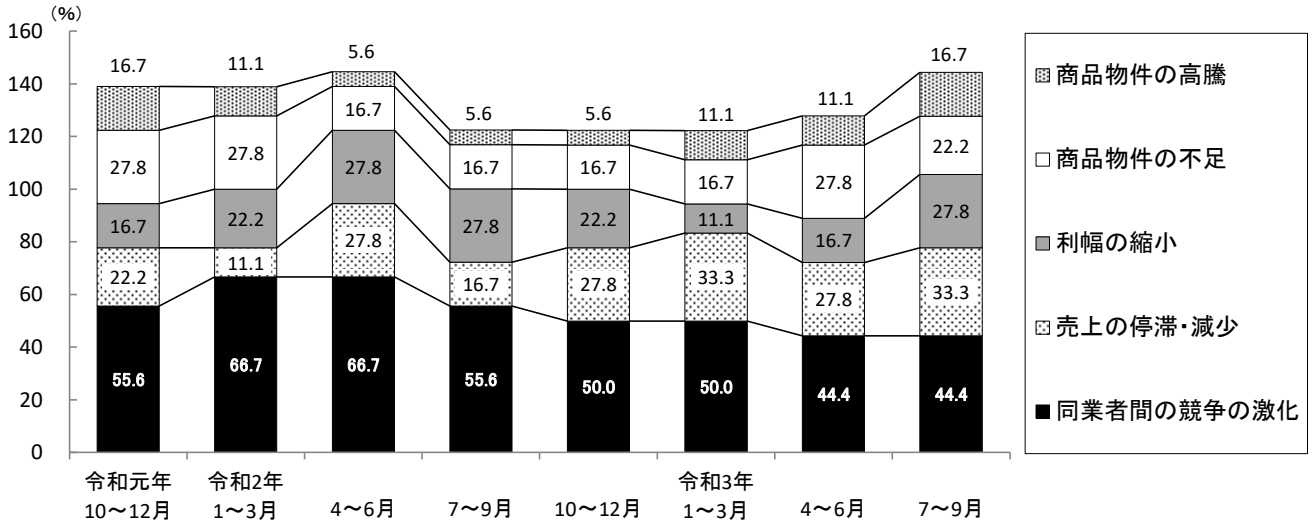


業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想



## 経営上の問題点

(複数回答)

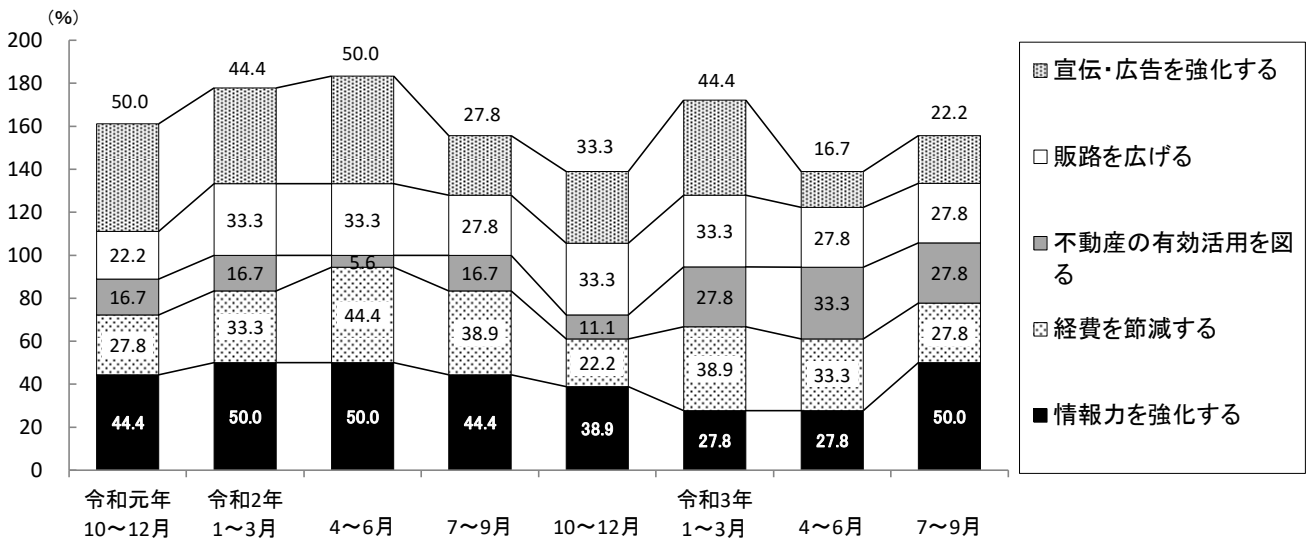


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期	
同業者間の競争の激化	50.0%	同業者間の競争の激化	50.0%	同業者間の競争の激化	44.4%	同業者間の競争の激化	44.4%
売上の停滞・減少	27.8%	売上の停滞・減少	33.3%	売上の停滞・減少 商品物件の不足	27.8%	売上の停滞・減少	33.3%
利幅の縮小	22.2%	商品物件の不足 大手企業との競争の激化	16.7%	商品物件の不足	16.7%	利幅の縮小	27.8%
商品物件の不足	16.7%	利幅の縮小 人件費の増加 商品物件の高騰	11.1%	利幅の縮小	16.7%	商品物件の不足	22.2%
人手不足 大手企業との競争の激化 人件費の増加	11.1%	人件費の増加 商品物件の高騰	11.1%	人件費の増加 商品物件の高騰	11.1%	商品物件の高騰	16.7%

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期	
情報力を強化する	38.9%	宣伝・広告を強化する	44.4%	経費を節減する 不動産の有効活用を図る	33.3%	情報力を強化する	50.0%
宣伝・広告を強化する 販路を広げる	33.3%	経費を節減する 販路を広げる	33.3%	販路を広げる 情報力を強化する	27.8%	経費を節減する 不動産の有効活用を図る 販路を広げる	27.8%
経費を節減する	22.2%	情報力を強化する 不動産の有効活用を図る	27.8%	宣伝・広告を強化する 人材を確保する	16.7%	宣伝・広告を強化する	22.2%
人材を確保する	16.7%						

## 製造業

- ・選果機画像処理装置の製造販売を行っている。新型コロナウイルスの影響による世界的な半導体不足の影響を受け、受注した製品が出荷できず回収に時間がかかっている。この状況はこじばらく続くと見られており、事業継続のため仕入資金などの運転資金が必要な状況である。

(機械製造販売)

- ・高円寺北で、入浴剤等バス用品の企画・製造・販売業を営んでいる。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言・まん延防止等重点措置などの発出の影響を受け、主要取引先代理店の売上が激減したため、当社の売上也大幅に減少している。

(バス用品の製造販売)

## 卸売業

- ・卸先の畳屋の顧客は、東京、茨城、福島といった広域に抱えている。近年は、卸だけでなく、消費者から直接受注して、畳の入れ替え事業も行っている。新型コロナウイルスの影響で、高齢者を中心とした最終消費者が、家に上がり込んで作業をする畳替えを控えているため、直接顧客の畳屋への発注が減少している。その影響で、卸である当社の売上也減少した。

(畳材料卸売業)

## 小売業

- ・高円寺で、カラオケ喫茶を営んでいる。昨年より新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、断続的に休業を余儀なくされ、売上が激減しており、運転資金を確保するため、融資を申込むことにした。

(カラオケ喫茶)

- ・昭和22年より小売業（インテリア用品販売）を営んでいる。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来客が減少し、客単価も下がっている（店の滞在時間が短く、高額商品が売れない）。昨年と比べても、大きく売上が減少しており、運転資金（仕入れ等）が必要な状況となっている。

(インテリア用品販売)

- ・呉服店を営んでいる。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛やお茶会などの中止の影響で、呉服の購買機会が減り、売上が減少している。

(呉服店)

## サービス業

- ・クリーニング店2店舗を営んでいる。新型コロナウイルスの影響で、外出自粛等により、衣料品の使用回数減少に伴い、クリーニング需要も減少し、売上也減少している。

(クリーニング店)

- ・高円寺南で、平成28年から個人タクシー事業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等の発出による休業要請・外出自粛等の影響を受け、乗客が激減したため、売上が大幅に減少している。

(タクシー業)

- ・音響技術業を営む。新型コロナウイルス感染症の影響によりライブイベントが減少し、音響技術関連の依頼や受注が減り、売上が減少している。アルバイトの人件費や仕入れの資金が必要になっている。

(音響技術業)

## 建設業

- ・土木工事を中心とする建築工事業を営んでいる。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置などの発出の影響により、主要取引先の工期延期等による受注減少などで、売上が大幅に減少している。

(土木建築工事業)

- ・主にオフィスの内装工事を行う建設会社を営んでいる。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で売上が落ちているが、リフォーム工事の受注が拡大しつつあり、また、新築工事の受注拡大を計画している。

(リフォーム業)

## 不動産業

- ・不動産賃貸業を営んでいる。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、安価な物件への転居が増加し、退去後の新入居が減少したことにより、売上が大幅に減少しているため、事業継続を目的とした運転資金を調達したい。また、消防設備・集合ポストが陳腐化し、改修が必要になったため、設備資金も借入れを希望している。

(不動産仲介売買業)

- ・不動産売買仲介業を営む。新型コロナウイルスにより需要が低下して事業に影響が生じたが、やや住宅購入意欲は戻っては来ている。しかし、主に手掛ける新築戸建では品薄状態になっており売上下の傾向は続いている。販促制作物の作成やHPリニューアルなど広告宣伝に力を入れていく予定である。

(不動産仲介売買業)

# 日 銀 短 観

## [調査対象企業数]

(令和3年9月調査) (参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

	製造業	非製造業	合計	回答率	2020年度			2021年度		
					上期	下期	上期	下期		
全国企業	3,872社	5,488社	9,360社	99.3%	106.82	107.04	106.61	106.71	106.70	106.71
うち大企業	984社	884社	1,868社	98.9%	—	—	—	107.64	107.64	107.64
中堅企業	1,008社	1,619社	2,627社	99.4%	122.58	121.25	123.90	125.27	125.28	125.26
中小企業	1,880社	2,985社	4,865社	99.5%	—	—	—	126.50	126.67	126.33

## [業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2021年6月調査		2021年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	14	13	18	4	14	-4
非製造業	1	3	2	1	3	1
全産業	8	8	10	2	9	-1
中堅企業						
製造業	5	-1	6	1	3	-3
非製造業	-8	-8	-6	2	-7	-1
全産業	-3	-5	-1	2	-4	-3
中小企業						
製造業	-7	-6	-3	4	-4	-1
非製造業	-9	-12	-10	-1	-13	-3
全産業	-8	-10	-8	0	-10	-2
全規模合計						
製造業	2	0	5	3	2	-3
非製造業	-7	-9	-7	0	-8	-1
全産業	-3	-5	-2	1	-5	-3

## [売上・収益計画]

(前年度比・%)

		2020年度		2021年度	
		(計画)	修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	-7.8	—	7.6	1.6
	国内	-7.2	—	5.6	0.8
	輸出	-9.0	—	12.0	3.2
	非製造業	-9.0	—	0.3	-0.1
	全産業	-8.5	—	3.4	0.7
中堅企業	製造業	-6.4	—	7.1	1.1
	非製造業	-6.9	—	2.5	-0.3
	全産業	-6.8	—	3.6	0.1
中小企業	製造業	-7.7	—	5.4	1.4
	非製造業	-7.0	—	1.7	0.0
	全産業	-7.2	—	2.5	0.3
全規模合計	製造業	-7.6	—	7.1	1.5
	非製造業	-7.9	—	1.3	-0.1
	全産業	-7.8	—	3.2	0.4

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

## [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業		2021年6月調査		2021年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-21	-21	-17	4	-16	1
	うち素材業種	-23	-23	-18	5	-17	1
	加工業種	-18	-19	-16	2	-16	0
	非製造業	-22	-22	-20	2	-20	0
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-9	-10	-7	2	-6	1
	うち素材業種	-12	-13	-9	3	-7	2
	加工業種	-8	-9	-6	2	-6	0
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	10		11	1		
	うち素材業種	9		10	1		
	加工業種	11		11	0		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	8		7	-1		
	うち素材業種	10		9	-1		
	加工業種	7		5	-2		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	5	8	9	4	14	5
	うち素材業種	15	19	19	4	24	5
	加工業種	-2	1	2	4	7	5
	非製造業	-1	0	1	2	3	2
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	43	45	50	7	51	1
	うち素材業種	49	47	53	4	50	-3
	加工業種	39	43	48	9	50	2
	非製造業	25	28	29	4	31	2

# 杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向

出典：(株) 東京商工リサーチ調べ

## 1. 企業倒産動向

### [倒産概況]

(負債総額単位：百万円) (対比率は伸び率)

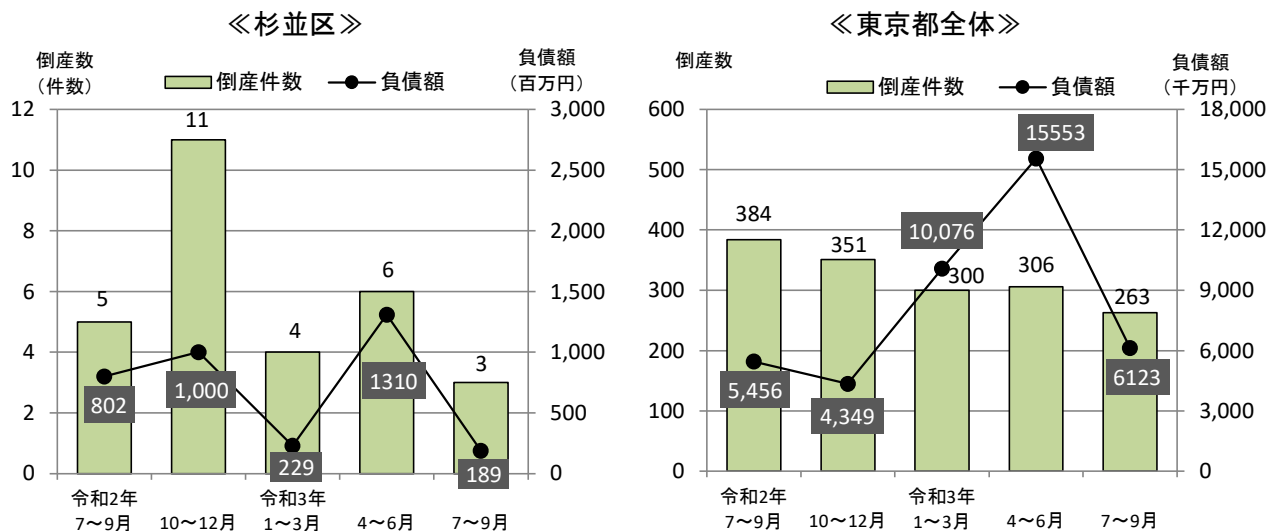
		令和2年	令和3年	令和3年		
		7~9月	4~6月	7~9月	前期比	前年同期比
杉並区	件数	5	6	3	-50.0%	-40.0%
	負債総額	802	1,310	189	-85.6%	-76.4%
東京都全体	件数	384	306	263	-14.1%	-31.5%
	負債総額	54,556	155,532	61,225	-60.6%	12.2%

### [業種別倒産概況]

(単位：件) (対比率は伸び率)

		令和2年	令和3年	令和3年		
		7~9月	4~6月	7~9月	前期比	前年同期比
杉並区	製造業	1	0	0	-	-
	卸売業	0	1	0	-	-
	小売業	1	2	0	-	-
	サービス業	1	2	3	50.0%	200.0%
	建設業	0	0	0	-	-
	不動産業	0	0	0	-	-
	情報通信業・運輸業	1	0	0	-	-
	宿泊業、飲食サービス業	1	1	0	-	-
	その他	0	0	0	-	-
	合計	5	6	3	-50.0%	-40.0%
東京都全体	製造業	26	23	19	-17.4%	-26.9%
	卸売業	72	50	52	4.0%	-27.8%
	小売業	43	37	28	-24.3%	-34.9%
	サービス業	80	56	58	3.6%	-27.5%
	建設業	29	39	24	-38.5%	-17.2%
	不動産業	21	17	15	-11.8%	-28.6%
	情報通信業・運輸業	53	35	41	17.1%	-22.6%
	宿泊業、飲食サービス業	45	30	14	-53.3%	-68.9%
	その他	15	19	12	-36.8%	-20.0%
	合計	384	306	263	-14.1%	-31.5%

### [倒産件数と負債額の推移]



## 2. 休廃業・解散動向

### [休廃業概況]

	(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(伸び率)	
	令和3年 1～3月		令和3年 4～6月		令和3年 7～9月		前期比	前々期比
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比		
杉並区	62	1.9	53	2.6	51	2.4	-3.8%	-17.7%
東京都全体	3,301	100.0	2,018	100.0	2,093	100.0	3.7%	-36.6%

### [業種別休廃業概況]

	(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(伸び率)		
	令和3年 1～3月		令和3年 4～6月		令和3年 7～9月		前期比	前々期比	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比			
杉並区	製造業	4	6.5	3	5.7	4	7.8	33.3%	0.0%
	卸売業	4	6.5	7	13.2	3	5.9	-57.1%	-25.0%
	小売業	7	11.3	2	3.8	3	5.9	50.0%	-57.1%
	サービス業	23	37.1	18	34.0	13	25.5	-27.8%	-43.5%
	建設業	8	12.9	7	13.2	5	9.8	-28.6%	-37.5%
	不動産業	4	6.5	5	9.4	10	19.6	100.0%	150.0%
	情報通信・運輸・郵便業	6	9.7	2	3.8	7	13.7	250.0%	16.7%
	宿泊業・飲食サービス業	4	6.5	5	9.4	3	5.9	-40.0%	-25.0%
	その他	2	3.2	4	7.5	3	5.9	-25.0%	50.0%
	合計	62	100.0	53	100.0	51	100.0	-3.8%	-17.7%
東京都全体	製造業	348	10.5	230	11.4	224	10.7	-2.6%	-35.6%
	卸売業	309	9.4	194	9.6	179	8.6	-7.7%	-42.1%
	小売業	277	8.4	150	7.4	165	7.9	10.0%	-40.4%
	サービス業	951	28.8	569	28.2	605	28.9	6.3%	-36.4%
	建設業	277	8.4	130	6.4	139	6.6	6.9%	-49.8%
	不動産業	281	8.5	187	9.3	208	9.9	11.2%	-26.0%
	情報通信・運輸・郵便業	394	11.9	234	11.6	257	12.3	9.8%	-34.8%
	宿泊業・飲食サービス業	168	5.1	95	4.7	79	3.8	-16.8%	-53.0%
	その他	296	9.0	229	11.3	237	11.3	3.5%	-19.9%
	合計	3,301	100.0	2,018	100.0	2,093	100.0	3.7%	-36.6%

### 1. 企業倒産動向

令和3年7月～9月期の倒産件数は263件と前期比14.1%減、杉並区内は3件で前期比50.0%減となった。

業種別に見ると、“サービス業”（58件：22.1%）が最も多く、次いで“卸売業”（52件：19.8%）、“情報通信業・運輸業”（41件：15.6%）、“小売業”（28件：10.6%）などとなっている。また、前期に対する増減で見ると、“情報通信業・運輸業”（17.1%増）、“卸売業”（4.0%増）、“サービス業”（3.6%増）で増加したが、“宿泊業・飲食サービス業”（53.3%減）、“建設業”（38.5%減）、“その他”（36.8%減）、“小売業”（24.3%減）、“製造業”（17.4%減）、“不動産業”（11.8%減）で減少となった。杉並区内では、今期は“サービス業”の3件のみであった。

持続化給付金などの政府支援に加え、各金融機関による無利子・無担保融資、既存融資のモラトリアム対応などの資金繰り対策が採られたことで、業種を問わず経営不振に陥った多くの中小企業が倒産を回避できている要因となっている。

### 2. 休廃業・解散動向

令和3年7月～9月期の休廃業・解散件数は2,093件で前期比3.7%減、前々期比36.6%の減少となった。杉並区内は51件で前期比3.8%減、前々期比17.7%の減少となった。

業種別に見ると、“サービス業”が605件（28.9%）で今期も最も多く、次いで“情報通信・運輸・郵便業”（257件：12.3%）であった。杉並区内でも、“サービス業”が13件（25.5%）で前期同様最も多く、次いで“不動産業”（10件・19.6%）であった。

令和3年1月からの累計で見ると、“サービス業”が2,125件（28.7%）で全体の3割近くを占めている。次いで“情報通信・運輸・郵便業”（885件：11.9%）、“製造業”（802件：10.8%）となっている。

令和3年1月からの3四半期の増減（前々期比）を見ると、全業種で減少しているが、“宿泊業・飲食サービス業”が前々期比53.0%減と最も減少しており、次いで“建設業”（48.9%減）となっている。

## 特別調査「中小企業の雇用環境について」

(令和3年9月上旬調査)

注1. 本調査は、杉並区の状況について記載しており、問3. 4. 5のグラフは本区と東京都全体との比較をしています。  
注2. 単数回答の質問の場合、小数点2位で四捨五入しているため、値の合計が100%にならないことがあります。

① 人手の状況	『不足』31.8% (うち「現場作業関係」16.3%「営業・販売関係」9.3%) 「適正」60.5%、「過剰」7.9%
② 最低賃金の引上げが雇用に与える影響	正規社員の影響「変わらない」67.4%、「増やす」3.9%、「減らす」6.2% 非正規社員の影響「変わらない」35.7%、「増やす」4.7%、「減らす」5.4%
③ 人材確保のため職場環境改善へ向けて実施していること	「長時間労働の是正」21.7%、「人材育成」18.6% 「女性・若者が活躍しやすい環境整備」15.5%
④ 生産性向上に向けた取組み	「働きやすい環境や制度の整備」25.6%、「業務プロセスの改善」20.9% 「人材育成の実施」20.9%
⑤ 人材育成や確保のために地域金融機関に対して求めること(融資以外)	「補助金・助成金の紹介」41.4%、「人材の紹介・派遣」12.5% 「他業種の先進事例紹介」8.6%

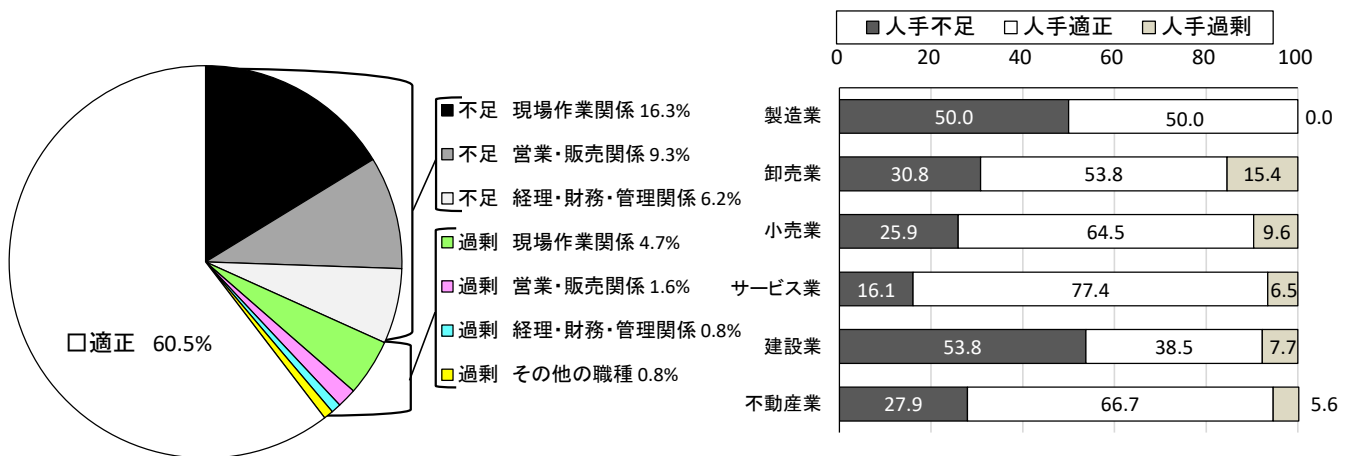
### 問1. 人手の状況について

区内の中小企業を対象に現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じているかについて伺った。

その結果、人手については『不足』との回答が全体の31.8%であった。その内訳としては「現場作業関係」(16.3%)と「営業・販売関係」(9.3%)、「経理・財務・管理関係」(6.2%)であった。反対に『過剰』との回答は全体の7.9%で、そのうち「現場作業関係」が4.7%で約6割を占めた。一方、「適正」(60.5%)との回答は6割であった。

業種別にみると、『不足』の割合については、建設業(53.8%)が最も高く、次いで製造業(50.0%)であった。反対に『過剰』の割合については卸売業(15.4%)が最も高く、製造業(0.0%)では『過剰』との回答はなかった。一方、「適正」との回答はサービス業(77.4%)が7割台半ばで最も高い割合であった。

図表1 人手の状況について



※回答により 100%にならないこともあります。



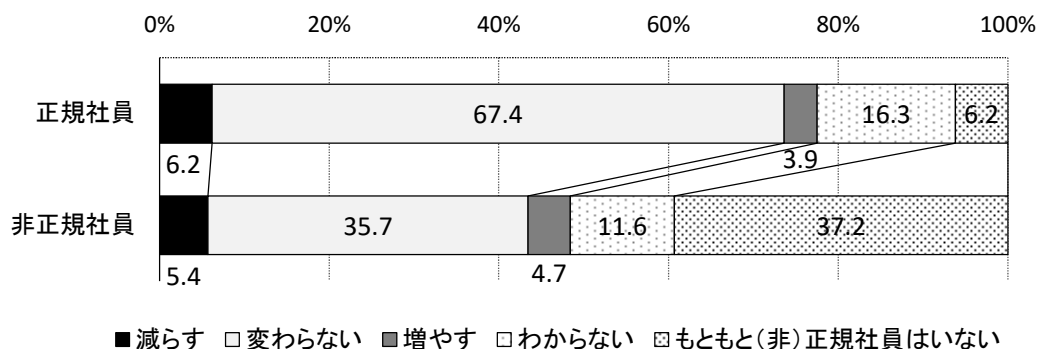
### 問2. 最低賃金の引上げが雇用に与える影響について

次に最低賃金の引上げが貴社の雇用に与える影響について伺った。

その結果、正規社員については「増やす」が3.9%、「減らす」が6.2%、「変わらない」が67.4%となり、そのほか「もともと正社員はいない」(6.2%)、「わからない」(16.3%)となった。

一方、非正規社員の雇用では「増やす」が4.7%、「減らす」が5.4%、「変わらない」が35.7%となり、「もともと非正規社員はいない」(37.2%)、「わからない」が11.6%であった。

図表2 最低賃金の引上げが雇用に与える影響について



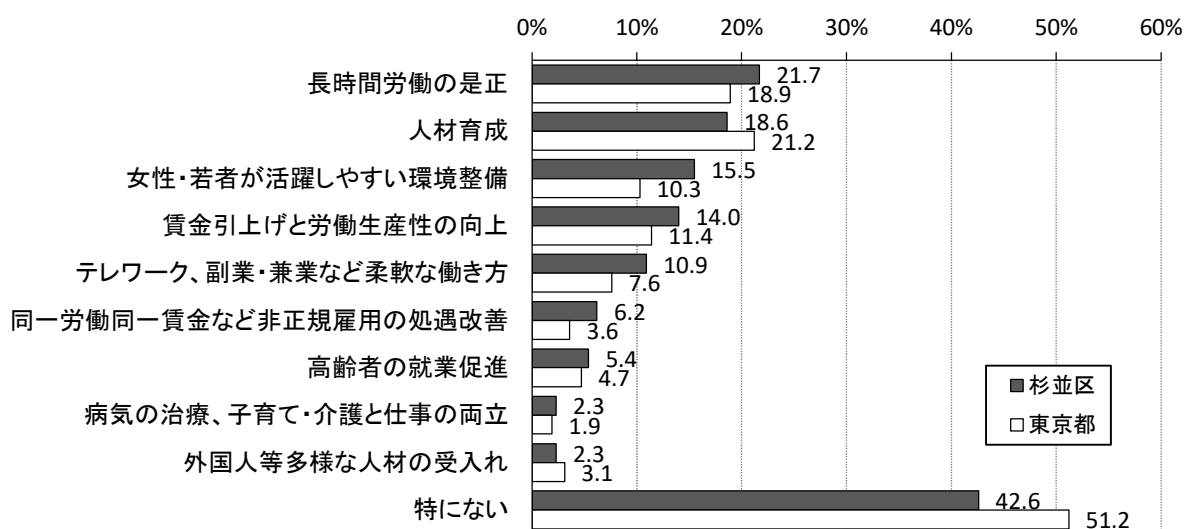
### 問3. 人材確保のため職場環境改善へ向けて実施していること

さらに、人材確保のため職場環境改善へ向けて実施していることについて伺った。(最大3項目まで)

その結果、「長時間労働への是正」(21.7%)が最も高く、次いで「人材育成」(18.6%)、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」(15.5%)、「賃金引上げと労働生産性の向上」(14.0%)などが続いた。一方、「特にない」は42.6%と4割強となった。

業種別では、「長時間労働の是正」は小売業(32.3%)が最も高い割合であった。「人材育成」と「女性・若者が活躍しやすい環境整備」は不動産業(33.3%・38.9%)で最も高く、「賃金引上げと労働生産性の向上」は卸売業(30.8%)で最も高い割合となった。一方、「特にない」は小売業(51.6%)と建設業(50.0%)で5割台と高い割合であった。

図表3 人材確保のための職場環境改善実施策



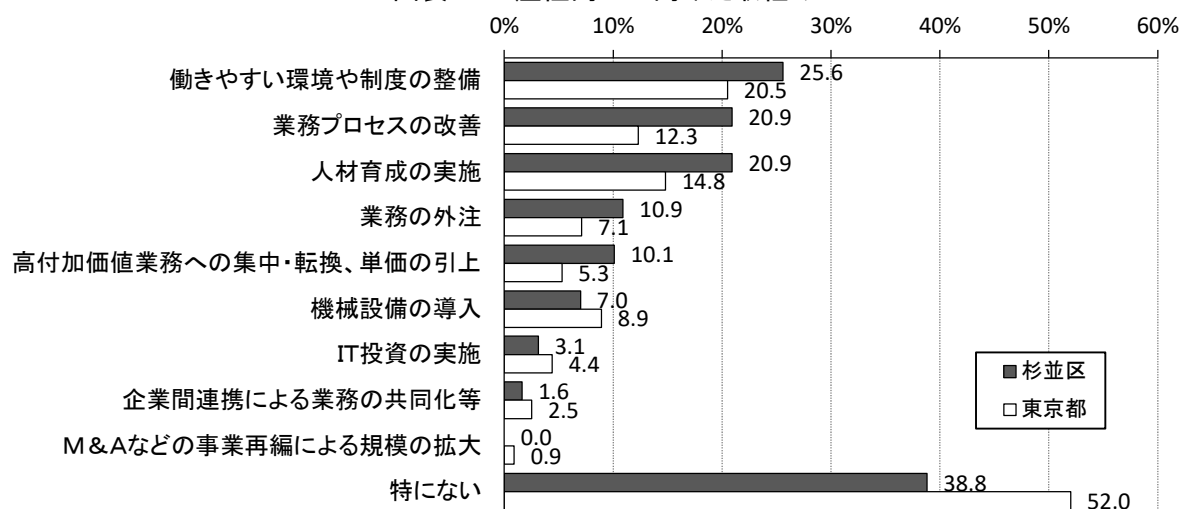
#### 問4. 生産性向上に向けた取組み

人材確保が難しくなるなか、生産性向上に向けた取組みについて調査した。(最大3項目まで)

その結果、「働きやすい環境や制度の整備」(25.6%)が最も高く、次いで「業務プロセスの改善」と「人材育成の実施」(各20.9%)、「業務の外注」(10.9%)、「高付加価値業務への集中・転換、単価の引上」(10.1%)などと続いた。一方で「特にない」(38.8%)との回答が4割弱を占めた。

業種別では、「働きやすい環境や制度の整備」は建設業(38.5%)で最も高く、「業務プロセスの改善」と「人材育成の実施」では不動産業(44.4%・33.3%)が最も高い割合となった。また「高付加価値業務への集中・転換、単価の引上」は卸売業(38.5%)が他業種に比べて特に高い割合であった。一方、「特にない」は小売業(54.8%)で最も高く、逆に卸売業(15.4%)が最も低い割合であった。

図表4 生産性向上に向けた取組み



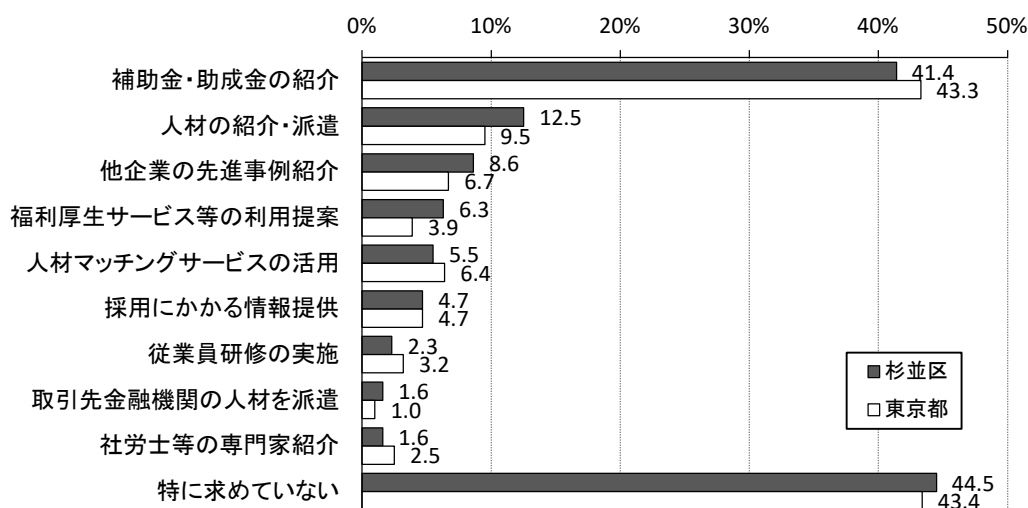
#### 問5. 人材育成や確保のために地域金融機関に対して求めること(融資以外)

最後に、人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めていることについて尋ねてみた。(最大3項目まで)

その結果、「補助金・助成金の紹介」が41.4%で全体の4割強の企業から費用面での補助が挙げられた。次いで、「人材の紹介・派遣」(12.5%)、「他企業の先進事例紹介」(8.6%)、「福利厚生サービス等の利用提案」(6.3%)などと続いた。一方、「特に求めている」(44.5%)との回答が4割台半ばを占めた。

業種別では、「補助金・助成金の紹介」は製造業(70.0%)で最も高く、卸売業(61.5%)でも6割強と高い割合であった。逆に小売業(22.6%)で2割強と最も低い割合であった。また、「他企業の先進事例紹介」は建設業(19.2%)が2割弱で最も高い割合であった。一方、「特に求めている」は小売業(61.3%)で6割強と最も高く、卸売業(7.7%)で1割未満と最も低い割合であった。

図表5 人材育成・確保のために地方金融機関に求めること(融資以外)



# 中小企業景況調査 比較表

(令和3年7月～9月期)

## 製造業

[今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-31	-32
売上額		-22	-25
受注残		-23	-23
収益		-3	-25
販売価格		-10	-5
原材料価格		4	17
原材料在庫		-2	-3
資金繰り		27	-17
雇用	残業時間	-20	-13
	人手	0	-7
同期比	売上額	-20	-23
	収益	20	-25
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	60	52
	② 利幅の縮小	50	14
	③ 同業者間の競争の激化	30	23
	④ 大手企業との競争の激化	30	6
	⑤ 工場・機械の狭小・老朽化	10	8
重点経営施策	① 販路を広げる	100	58
	② 経費を節減する	70	43
	③ 教育訓練を強化する	20	4
	④ 人材を確保する	20	11
	⑤ 工場・機械を増設・移転する	10	4
借入の難易度		0	-1

[来期の景況見通し]

業況		-17	-29
売上額		-5	-21
受注残		-15	-19
収益		-4	-22
販売価格		-9	-4
原材料価格		13	15
原材料在庫		-2	-3
資金繰り		20	-15
雇用	残業時間	-10	-11
	人手	0	-7

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り  
 \* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度  
 \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 卸売業

[今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-39	-33
売上額		-32	-26
収益		-30	-25
販売価格		-1	4
仕入価格		22	19
在庫		8	1
資金繰り		-30	-14
雇用	残業時間	-8	-10
	人手	-8	-5
同期比	売上額	-15	-22
	収益	-23	-24
経営上の問題点	販売価格	0	6
	① 売上の停滞・減少	62	50
	② 同業者間の競争の激化	39	28
	③ 利幅の縮小	31	18
	④ 仕入先からの値上げ要請	15	11
⑤ 大手企業・工場の縮小・撤退	8	2	
重点経営施策	① 販路を広げる	69	65
	② 経費を節減する	62	44
	③ 情報力を強化する	23	20
	④ 人材を確保する	15	9
	⑤ 労働条件を改善する	8	1
借入の難易度		-25	3

[来期の景況見通し]

業況		-49	-29
売上額		-33	-19
収益		-31	-21
販売価格		-1	2
仕入価格		17	16
在庫		8	-1
資金繰り		-30	-14
雇用	残業時間	-8	-8
	人手	-17	-6

# 小売業

## [今期の景況]

	全体		家具・建具 ・じゅう器		飲食店		飲食料品		衣服、呉服 身の回り品		
	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	
業況	-33	-42	-	-55	-63	-65	-8	-42	-37	-55	
売上額	-29	-37	-	-39	-61	-57	-20	-38	-35	-45	
収益	-30	-37	-	-41	-52	-55	-29	-37	-39	-47	
販売価格	3	-3	-	-6	8	-5	-1	-2	-2	-13	
仕入価格	15	7	-	8	19	10	18	9	1	-6	
在庫	10	1	-	-4	13	2	9	1	-2	5	
資金繰り	-34	-21	-	-18	-58	-31	-10	-22	-37	-32	
雇用	残業時間	-13	-10	0	-8	-40	-24	-10	-8	0	-11
	人手	-13	-3	-100	3	20	8	-10	-6	-40	-3
同期比	売上額	-36	-35	0	-33	-70	-52	-10	-37	-60	-45
	収益	-39	-36	0	-39	-70	-52	-10	-39	-60	-44
	販売価格	0	-2	0	-11	0	-5	0	0	0	-13
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	58	52	-	56	80	70	50	50	60	66
	② 同業者間の競争の激化	29	21	-	28	10	17	50	21	20	19
	③ 人手不足	23	7	-	3	10	5	40	8	20	7
	④ 店舗の狭小・老朽化	19	3	100	6	20	4	10	2	20	2
	⑤ 商店街の集客力の低下	19	15	100	14	10	18	10	15	60	21
重点経営 施策	① 経費を節減する	39	43	-	28	50	54	40	45	-	28
	② 宣伝・広告を強化する	32	23	-	17	10	23	20	22	80	27
	③ 人材を確保する	23	5	100	6	20	7	30	6	20	2
	④ 品揃えを改善する	19	27	-	28	10	13	40	28	20	32
	⑤ 商店街事業を活性化させる	16	12	-	11	10	12	-	13	60	16
借入の難易度	-13	-7	-100	-3	-33	-16	20	-7	0	-12	

## [来期の景況見通し]

業況	-48	-40	-	-62	-68	-61	-39	-40	-39	-52	
売上額	-32	-30	-	-46	-70	-44	-31	-32	-17	-33	
収益	-30	-30	-	-49	-60	-44	-32	-30	-18	-36	
販売価格	-1	-4	-	-7	5	-5	-7	-3	-2	-10	
仕入価格	9	4	-	9	19	9	8	5	-3	-3	
在庫	8	1	-	-3	11	2	10	0	-1	4	
資金繰り	-32	-20	-	-22	-68	-31	-13	-20	-19	-26	
雇用	残業時間	-10	-8	0	-6	-40	-18	10	-7	0	-9
	人手	-16	-4	-100	3	20	6	-20	-7	-40	-4

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# サービス業

## [今期の景況]

		全 体		洗濯、理容 美容業		自動車整備業 駐車場業	
		杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都
業況		-25	-32	-37	-50	8	-26
売上額		-21	-27	-39	-43	34	-22
収益		-20	-25	-35	-39	29	-20
料金価格		0	-4	-10	-2	-2	-8
材料価格		2	7	-10	5	-3	7
資金繰り		-8	-14	-7	-25	-2	-15
雇用	残業時間	-6	-14	-9	-14	17	-8
	人手	-13	-11	-27	-4	-17	-13
同期比	売上額	-23	-24	-46	-42	50	-20
	収益	-23	-24	-46	-40	50	-19
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	61	45	64	49	67	36
	② 同業者間の競争の激化	29	29	46	35	50	27
	③ 人手不足	19	17	27	7	33	15
	④ 利幅の縮小	13	10	-	6	17	14
	⑤ 取引先の減少	7	8	-	6	-	8
重点経営 施策	① 経費を節減する	48	40	55	39	33	36
	② 販路を広げる	48	39	46	26	33	40
	③ 宣伝・広告を強化する	26	20	36	30	33	16
	④ 技術力を強化する	16	12	27	13	33	16
	⑤ 人材を確保する	13	17	9	4	17	14
借入の難易度		8	-3	-14	-10	20	-2

## [来期の景況見通し]

業況		-26	-29	-37	-45	-4	-24
売上額		-14	-22	-27	-36	14	-16
収益		-16	-21	-37	-34	14	-19
料金価格		-1	-3	-10	-3	-2	-5
材料価格		1	6	-3	4	-6	8
資金繰り		-6	-12	-10	-22	0	-13
雇用	残業時間	-3	-11	-9	-12	17	-6
	人手	-13	-11	-27	-4	-17	-13

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 建設業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-8	-11
売上額		-15	-13
受注残		-18	-11
施工高		-18	-10
収益		-14	-16
請負価格		-8	-3
材料価格		27	29
在庫		-6	-3
資金繰り		2	-3
雇用	残業時間	-8	-9
	人手	-15	-21
同期比	売上額	-12	-18
	収益	-19	-20
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	42	34
	② 材料価格の上昇	31	25
	③ 同業者間の競争の激化	27	30
	④ 利幅の縮小	23	13
	⑤ 人手不足	19	30
重点経営施策	① 経費を節減する	46	41
	② 販路を広げる	39	43
	③ 人材を確保する	35	33
	④ 技術力を高める	27	20
	⑤ 情報力を強化する	27	15
借入の難易度		4	6

### [来期の景況見通し]

業況		-19	-9
売上額		-24	-11
受注残		-22	-9
施工高		-17	-7
収益		-19	-13
請負価格		-11	-2
材料価格		19	27
在庫		-4	-3
資金繰り		5	-5
雇用	残業時間	-4	-5
	人手	-15	-22

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 不動産業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-20	-9
売上額		-37	-9
収益		-27	-7
販売価格		0	9
仕入価格		10	19
在庫		-9	-17
資金繰り		1	1
雇用	残業時間	-22	-10
	人手	-17	-5
同期比	売上額	-50	-13
	収益	-33	-12
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	44	32
	② 売上の停滞・減少	33	25
	③ 利幅の縮小	28	15
	④ 商品物件の不足	22	32
	⑤ 商品物件の高騰	17	18
重点経営施策	① 情報力を強化する	50	43
	② 不動産の有効活用を図る	28	12
	③ 経費を節減する	28	29
	④ 販路を広げる	28	29
	⑤ 宣伝・広告を強化する	22	25
借入の難易度		19	3

### [来期の景況見通し]

業況		-13	-12
売上額		1	-10
収益		-8	-10
販売価格		4	7
仕入価格		-3	16
在庫		-11	-17
資金繰り		0	-1
雇用	残業時間	-17	-8
	人手	-11	-5

# 中小企業景況調査 転記表

(令和3年7月～9月期)

製造業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期
	10月～12月期	1月～3月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期		
業 況	良	27.3	9.1	9.1	20.0	-	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0
	普通	36.3	72.7	54.5	60.0	9.1	81.8	36.4	18.2	54.5	40.0	45.5	72.7	54.5	63.6	50.0	63.6	-	60.0	
	悪い	36.4	18.2	36.4	20.0	90.9	9.1	63.6	72.7	45.5	60.0	54.5	27.3	45.5	36.4	40.0	36.4	-	30.0	
	D・I	-9.1	-9.1	-27.3	0.0	-90.9	0.0	-63.6	-63.6	-45.5	-60.0	-54.5	-27.3	-45.5	-36.4	-30.0	-36.4	-	-20.0	
	修正値	-1.9	-12.0	-31.3	3.6	-90.6	-2.8	-63.7	-62.5	-43.6	-59.6	-56.9	-28.1	-42.0	-39.7	-30.5	-31.0	11.5	-17.1	
	傾向値	-1.7		-3.8		-20.7		-40.9		-52.3		-60.2		-58.0		-48.1				
売 上 額	増	27.3	9.1	18.2	30.0	-	18.2	9.1	9.1	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	-	10.0	
	変	54.5	72.7	63.6	70.0	18.2	72.7	27.3	27.3	45.5	45.5	45.5	72.7	45.4	72.7	40.0	63.6	-	70.0	
	減	18.2	18.2	18.2	-	81.8	9.1	63.6	63.6	54.5	54.5	54.5	27.3	45.5	27.3	40.0	36.4	-	20.0	
	D・I	9.1	-9.1	0.0	30.0	-81.8	9.1	-54.5	-54.5	-54.5	-54.5	-54.5	-27.3	-36.4	-27.3	-20.0	-36.4	-	-10.0	
	修正値	9.1	-11.2	-3.5	26.1	-80.2	10.9	-54.0	-53.3	-53.7	-52.1	-55.5	-31.0	-32.1	-29.1	-22.0	-31.7	10.1	-4.5	
	傾向値	8.8		9.7		-3.8		-24.0		-39.8		-54.5		-55.7		-45.7				
受 注 残	増	18.2	9.1	18.2	20.0	-	18.2	10.0	9.1	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	-	10.0	
	変	63.6	72.7	72.7	80.0	18.2	72.7	30.0	27.3	36.4	50.0	36.4	54.5	36.4	63.6	40.0	54.5	-	60.0	
	減	18.2	18.2	9.1	-	81.8	9.1	60.0	63.6	63.6	50.0	63.6	45.5	54.5	36.4	40.0	45.5	-	30.0	
	D・I	0.0	-9.1	9.1	20.0	-81.8	9.1	-50.0	-54.5	-63.6	-50.0	-63.6	-45.5	-45.4	-36.4	-20.0	-45.5	-	-20.0	
	修正値	1.1	-7.4	3.6	16.2	-80.4	9.8	-48.6	-54.9	-60.8	-45.6	-65.1	-45.7	-42.5	-38.3	-22.5	-43.2	20.0	-15.2	
	傾向値	2.5		5.3		-5.9		-24.4		-38.6		-55.7		-60.2		-51.9				
収 益	増	18.2	9.1	9.1	20.0	-	18.2	-	9.1	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	-	-	
	変	54.5	72.7	72.7	60.0	27.3	63.6	36.4	36.4	45.5	45.5	45.5	63.6	45.4	72.7	60.0	72.7	-	90.0	
	減	27.3	18.2	18.2	20.0	72.7	18.2	63.6	54.5	54.5	54.5	54.5	36.4	45.5	27.3	20.0	27.3	-	10.0	
	D・I	-9.1	-9.1	-9.1	0.0	-72.7	0.0	-63.6	-45.4	-54.5	-54.5	-54.5	-36.4	-36.4	-27.3	0.0	-27.3	-	-10.0	
	修正値	-5.9	-7.5	-15.9	1.9	-71.2	-4.6	-61.4	-46.9	-52.1	-49.8	-57.5	-34.5	-34.4	-32.9	-2.7	-27.1	31.7	-4.1	
	傾向値	3.5		2.8		-9.5		-29.6		-44.3		-55.7		-56.8		-44.3				
業 況 動 向	販売価格	9.1	9.1	0.0	0.0	-18.2	9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-18.2	-9.1	-9.1	-10.0	-9.1	-	-10.0	
	修正値	12.4	8.6	0.6	0.0	-19.1	6.9	-9.5	-9.7	-7.8	-8.5	-7.9	-16.8	-8.6	-11.0	-9.7	-9.3	-1.1	-8.8	
	傾向値	9.5		10.6		5.2		-2.4		-6.8		-10.2		-10.2		-9.2				
	原材料価格	18.2	18.2	18.2	10.0	-9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-	10.0	
	修正値	21.5	22.2	18.1	13.4	-6.9	17.1	3.4	2.7	1.1	1.7	-1.8	-5.9	2.5	-3.5	3.7	1.2	1.2	12.5	
	傾向値	23.7		24.8		19.4		11.0		4.6		0.0		-1.1		0.0				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.1	0.0	9.1	-9.1	-9.1	9.1	9.1	-9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	-	0.0	
	修正値	1.3	0.0	-0.3	-1.2	-9.3	0.8	6.0	-7.6	-9.0	5.1	7.6	-10.2	1.1	6.9	-2.2	1.1	-3.3	-2.2	
	資金繰り	-18.2	-9.1	-18.2	-20.0	-63.6	-9.1	-45.5	-54.5	-9.1	-45.5	0.0	-9.1	0.0	0.0	30.0	-9.1	-	20.0	
	修正値	-17.1	-7.6	-22.1	-18.9	-59.7	-13.7	-44.2	-51.3	-13.7	-43.6	-8.8	-11.1	6.8	-10.4	26.7	-4.1	19.9	20.1	
前 年 同 期 比	売上額	9.1		0.0		-90.9		-63.6		-72.7		-45.4		-27.3		-20.0				
	収益	0.0		-9.1		-81.8		-54.5		-72.7		-45.4		-18.2		20.0				
雇 用	残業時間	-9.1	27.3	-9.1	10.0	-36.4	-9.1	-18.2	-18.2	-9.1	0.0	-27.3	-9.1	-27.3	-27.3	-20.0	-18.2	-	-10.0	
	人手	-18.2	-45.5	-27.3	-20.0	-27.3	-27.3	-18.2	-27.3	-9.1	-18.2	0.0	-9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	27.3	33.3	36.4	30.0	27.3	27.3	27.3	63.6	36.4	36.4	27.3	18.2	27.3	27.3	30.0	9.1	-	30.0	
	借入しない/借入の予定なし(%)	72.7	66.7	63.6	70.0	72.7	72.7	72.7	36.4	63.6	63.6	72.7	81.8	72.7	72.7	70.0	90.9	-	70.0	
	借入難易度	-20.0		0.0		11.1		20.0		11.1		20.0		20.0		0.0				
有効回答事業所数	11		11		11		11		11		11		11		11		10			

製造業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期
		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-9.1	0.0	-10.0	-9.1	0.0	-18.2	-9.1	-18.2	-18.2	0.0	-18.2	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	実施した・予定あり	18.2	9.1	18.2	12.5	18.2	20.0	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1	10.0	9.1	0.0	10.0	0.0		0.0
	投資内容																		
	事業用土地・建物	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	-	100.0	-	-	-	-		-
	機械・設備の新・増設	-	100.0	50.0	-	50.0	50.0	33.3	50.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-		-
	機械・設備の更改	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-		-
	事務機器	50.0	-	-	-	-	-	33.3	-	50.0	33.3	100.0	-	100.0	-	100.0	-		-
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	81.8	90.9	81.8	87.5	81.8	80.0	72.7	81.8	81.8	72.7	90.9	90.0	90.9	100.0	90.0	100.0		100.0
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	63.6		45.5		63.6		63.6		63.6		63.6		72.7		60.0			
	人手不足	27.3		27.3		-		9.1		18.2		-		-		10.0			
	大手企業との競争の激化	9.1		18.2		18.2		18.2		18.2		27.3		27.3		30.0			
	同業者間の競争の激化	9.1		27.3		18.2		27.3		27.3		18.2		27.3		30.0			
	親企業による選別の強化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	輸入製品との競争の激化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	合理化の不足	-		-		-		-		-		-		-		10.0			
	利幅の縮小	45.5		27.3		27.3		27.3		36.4		36.4		45.5		50.0			
	原材料高	27.3		27.3		27.3		18.2		9.1		9.1		9.1		10.0			
	販売納入先からの値下げ要請	9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		-			
	仕入先からの値上げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-			
	人件費の増加	9.1		-		-		-		-		-		-		-			
	人件費以外の経費増加	-		-		-		-		-		-		-		-			
	工場・機械の狭小・老朽化	9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		10.0			
	生産能力の不足	-		-		-		-		-		-		-		-			
	下請の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-			
	代金回収の悪化	9.1		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	為替レートの変動	-		9.1		-		-		9.1		-		-		-			
	その他	-		9.1		18.2		-		-		-		-		-			
問題なし	-		-		-		-		-		9.1		-		-				
重点経営施策(%)	販路を広げる	90.9		90.9		90.9		90.9		90.9		90.9		100.0		100.0			
	経費を節減する	36.4		36.4		36.4		45.5		54.5		63.6		63.6		70.0			
	情報力を強化する	9.1		9.1		-		9.1		-		9.1		9.1		10.0			
	新製品・技術を開発する	18.2		9.1		9.1		18.2		-		9.1		9.1		10.0			
	不採算部門を整理・縮小する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	提携先を見つける	18.2		18.2		18.2		18.2		18.2		27.3		18.2		10.0			
	機械化を推進する	-		-		-		-		9.1		-		-		-			
	人材を確保する	27.3		36.4		18.2		9.1		27.3		9.1		9.1		20.0			
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	9.1		-		-		-		-		-		9.1		20.0			
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	工場・機械を増設・移転する	9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		10.0			
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	-		9.1		9.1		-		-		-		-		-			
	特になし	-		-		-		-		-		-		-		-			
有効回答事業所数		11		11		11		11		11		11		11		10			



卸売業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期
		10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期		
業 況	良 い	6.7	6.7	6.7	-	-	-	-	-	6.7	-	7.1	-	6.7	7.1	7.7	-		7.7
	普 通	53.3	60.0	60.0	53.3	28.6	46.7	46.7	28.6	46.6	46.7	28.6	50.0	40.0	35.7	46.1	46.7		38.5
	悪 い	40.0	33.3	33.3	46.7	71.4	53.3	53.3	71.4	46.7	53.3	64.3	50.0	53.3	57.2	46.2	53.3		53.8
	D・I	-33.3	-26.6	-26.6	-46.7	-71.4	-53.3	-53.3	-71.4	-40.0	-53.3	-57.2	-50.0	-46.6	-50.1	-38.5	-53.3		-46.1
	修 正 値	<b>-31.9</b>	<b>-27.8</b>	<b>-25.5</b>	<b>-42.5</b>	<b>-70.1</b>	<b>-51.4</b>	<b>-50.6</b>	<b>-70.0</b>	<b>-38.0</b>	<b>-55.1</b>	<b>-54.6</b>	<b>-46.2</b>	<b>-41.8</b>	<b>-46.6</b>	<b>-39.0</b>	<b>-49.3</b>	<b>2.8</b>	<b>-49.4</b>
	傾 向 値	-26.0		-26.5		-32.5		-42.6		-47.0		-51.7		-52.4		-47.4			
売 上 額	増 加	13.3	12.5	13.3	13.3	14.3	6.7	6.7	7.1	6.7	-	7.1	-	6.7	14.3	7.7	6.7		7.7
	変 ら ず	46.7	62.5	53.4	53.4	21.4	53.3	20.0	21.4	40.0	40.0	28.6	40.0	53.3	35.7	53.8	66.6		53.8
	減 少	40.0	25.0	33.3	33.3	64.3	40.0	73.3	71.5	53.3	60.0	64.3	60.0	40.0	50.0	38.5	26.7		38.5
	D・I	-26.7	-12.5	-20.0	-20.0	-50.0	-33.3	-66.6	-64.4	-46.6	-60.0	-57.2	-60.0	-33.3	-35.7	-30.8	-20.0		-30.8
	修 正 値	<b>-21.9</b>	<b>-14.4</b>	<b>-17.4</b>	<b>-18.5</b>	<b>-51.4</b>	<b>-32.8</b>	<b>-65.6</b>	<b>-60.1</b>	<b>-40.3</b>	<b>-60.3</b>	<b>-54.9</b>	<b>-57.2</b>	<b>-35.0</b>	<b>-36.6</b>	<b>-32.0</b>	<b>-15.5</b>	<b>3.0</b>	<b>-33.3</b>
	傾 向 値	-18.9		-19.3		-24.2		-34.8		-43.3		-50.5		-53.0		-46.5			
収 益	増 加	6.7	-	13.3	6.7	7.1	6.7	6.7	7.1	6.7	-	7.1	-	6.7	14.3	7.7	6.7		7.7
	変 ら ず	53.3	75.0	53.4	60.0	28.6	53.3	26.7	21.4	53.3	33.3	28.6	53.3	46.6	35.7	53.8	60.0		53.8
	減 少	40.0	25.0	33.3	33.3	64.3	40.0	66.6	71.5	40.0	66.7	64.3	46.7	46.7	50.0	38.5	33.3		38.5
	D・I	-33.3	-25.0	-20.0	-26.6	-57.2	-33.3	-59.9	-64.4	-33.3	-66.7	-57.2	-46.7	-40.0	-35.7	-30.8	-26.6		-30.8
	修 正 値	<b>-29.0</b>	<b>-25.4</b>	<b>-15.9</b>	<b>-22.2</b>	<b>-58.7</b>	<b>-34.2</b>	<b>-57.9</b>	<b>-61.6</b>	<b>-28.9</b>	<b>-65.8</b>	<b>-53.5</b>	<b>-42.9</b>	<b>-40.1</b>	<b>-37.0</b>	<b>-29.8</b>	<b>-23.3</b>	<b>10.3</b>	<b>-30.8</b>
	傾 向 値	-26.1		-26.5		-30.7		-39.0		-42.6		-47.3		-49.8		-44.0			
価 格 動 向	販 売 価 格	-13.3	0.0	-6.6	-13.3	0.0	-6.6	-13.3	-7.2	-13.3	-13.3	-14.3	-13.3	-6.6	-21.5	0.0	-6.6		0.0
	〃 修 正 値	<b>-12.5</b>	<b>0.7</b>	<b>-5.4</b>	<b>-12.4</b>	<b>1.6</b>	<b>-2.6</b>	<b>-11.4</b>	<b>-5.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-13.0</b>	<b>-13.3</b>	<b>-12.6</b>	<b>-7.3</b>	<b>-17.5</b>	<b>-0.7</b>	<b>-6.6</b>	<b>6.6</b>	<b>-1.0</b>
	〃 傾 向 値	-5.6		-7.3		-6.5		-6.6		-8.3		-9.3		-11.1		-10.2			
	仕 入 価 格	13.3	18.8	26.7	6.6	35.7	33.3	6.6	28.6	6.6	20.0	21.4	0.0	20.0	7.1	15.4	26.7		15.4
	〃 修 正 値	<b>18.0</b>	<b>23.2</b>	<b>26.1</b>	<b>8.8</b>	<b>32.3</b>	<b>34.9</b>	<b>13.8</b>	<b>25.2</b>	<b>12.9</b>	<b>24.9</b>	<b>19.1</b>	<b>4.2</b>	<b>15.2</b>	<b>7.7</b>	<b>21.6</b>	<b>19.3</b>	<b>6.4</b>	<b>17.4</b>
	〃 傾 向 値	21.2		20.7		22.3		22.1		19.7		18.2		15.6		14.8			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-6.7	6.3	13.3	-6.7	7.1	6.6	-13.3	0.0	-13.3	-13.3	0.0	-20.0	6.7	7.1	7.7	6.7		7.7
	〃 修 正 値	<b>-3.1</b>	<b>5.6</b>	<b>12.3</b>	<b>-3.9</b>	<b>6.7</b>	<b>7.8</b>	<b>-12.2</b>	<b>-2.2</b>	<b>-7.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-2.9</b>	<b>-15.8</b>	<b>1.7</b>	<b>4.3</b>	<b>8.0</b>	<b>1.5</b>	<b>6.3</b>	<b>8.4</b>
	資 金 繰 り	-20.0	-12.5	-13.4	-20.0	-50.1	-33.3	-40.0	-57.2	-26.6	-40.0	-21.4	-40.0	-13.3	-7.2	-30.8	-13.3		-30.8
	〃 修 正 値	<b>-22.2</b>	<b>-17.6</b>	<b>-6.6</b>	<b>-20.6</b>	<b>-48.6</b>	<b>-24.7</b>	<b>-40.7</b>	<b>-56.1</b>	<b>-28.2</b>	<b>-41.9</b>	<b>-19.1</b>	<b>-41.5</b>	<b>-13.3</b>	<b>-4.1</b>	<b>-30.2</b>	<b>-13.8</b>	<b>-16.9</b>	<b>-30.1</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	-13.4		-13.3		-64.3		-59.9		-40.1		-57.2		-26.7		-15.4			
	収 益	-20.0		-26.6		-64.4		-59.9		-40.1		-57.2		-40.0		-23.1			
	販 売 価 格	0.0		-6.6		-21.5		-13.3		-26.7		-7.1		-6.6		0.0			
雇 用	残 業 時 間	-6.6	6.2	13.3	0.0	-28.6	-6.7	-20.0	-21.4	-20.0	-20.0	-21.4	-6.6	-6.7	-7.2	-7.7	-6.7		-7.7
	人 手	-20.0	-25.0	-20.0	-20.0	7.1	-20.0	-14.3	0.0	-14.3	-15.4	7.7	-14.3	0.0	7.7	-8.4	-7.2		-16.7
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	26.7	25.0	13.3	0.0	28.6	6.7	33.3	28.6	26.7	13.3	28.6	6.7	6.7	7.1	0.0	0.0		0.0
	借入しない/借入の予定なし(%)	73.3	75.0	86.7	100.0	71.4	93.3	66.7	71.4	73.3	86.7	71.4	93.3	93.3	92.9	100.0	100.0		100.0
	借 入 難 易 度	<b>-30.8</b>		<b>-33.3</b>		<b>-33.3</b>		<b>-21.5</b>		<b>-21.5</b>		<b>-23.1</b>		<b>-21.5</b>		<b>-25.0</b>			
有効回答事業所数	15		15		14		15		15		14		15		13				

卸売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-6.6	-6.3	-7.2	-6.6	-7.1	-7.2	-20.0	-14.3	-13.3	-20.0	-21.4	-13.3	-13.3	-14.3	-7.7	-13.3		-15.4
	実施した・予定あり	20.0	13.3	13.3	6.7	14.3	20.0	13.3	7.1	13.3	13.3	7.1	13.3	21.4	14.3	7.7	14.3		7.7
	事業用土地・建物	33.3	50.0	50.0	100.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-		100.0
	機械・設備の新・増設	-	-	-	-	-	33.3	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	33.3	50.0	-	50.0		-
	機械・設備の更改	33.3	50.0	50.0	100.0	50.0	66.7	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	66.7	100.0	100.0	50.0		100.0
	事務機器	33.3	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-		-
	車両	66.7	-	-	-	50.0	33.3	50.0	100.0	50.0	-	-	-	33.3	-	-	50.0		-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	80.0	86.7	86.7	93.3	85.7	80.0	86.7	92.9	86.7	86.7	92.9	86.7	78.6	85.7	92.3	85.7		92.3
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	40.0		40.0		28.6		40.0		53.3		64.3		66.7		61.5		
人手不足		26.7		26.7		21.4		13.3		13.3		14.3		6.7		7.7			
同業者間の競争の激化		46.7		33.3		21.4		26.7		33.3		35.7		33.3		38.5			
輸入品との競争の激化		6.7		6.7		7.1		6.7		6.7		7.1		6.7		-			
流通経路の変化による競争の激化		-		6.7		-		6.7		-		7.1		6.7		7.7			
合理化の不足		13.3		13.3		-		6.7		-		-		6.7		-			
小口注文・多頻度配送の増加		6.7		6.7		-		-		-		-		-		7.7			
利幅の縮小		13.3		6.7		21.4		20.0		13.3		7.1		20.0		30.8			
取扱商品の陳腐化		-		-		-		-		-		-		-		-			
販売商品の不足		-		6.7		-		6.7		13.3		7.1		-		-			
販売納入先からの値下げ要請		-		-		7.1		-		-		7.1		6.7		-			
仕入先からの値上げ要請		6.7		6.7		7.1		13.3		-		14.3		6.7		15.4			
人件費の増加		6.7		-		-		-		-		-		-		7.7			
人件費以外の経費の増加		-		6.7		7.1		6.7		6.7		7.1		-		-			
取引先の減少		20.0		13.3		7.1		13.3		20.0		21.4		13.3		7.7			
店舗の狭小・老朽化		-		-		-		6.7		-		-		-		7.7			
代金回収の悪化		-		6.7		-		-		-		-		6.7		-			
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-			
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		-		6.7		-			
天候の不順		6.7		6.7		-		-		-		-		-		7.7			
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-			
為替レートの変動		13.3		13.3		14.3		13.3		13.3		14.3		13.3		7.7			
大手企業・工場の縮小・撤退		13.3		6.7		14.3		13.3		13.3		7.1		13.3		7.7			
その他	6.7		13.3		35.7		13.3		13.3		21.4		13.3		7.7				
問題なし	6.7		6.7		7.1		6.7		-		-		-		-				
重点経営施策(%)	販路を広げる	73.3		66.7		50.0		60.0		60.0		78.6		66.7		69.2			
	経費を節減する	60.0		66.7		57.1		60.0		53.3		57.1		60.0		61.5			
	品揃えを充実する	13.3		6.7		-		13.3		6.7		7.1		6.7		-			
	情報力を強化する	33.3		6.7		28.6		26.7		26.7		35.7		33.3		23.1			
	新しい事業を始める	6.7		13.3		7.1		6.7		-		-		6.7		-			
	提携先を見つける	6.7		13.3		-		-		6.7		-		6.7		7.7			
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		14.3		-		7.7			
	人材を確保する	13.3		13.3		-		13.3		13.3		14.3		6.7		15.4			
	パート化を図る	-		6.7		-		6.7		6.7		-		-		-			
	教育訓練を強化する	6.7		-		14.3		6.7		13.3		-		6.7		-			
	流通経路の見直しをする	6.7		6.7		-		6.7		-		14.3		13.3		7.7			
	取引先を支援する	6.7		6.7		7.1		-		6.7		-		6.7		7.7			
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		7.1		6.7		6.7		-		-		-			
	労働条件を改善する	-		13.3		-		6.7		6.7		7.1		6.7		7.7			
	不動産の有効活用を図る	-		6.7		-		6.7		6.7		7.1		-		-			
その他	-		-		14.3		-		-		-		-		-				
特になし	13.3		13.3		14.3		13.3		13.3		7.1		6.7		7.7				
有効回答事業所数	15		15		14		15		15		14		15		13				

小売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期		
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期										
業 況	良	2.8	2.9	8.6	5.6	3.0	3.0	5.9	3.1	8.8	2.9	12.1	5.9	6.1	12.1	16.1	3.0	9.7	
	普	66.6	73.6	71.4	69.4	30.3	81.8	26.5	37.5	26.5	41.2	36.4	38.2	39.4	30.3	32.3	36.4	32.3	
	悪	30.6	23.5	20.0	25.0	66.7	15.2	67.6	59.4	64.7	55.9	51.5	55.9	54.5	57.6	51.6	60.6	58.0	
	D・I	-27.8	-20.6	-11.4	-19.4	-63.7	-12.2	-61.7	-56.3	-55.9	-53.0	-39.4	-50.0	-48.4	-45.5	-35.5	-57.6	-48.3	
	修正値	-27.4	-24.3	-12.8	-17.4	-59.3	-14.8	-58.8	-51.4	-55.7	-51.7	-44.4	-48.2	-42.7	-48.8	-32.9	-51.9	9.8	-47.5
	傾向値	-19.8		-20.5		-25.1		-36.2		-44.7		-51.7		-53.3		-48.1			
売 上 額	増	8.3	5.6	8.6	8.3	6.1	14.3	2.9	-	8.8	8.8	12.1	5.9	3.0	6.1	12.9	3.0	9.7	
	変	75.0	77.7	74.3	77.8	24.2	71.4	29.4	33.3	26.5	35.3	33.3	41.2	51.5	42.4	41.9	48.5	48.4	
	減	16.7	16.7	17.1	13.9	69.7	14.3	67.7	66.7	64.7	55.9	54.6	52.9	45.5	51.5	45.2	48.5	41.9	
	D・I	-8.4	-11.1	-8.5	-5.6	-63.6	0.0	-64.8	-66.7	-55.9	-47.1	-42.5	-47.0	-42.5	-45.4	-32.3	-45.5	-32.2	
	修正値	-10.1	-15.3	-4.7	-5.1	-59.1	-1.1	-62.2	-61.0	-56.6	-46.6	-43.1	-46.5	-35.9	-47.7	-29.3	-34.9	6.6	-32.3
	傾向値	-12.9		-11.4		-15.7		-29.3		-42.3		-52.5		-54.1		-47.4			
収 益	増	2.8	2.8	2.9	5.6	6.1	8.6	-	-	8.8	8.8	12.1	5.9	3.0	6.1	9.7	3.0	9.7	
	変	72.2	75.0	77.1	75.0	24.2	74.3	32.4	39.4	29.4	38.2	33.3	44.1	48.5	42.4	48.4	45.5	51.6	
	減	25.0	22.2	20.0	19.4	69.7	17.1	67.6	60.6	61.8	53.0	54.6	50.0	48.5	51.5	41.9	51.5	38.7	
	D・I	-22.2	-19.4	-17.1	-13.8	-63.6	-8.5	-67.6	-60.6	-53.0	-44.2	-42.5	-44.1	-45.5	-45.4	-32.2	-48.5	-29.0	
	修正値	-22.8	-23.9	-14.0	-12.8	-59.7	-9.5	-65.8	-55.0	-53.0	-44.4	-44.1	-42.7	-40.2	-47.4	-29.8	-40.0	10.4	-29.6
	傾向値	-17.1		-18.7		-24.1		-36.3		-46.5		-53.5		-54.4		-47.7			
価 格 動 向	販売価格	-2.8	-2.7	-14.3	-11.1	-18.2	-8.5	-23.5	-15.2	-5.9	-8.8	-3.1	-5.9	0.0	-12.1	0.0	0.0	0.0	
	修正値	-3.1	-1.2	-12.8	-12.0	-16.1	-7.0	-19.6	-12.8	-8.2	-8.4	-3.3	-6.3	0.0	-10.1	3.2	0.9	3.2	-0.9
	傾向値	-4.0		-4.9		-7.9		-12.5		-15.1		-14.1		-10.4		-5.2			
	仕入価格	5.6	11.1	0.0	5.6	-24.3	0.0	0.0	-15.2	-11.8	5.9	3.0	-5.9	3.0	-3.0	19.4	0.0	12.9	
	修正値	6.8	11.9	2.9	5.0	-20.7	4.0	-0.4	-11.7	-11.2	4.1	3.1	-6.1	7.0	-0.8	14.9	3.7	7.9	8.6
	傾向値	4.9		5.6		1.5		-3.6		-6.9		-8.7		-4.9		1.0			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	0.0	-5.6	2.9	-8.3	-9.1	-2.8	3.0	-3.0	11.8	0.0	15.2	8.8	18.2	12.2	9.7	15.2	6.5	
	修正値	1.0	-4.9	2.9	-7.5	-8.5	-2.7	3.5	-3.5	11.5	0.8	12.1	8.8	18.0	9.9	10.4	13.4	-7.6	7.7
	資金繰り	-22.2	-16.6	-17.1	-22.2	-48.4	-20.0	-41.2	-42.5	-44.2	-38.3	-45.5	-41.2	-39.4	-51.6	-35.5	-39.4	-32.2	
	修正値	-21.5	-15.9	-17.3	-21.9	-46.7	-19.7	-38.7	-40.1	-43.3	-36.8	-46.2	-40.5	-36.0	-51.0	-33.6	-35.3	2.4	-31.8
前 年 同 期 比	売上額	-16.7		-11.4		-63.6		-55.8		-61.7		-66.6		-33.3		-35.5			
	収益	-33.3		-20.0		-60.5		-61.8		-58.8		-66.6		-36.4		-38.7			
	販売価格	-5.6		-8.6		-27.3		-20.6		-2.9		-9.1		-6.1		0.0			
雇 用	残業時間	-5.6	0.0	0.0	-5.6	-12.2	2.9	-8.9	-15.2	-14.7	-8.9	-24.2	-20.6	-12.1	-18.1	-12.9	-18.2	-9.7	
	人手	-13.8	-17.1	-11.7	-13.9	-9.4	-20.6	-9.1	-3.1	-14.7	-12.2	-6.1	-20.6	-12.1	-6.0	-12.9	-3.1	-16.1	
	借入金	借入をし/借入の予定あり(%)	5.6	0.0	11.4	8.3	18.2	2.9	20.6	18.2	17.6	8.8	12.1	5.9	15.2	9.1	6.5	3.0	0.0
借入しない/借入の予定なし(%)	94.4	100.0	88.6	91.7	81.8	97.1	79.4	81.8	82.4	91.2	87.9	94.1	84.8	90.9	93.5	97.0	100.0		
借入難易度	-4.5		0.0		10.3		7.4		7.4		-8.0		-3.9		-12.5				
有効回答事業所数		36		35		33		34		34		33		33		31			

小売業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対前期比	令和3年 10月～12月期
		10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期		
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.6	-5.6	-2.9	-5.6	-15.2	-5.9	-5.9	-12.5	-2.9	-5.9	-9.1	-2.9	-9.4	-6.1	-9.7	-9.4		-9.7
	実施した・予定あり	5.9	5.9	9.1	2.9	3.0	12.1	5.9	3.0	2.9	5.9	6.3	5.9	6.1	3.2	6.5	3.1		6.7
	事業用土地・建物	-	-	33.3	-	-	25.0	50.0	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-		50.0
	事務機器	50.0	50.0	33.3	100.0	100.0	50.0	-	-	100.0	-	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0		50.0
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-		-
	その他	50.0	50.0	33.3	-	-	25.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	94.1	94.1	90.9	97.1	97.0	87.9	94.1	97.0	97.1	94.1	93.7	94.1	93.9	96.8	93.5	96.9		93.3
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	50.0		45.7		63.6		64.7		70.6		69.7		54.5		58.1			
	人手不足	11.1		20.0		9.1		14.7		11.8		9.1		18.2		22.6			
	同業者間の競争の激化	19.4		14.3		30.3		26.5		20.6		24.2		36.4		29.0			
	大型店との競争の激化	36.1		34.3		33.3		23.5		26.5		33.3		24.2		16.1			
	輸入製品との競争の激化	2.8		2.9		3.0		2.9		2.9		3.0		3.0		3.2			
	利幅の縮小	16.7		20.0		18.2		17.6		8.8		15.2		3.0		6.5			
	取扱商品の陳腐化	8.3		-		-		-		5.9		3.0		3.0		3.2			
	販売商品の不足	-		-		-		2.9		-		-		-		-			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-			
	仕入先からの値上げ要請	16.7		14.3		9.1		8.8		5.9		6.1		3.0		6.5			
	人件費の増加	2.8		5.7		3.0		2.9		5.9		6.1		6.1		9.7			
	人件費以外の経費の増加	-		-		-		-		-		-		-		-			
	取引先の減少	2.8		5.7		3.0		-		8.8		9.1		6.1		12.9			
	商圏人口の減少	-		-		3.0		-		2.9		6.1		-		3.2			
	商店街の集客力の低下	25.0		28.6		12.1		17.6		14.7		18.2		21.2		19.4			
	店舗の狭小・老朽化	11.1		11.4		6.1		5.9		5.9		-		9.1		19.4			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		-		-		5.9		-		-		-			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	8.3		2.9		3.0		8.8		2.9		9.1		3.0		6.5			
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		3.0		-				
その他	-		-		12.1		8.8		2.9		9.1		12.1		6.5				
問題なし	5.6		2.9		6.1		-		-		-		-		-				
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	52.8		37.1		42.4		41.2		35.3		33.3		33.3		19.4			
	経費を節減する	27.8		31.4		36.4		44.1		50.0		39.4		33.3		38.7			
	宣伝・広告を強化する	22.2		14.3		18.2		20.6		29.4		39.4		33.3		32.3			
	新しい事業を始める	2.8		2.9		-		-		2.9		-		-		3.2			
	店舗・設備を改装する	8.3		8.6		12.1		11.8		8.8		9.1		6.1		9.7			
	仕入先を開拓・選別する	11.1		11.4		3.0		2.9		5.9		6.1		3.0		3.2			
	営業時間を延長する	-		2.9		-		-		-		3.0		-		3.2			
	売れ筋商品を取り扱う	30.6		22.9		21.2		17.6		11.8		21.2		12.1		12.9			
	商店街事業を活性化させる	25.0		22.9		18.2		14.7		14.7		9.1		12.1		16.1			
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		3.0		6.5			
	人材を確保する	8.3		14.3		9.1		8.8		11.8		15.2		15.2		22.6			
	パート化を図る	-		8.6		3.0		5.9		-		-		3.0		-			
	教育訓練を強化する	2.8		-		-		2.9		8.8		3.0		-		-			
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	2.8		2.9		-		5.9		-		3.0		3.0		3.2			
	その他	-		-		-		-		-		3.0		3.0		-			
	特になし	8.3		5.7		12.1		2.9		2.9		3.0		9.1		6.5			
有効回答事業所数	36		35		33		34		34		33		33		31				

サービス業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	7月～9月期			
業 況	良	14.3	20.6	21.2	14.3	3.1	12.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	6.3	12.9	3.1		9.7	
	普	68.6	70.6	54.6	68.6	40.6	63.7	40.6	48.4	43.8	46.9	59.4	46.9	49.9	56.2	48.4	59.4		54.8	
	悪	17.1	8.8	24.2	17.1	56.3	24.2	56.3	48.4	53.1	50.0	37.5	50.0	43.8	37.5	38.7	37.5		35.5	
	D・I	-2.8	11.8	-3.0	-2.8	-53.2	-12.1	-53.2	-45.2	-50.0	-46.9	-34.4	-46.9	-37.5	-31.2	-25.8	-34.4		-25.8	
	修正値	-2.2	4.5	-2.1	-0.2	-49.9	-10.2	-51.8	-42.4	-49.4	-46.7	-36.3	-45.2	-34.5	-30.9	-25.1	-32.2	9.4	-26.2	
	傾向値	-0.6		-0.4		-7.8		-21.4		-34.0		-43.8		-45.7		-40.4				
売 上 額	増	17.1	19.4	18.2	17.1	3.1	12.1	6.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	6.3	12.9	3.1		12.9	
	変	60.0	72.3	57.6	62.9	37.5	63.7	31.3	50.0	40.6	50.0	53.1	53.1	49.9	59.3	54.8	71.9		61.3	
	減	22.9	8.3	24.2	20.0	59.4	24.2	62.4	46.9	56.3	46.9	43.8	43.8	43.8	34.4	32.3	25.0		25.8	
	D・I	-5.8	11.1	-6.0	-2.9	-56.3	-12.1	-56.1	-43.8	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7	-37.5	-28.1	-19.4	-21.9		-12.9	
	修正値	-3.5	7.3	-2.7	0.2	-53.8	-9.7	-55.0	-42.4	-51.6	-42.4	-39.1	-38.5	-34.8	-26.3	-20.9	-20.9	13.9	-13.5	
	傾向値	3.4		1.9		-7.3		-23.4		-37.0		-47.2		-49.2		-42.3				
収 益	増	14.3	11.1	12.1	11.4	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	3.1	12.9	3.1		9.7	
	変	65.7	80.6	63.7	65.7	40.6	75.8	37.5	46.9	40.6	50.0	53.1	53.1	49.9	59.4	51.6	71.9		64.5	
	減	20.0	8.3	24.2	22.9	56.3	21.2	59.4	50.0	56.3	46.9	43.8	43.8	43.8	37.5	35.5	25.0		25.8	
	D・I	-5.7	2.8	-12.1	-11.5	-53.2	-18.2	-56.3	-46.9	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7	-37.5	-34.4	-22.6	-21.9		-16.1	
	修正値	-3.8	0.0	-10.1	-8.8	-51.8	-16.0	-53.1	-45.9	-52.1	-41.6	-39.4	-38.5	-36.2	-32.2	-20.2	-22.1	16.0	-15.7	
	傾向値	-5.0		-5.7		-13.2		-25.8		-37.8		-47.3		-48.9		-42.7				
価 格 動 向	料	2.9	5.6	6.1	5.7	-9.3	3.0	-6.2	-6.2	-9.4	-6.2	-9.4	-3.2	0.0	-9.4	0.0	3.1		0.0	
	"	1.7	4.3	7.0	3.9	-9.4	5.9	-4.0	-6.9	-9.9	-5.4	-8.9	-5.1	-2.0	-6.9	0.3	0.1	2.3	-0.7	
	"	2.8		3.6		2.8		-0.2		-3.2		-6.6		-7.4		-5.5				
	材	11.4	19.4	12.1	11.4	-3.1	9.1	15.6	0.0	6.3	15.6	3.1	6.3	6.3	3.1	3.3	6.3		3.3	
	"	12.5	19.5	17.8	12.3	-3.2	10.9	13.2	1.3	6.3	13.0	4.8	6.8	7.3	3.9	1.9	9.4	-5.4	1.0	
	"	14.2		14.6		12.0		9.1		8.4		6.6		6.7		6.3				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資	5.7	0.0	-6.1	-2.9	-43.8	-9.1	-31.3	-34.4	-21.8	-21.9	-18.8	-9.3	-9.4	-21.9	-9.6	-6.2		-6.4	
	"	4.0	-1.1	-2.2	-3.6	-43.5	-6.3	-29.4	-34.1	-23.9	-20.8	-18.1	-12.2	-10.5	-19.4	-8.1	-7.6	2.4	-6.2	
前 年 同 期 比	売	0.0		-3.0		-59.4		-62.5		-56.3		-53.2		-40.6		-22.6				
	収	-8.6		-15.1		-59.4		-62.5		-56.3		-53.2		-40.6		-22.6				
雇 用	残	8.6	5.5	-3.2	0.0	-25.0	0.0	-15.7	-26.7	0.0	-12.5	-18.8	-3.1	-9.4	-15.6	-6.4	-6.3		-3.2	
	人	-28.6	-36.1	-25.0	-26.5	-9.3	-24.2	-3.2	-10.0	-6.2	-3.2	6.2	-3.1	0.0	6.2	-12.9	0.0		-12.9	
借 入 金	借	14.7	13.9	12.1	14.7	25.0	18.2	28.1	16.1	25.0	15.6	21.9	12.5	12.5	15.6	16.1	6.3		3.2	
	借	85.3	86.1	87.9	85.3	75.0	81.8	71.9	83.9	75.0	84.4	78.1	87.5	87.5	84.4	83.9	93.7		96.8	
	借	19.3		17.3		23.1		40.0		32.0		23.1		15.4		8.0				
有	35		33		32		32		32		32		32		31					

サービス業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期	
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期							
設備投資動向(%)	現在の設備	2.9	2.8	0.0	2.9	0.0	0.0	6.3	0.0	3.1	6.3	6.5	3.1	3.1	6.5	0.0	3.1		0.0	
	実施した・予定あり	20.0	11.4	15.2	11.8	12.5	9.4	3.1	13.3	0.0	6.5	3.1	0.0	15.6	3.2	12.9	18.8		12.9	
	事業用土地・建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	28.6	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	20.0	100.0	50.0	16.7		50.0	
	機械・設備の更改	42.9	50.0	40.0	50.0	25.0	66.7	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-		25.0	
	事務機器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両	42.9	25.0	60.0	50.0	75.0	33.3	100.0	75.0	-	100.0	-	-	80.0	-	25.0	83.3		25.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	80.0	88.6	84.8	88.2	87.5	90.6	96.9	86.7	100.0	93.5	96.9	100.0	84.4	96.8	87.1	81.2		87.1	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	20.0		30.3		53.1		53.1		53.1		56.3		62.5		61.3			
人手不足		34.3		30.3		15.6		12.5		18.8		12.5		6.3		19.4				
同業者間の競争の激化		51.4		36.4		31.3		34.4		31.3		46.9		40.6		29.0				
大企業との競争の激化		8.6		12.1		6.3		9.4		6.3		9.4		-		3.2				
合理化の不足		2.9		-		-		3.1		3.1		-		-		3.2				
利幅の縮小		17.1		21.2		21.9		9.4		6.3		15.6		12.5		12.9				
取扱事務の陳腐化		-		3.0		-		-		-		-		-		-				
材料価格の上昇		2.9		6.1		6.3		6.3		6.3		6.3		9.4		6.5				
料金の値下げ要請		5.7		6.1		-		3.1		3.1		-		-		6.5				
人件費の増加		11.4		12.1		9.4		12.5		9.4		6.3		9.4		6.5				
人件費以外の経費の増加		-		-		-		-		-		3.1		3.1		-				
技術力の不足		-		3.0		-		-		-		-		-		-				
取引先の減少		2.9		-		-		-		3.1		3.1		9.4		6.5				
商圏人口の減少		-		-		-		-		-		3.1		-		3.2				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-				
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		3.1		-		-				
店舗・設備の狭小・老朽化		8.6		6.1		-		-		-		-		-		-				
代金回収の悪化		2.9		3.0		3.1		3.1		3.1		-		-		-				
天候の不順		-		-		6.3		6.3		3.1		-		-		-				
地場産業の衰退		2.9		3.0		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-				
その他		-		-		12.5		3.1		15.6		9.4		15.6		16.1				
問題なし		11.4		9.1		9.4		9.4		9.4		9.4		9.4		9.7				
重点経営施策(%)		販路を広げる	28.6		36.4		34.4		46.9		53.1		46.9		50.0		48.4			
		経費を節減する	48.6		45.5		50.0		53.1		53.1		53.1		56.3		48.4			
	宣伝・広告を強化する	20.0		18.2		18.8		21.9		18.8		25.0		31.3		25.8				
	新しい事業を始める	2.9		3.0		3.1		3.1		6.3		6.3		6.3		3.2				
	店舗・設備を改装する	5.7		6.1		-		-		-		-		-		-				
	提携先を見つける	8.6		9.1		6.3		6.3		3.1		6.3		-		6.5				
	技術力を強化する	8.6		15.2		15.6		9.4		6.3		6.3		18.8		16.1				
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	人材を確保する	22.9		24.2		21.9		15.6		18.8		18.8		12.5		12.9				
	パート化を図る	5.7		3.0		-		-		-		-		-		3.2				
	教育訓練を強化する	11.4		12.1		6.3		6.3		3.1		6.3		3.1		-				
	労働条件を改善する	2.9		3.0		3.1		3.1		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	その他	-		-		3.1		-		-		-		-		-				
	特になし	17.1		12.1		18.8		18.8		3.1		6.3		6.3		9.7				
有効回答事業所数	35		33		32		32		32		32		32		31					

建設業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	7月～9月期			
業 況	良	26.9	23.1	30.8	24.0	4.0	16.7	3.7	-	3.7	3.7	4.0	7.4	19.2	4.2	11.5	3.8		7.7	
	普	73.1	69.2	61.5	64.0	36.0	75.0	66.7	50.0	63.0	63.0	48.0	48.2	53.9	45.8	65.4	53.9		65.4	
	悪	-	7.7	7.7	12.0	60.0	8.3	29.6	50.0	33.3	33.3	48.0	44.4	26.9	50.0	23.1	42.3		26.9	
	D・I	26.9	15.4	23.1	12.0	-56.0	8.4	-25.9	-50.0	-29.6	-29.6	-44.0	-37.0	-7.7	-45.8	-11.6	-38.5		-19.2	
	修正値	<b>24.2</b>	<b>19.1</b>	<b>19.7</b>	<b>13.4</b>	<b>-51.6</b>	<b>4.0</b>	<b>-20.4</b>	<b>-45.1</b>	<b>-30.4</b>	<b>-24.9</b>	<b>-44.2</b>	<b>-34.1</b>	<b>-2.3</b>	<b>-47.3</b>	<b>-7.9</b>	<b>-32.9</b>	<b>-5.6</b>	<b>-19.3</b>	
	傾向値	18.6		21.2		13.6		-2.0		-15.0		-30.5		-32.8		-25.0				
売 上 額	増	26.9	18.5	34.6	26.9	-	19.2	3.7	4.0	14.8	14.8	3.7	3.7	19.2	22.2	15.4	19.2		7.7	
	変	69.3	74.1	57.7	61.6	32.0	65.4	63.0	48.0	51.9	59.3	55.6	51.9	50.0	37.0	50.0	46.2		61.5	
	減	3.8	7.4	7.7	11.5	68.0	15.4	33.3	48.0	33.3	25.9	40.7	44.4	30.8	40.8	34.6	34.6		30.8	
	D・I	23.1	11.1	26.9	15.4	-68.0	3.8	-29.6	-44.0	-18.5	-11.1	-37.0	-40.7	-11.6	-18.6	-19.2	-15.4		-23.1	
	修正値	<b>24.6</b>	<b>12.0</b>	<b>18.7</b>	<b>12.3</b>	<b>-63.8</b>	<b>2.9</b>	<b>-25.5</b>	<b>-37.3</b>	<b>-18.3</b>	<b>-9.7</b>	<b>-40.1</b>	<b>-39.8</b>	<b>-0.8</b>	<b>-20.4</b>	<b>-14.9</b>	<b>-8.7</b>	<b>-14.1</b>	<b>-24.1</b>	
	傾向値	17.9		18.4		8.8		-6.8		-17.1		-30.3		-31.2		-22.9				
受 注 残	増	30.8	25.9	26.9	19.2	-	11.5	7.4	8.0	18.5	11.1	7.4	3.7	19.2	22.2	11.5	15.4		7.7	
	変	61.5	66.7	65.4	73.1	36.0	73.1	55.6	48.0	48.2	55.6	51.9	51.9	57.7	40.8	53.9	50.0		61.5	
	減	7.7	7.4	7.7	7.7	64.0	15.4	37.0	44.0	33.3	33.3	40.7	44.4	23.1	37.0	34.6	34.6		30.8	
	D・I	23.1	18.5	19.2	11.5	-64.0	-3.9	-29.6	-36.0	-14.8	-22.2	-33.3	-40.7	-3.9	-14.8	-23.1	-19.2		-23.1	
	修正値	<b>23.3</b>	<b>19.9</b>	<b>14.3</b>	<b>9.4</b>	<b>-60.3</b>	<b>-2.4</b>	<b>-25.7</b>	<b>-30.2</b>	<b>-15.5</b>	<b>-19.9</b>	<b>-35.1</b>	<b>-39.2</b>	<b>1.8</b>	<b>-15.8</b>	<b>-18.4</b>	<b>-15.5</b>	<b>-20.2</b>	<b>-22.4</b>	
	傾向値	23.3		22.3		10.7		-6.8		-17.6		-28.9		-27.9		-19.6				
施 工 高	増	26.9	18.5	30.8	15.4	4.0	15.4	7.4	-	18.5	18.5	7.4	7.4	19.2	18.5	7.7	15.4		7.7	
	変	69.3	74.1	61.5	76.9	40.0	69.2	59.3	60.0	55.6	55.6	55.6	59.3	57.7	51.9	61.5	53.8		69.2	
	減	3.8	7.4	7.7	7.7	56.0	15.4	33.3	40.0	25.9	25.9	37.0	33.3	23.1	29.6	30.8	30.8		23.1	
	D・I	23.1	11.1	23.1	7.7	-52.0	0.0	-25.9	-40.0	-7.4	-7.4	-29.6	-25.9	-3.9	-11.1	-23.1	-15.4		-15.4	
	修正値	<b>22.9</b>	<b>13.4</b>	<b>16.2</b>	<b>4.1</b>	<b>-45.9</b>	<b>0.0</b>	<b>-22.5</b>	<b>-33.4</b>	<b>-9.7</b>	<b>-6.2</b>	<b>-32.4</b>	<b>-26.6</b>	<b>6.2</b>	<b>-13.4</b>	<b>-18.3</b>	<b>-8.0</b>	<b>-24.5</b>	<b>-17.2</b>	
	傾向値	14.9		15.4		8.8		-3.3		-11.7		-22.1		-22.7		-16.4				
収 益	増	30.8	18.5	15.4	19.2	-	11.5	3.7	4.0	18.5	14.8	11.1	3.7	19.2	14.8	7.7	11.5		7.7	
	変	61.5	70.4	73.1	65.4	44.0	69.3	59.3	56.0	48.2	55.6	51.9	55.6	53.9	51.9	65.4	57.7		69.2	
	減	7.7	11.1	11.5	15.4	56.0	19.2	37.0	40.0	33.3	29.6	37.0	40.7	26.9	33.3	26.9	30.8		23.1	
	D・I	23.1	7.4	3.9	3.8	-56.0	-7.7	-33.3	-36.0	-14.8	-14.8	-25.9	-37.0	-7.7	-18.5	-19.2	-19.3		-15.4	
	修正値	<b>20.2</b>	<b>5.0</b>	<b>3.5</b>	<b>2.4</b>	<b>-52.0</b>	<b>-5.1</b>	<b>-29.3</b>	<b>-30.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-17.6</b>	<b>-25.9</b>	<b>-35.5</b>	<b>-2.5</b>	<b>-16.8</b>	<b>-14.2</b>	<b>-14.0</b>	<b>-11.7</b>	<b>-19.4</b>	
	傾向値	12.0		12.7		3.2		-11.0		-20.3		-28.8		-26.5		-18.7				
価 格 動 向	請	3.9	7.4	15.4	-3.9	-28.0	11.5	-18.5	-20.0	-7.4	-3.7	-11.1	-11.1	0.0	-18.5	-7.7	-7.7		-7.7	
	修正値	<b>7.6</b>	<b>8.4</b>	<b>16.8</b>	<b>-2.8</b>	<b>-26.2</b>	<b>12.1</b>	<b>-19.2</b>	<b>-19.4</b>	<b>-5.4</b>	<b>-5.0</b>	<b>-11.5</b>	<b>-8.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>-17.3</b>	<b>-8.0</b>	<b>-7.8</b>	<b>-7.6</b>	<b>-10.6</b>	
	傾向値	6.4		8.2		5.6		-3.1		-8.2		-12.9		-12.8		-7.9				
	材	46.2	29.6	42.3	42.3	0.0	27.0	7.4	0.0	22.2	7.4	7.4	14.8	-3.8	7.4	23.1	-7.7		15.4	
	修正値	<b>49.2</b>	<b>34.9</b>	<b>38.8</b>	<b>43.7</b>	<b>4.7</b>	<b>25.5</b>	<b>12.6</b>	<b>2.5</b>	<b>22.6</b>	<b>13.3</b>	<b>3.5</b>	<b>14.7</b>	<b>0.3</b>	<b>3.2</b>	<b>26.6</b>	<b>-4.4</b>	<b>26.3</b>	<b>19.0</b>	
	傾向値	37.3		40.1		35.9		27.7		21.0		13.6		8.8		10.3				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在	-3.9	0.0	-7.7	-3.9	-20.0	-7.7	-11.1	-12.0	-3.7	-11.1	-3.7	3.7	-3.9	-3.7	-7.7	-3.9		-3.8	
	修正値	<b>-2.1</b>	<b>-2.0</b>	<b>-5.1</b>	<b>-3.5</b>	<b>-19.0</b>	<b>-8.1</b>	<b>-9.7</b>	<b>-9.0</b>	<b>-4.1</b>	<b>-11.6</b>	<b>-2.4</b>	<b>2.4</b>	<b>-2.9</b>	<b>-3.8</b>	<b>-6.1</b>	<b>0.4</b>	<b>-3.2</b>	<b>-3.5</b>	
	資	3.9	-3.7	3.9	-3.9	-28.0	-3.9	-11.1	-16.0	-7.4	-11.1	0.0	0.0	7.7	-3.7	0.0	3.8		3.9	
	修正値	<b>2.1</b>	<b>1.9</b>	<b>2.9</b>	<b>-7.1</b>	<b>-25.5</b>	<b>-4.7</b>	<b>-7.7</b>	<b>-15.2</b>	<b>-10.0</b>	<b>-7.8</b>	<b>-5.0</b>	<b>-4.9</b>	<b>8.5</b>	<b>-6.6</b>	<b>1.5</b>	<b>2.2</b>	<b>-7.0</b>	<b>5.4</b>	
前 年 同 期 比	売	23.1		15.4		-64.0		-29.6		-25.9		-33.4		-11.6		-11.5				
	収	19.2		0.0		-56.0		-29.6		-14.8		-22.3		-15.4		-19.3				
雇 用	残	3.8	-18.5	3.8	0.0	-36.0	4.2	-14.8	-20.8	3.7	-4.0	0.0	3.7	0.0	0.0	-7.7	7.7		-3.9	
	人	-34.6	-40.7	-38.5	-28.0	-20.0	-47.8	-18.5	-25.0	-18.5	-28.0	-11.1	-18.5	-7.7	-14.8	-15.4	-19.3		-15.4	
借 入 金	借	30.8	33.3	38.5	30.8	32.0	24.0	48.1	45.8	46.2	26.9	25.9	23.1	23.1	7.4	23.1	8.0		15.4	
	借	69.2	66.7	61.5	69.2	68.0	76.0	51.9	54.2	53.8	73.1	74.1	76.9	76.9	92.6	76.9	92.0		84.6	
	借	<b>8.3</b>		<b>20.0</b>		<b>8.4</b>		<b>11.5</b>		<b>19.2</b>		<b>7.7</b>		<b>12.0</b>		<b>4.0</b>				
有	26		26		26		27		27		27		27		26					

建設業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期	
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期							
設備投資動向(%)	現在の設備	-4.0	-3.8	-4.2	0.0	-8.0	-4.3	-7.4	-8.0	-3.8	-7.4	0.0	-3.8	0.0	0.0	-4.0	0.0		-4.0	
	実施した・予定あり	24.0	15.4	21.7	20.8	20.0	30.4	22.2	16.0	18.5	18.5	18.5	18.5	19.2	14.8	19.2	15.4		19.2	
	事業用土地・建物	16.7	-	40.0	20.0	-	28.6	16.7	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0		20.0	
	機械・設備の新・増設	33.3	50.0	60.0	20.0	20.0	42.9	16.7	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0		20.0	
	機械・設備の更改	33.3	50.0	20.0	40.0	40.0	14.3	50.0	50.0	60.0	40.0	20.0	40.0	40.0	25.0	60.0	50.0		60.0	
	事務機器	16.7	-	20.0	40.0	60.0	42.9	16.7	25.0	20.0	40.0	-	40.0	20.0	25.0	60.0	50.0		20.0	
	車両	50.0	50.0	20.0	40.0	20.0	42.9	50.0	50.0	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	50.0	20.0	25.0		20.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	76.0	84.6	78.3	79.2	80.0	69.6	77.8	84.0	81.5	81.5	81.5	81.5	80.8	85.2	80.8	84.6		80.8	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	15.4		23.1		34.6		37.0		40.7		44.4		37.0		42.3			
人手不足		50.0		50.0		34.6		29.6		25.9		29.6		18.5		19.2				
大手企業との競争の激化		11.5		11.5		11.5		11.1		11.1		14.8		18.5		7.7				
同業者間の競争の激化		26.9		23.1		26.9		33.3		37.0		44.4		33.3		26.9				
親企業による選別の強化		-		-		-		-		-		-		3.7		-				
合理化の不足		-		-		7.7		3.7		3.7		3.7		7.4		7.7				
利幅の縮小		15.4		7.7		15.4		18.5		14.8		14.8		14.8		23.1				
材料価格の上昇		34.6		30.8		19.2		22.2		22.2		18.5		25.9		30.8				
下請の確保難		23.1		23.1		19.2		7.4		7.4		11.1		11.1		3.8				
駐車場・資材置場の確保難		-		3.8		-		-		-		-		-		-				
人件費の増加		7.7		15.4		23.1		25.9		29.6		22.2		18.5		11.5				
人件費以外の経費の増加		3.8		-		-		3.7		-		-		-		3.8				
技術力の不足		-		-		-		-		7.4		-		7.4		-				
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		7.7		7.7		3.8		3.7		-		3.7		3.7		7.7				
地場産業の衰退		-		3.8		-		-		7.4		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-				
その他	3.8		-		11.5		7.4		3.7		-		3.7		-					
問題なし	15.4		11.5		7.7		7.4		7.4		14.8		14.8		19.2					
重点経営施策(%)	販路を広げる	30.8		38.5		38.5		37.0		29.6		37.0		33.3		38.5				
	経費を節減する	50.0		53.8		42.3		44.4		51.9		51.9		55.6		46.2				
	情報力を強化する	15.4		11.5		7.7		14.8		14.8		18.5		22.2		26.9				
	新しい工法を導入する	7.7		7.7		11.5		14.8		18.5		22.2		7.4		3.8				
	新しい事業を始める	-		-		3.8		-		-		-		-		-				
	技術力を高める	23.1		26.9		19.2		25.9		33.3		25.9		18.5		26.9				
	人材を確保する	50.0		46.2		38.5		40.7		40.7		37.0		33.3		34.6				
	パート化を図る	-		-		-		-		3.7		-		-		-				
	教育訓練を強化する	11.5		3.8		15.4		11.1		14.8		14.8		11.1		15.4				
	労働条件を改善する	7.7		15.4		11.5		3.7		14.8		7.4		7.4		7.7				
	不動産の有効活用を図る	3.8		7.7		-		3.7		3.7		7.4		3.7		3.8				
	その他	3.8		-		3.8		-		-		-		-		-				
特になし	11.5		7.7		7.7		7.4		3.7		7.4		11.1		11.5					
有効回答事業所数	26		26		26		27		27		27		27		26					



不動産業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 10月～12月期		
		10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期					
業 況	良	27.8	5.6	22.2	5.9	5.6	-	5.9	-	5.6	5.9	11.1	-	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
	普	50.0	83.3	72.2	82.3	38.9	94.4	70.6	41.2	66.6	70.6	72.2	77.8	77.7	72.2	66.6	83.3	72.2	
	悪	22.2	11.1	5.6	11.8	55.5	5.6	23.5	58.8	27.8	23.5	16.7	22.2	16.7	22.2	27.8	11.1	22.2	
	D・I	5.6	-5.5	16.6	-5.9	-49.9	-5.6	-17.6	-58.8	-22.2	-17.6	-5.6	-22.2	-11.1	-16.6	-22.2	-5.5	-16.6	
	修正値	<b>8.9</b>	<b>-1.4</b>	<b>7.6</b>	<b>-7.1</b>	<b>-43.1</b>	<b>-7.4</b>	<b>-15.8</b>	<b>-54.8</b>	<b>-21.2</b>	<b>-14.6</b>	<b>-14.0</b>	<b>-23.4</b>	<b>1.8</b>	<b>-19.9</b>	<b>-20.4</b>	<b>0.3</b>	<b>-22.2</b>	<b>-12.9</b>
	傾向値	13.7		10.8		3.5		-7.1		-14.8		-21.1		-19.0		-14.7			
	傾																		
売 上 額	増	22.2	5.6	22.2	16.7	16.7	5.6	11.8	11.1	5.9	-	11.1	11.1	-	5.6	5.6	5.6	16.7	
	変	55.6	88.8	66.7	61.1	22.2	88.8	58.8	33.3	58.8	70.6	61.1	66.7	61.1	61.1	50.0	66.6	66.6	
	減	22.2	5.6	11.1	22.2	61.1	5.6	29.4	55.6	35.3	29.4	27.8	22.2	38.9	33.3	44.4	27.8	16.7	
	D・I	0.0	0.0	11.1	-5.5	-44.4	0.0	-17.6	-44.5	-29.4	-29.4	-16.7	-11.1	-38.9	-27.7	-38.8	-22.2	0.0	
	修正値	<b>-2.0</b>	<b>2.2</b>	<b>4.5</b>	<b>-6.7</b>	<b>-36.0</b>	<b>-2.3</b>	<b>-16.1</b>	<b>-36.6</b>	<b>-28.7</b>	<b>-26.6</b>	<b>-21.9</b>	<b>-13.4</b>	<b>-28.1</b>	<b>-30.6</b>	<b>-37.2</b>	<b>-13.1</b>	<b>-9.1</b>	<b>1.4</b>
	傾向値	15.6		10.7		2.1		-9.1		-16.4		-23.6		-26.3		-28.3			
	傾																		
収 益	増	22.2	-	22.2	16.7	11.1	11.1	5.9	11.1	5.6	-	-	11.1	-	5.6	11.1	5.6	11.1	
	変	50.0	94.4	66.7	61.1	38.9	83.3	70.6	50.0	61.1	70.6	72.2	66.7	61.1	61.1	50.0	66.6	66.7	
	減	27.8	5.6	11.1	22.2	50.0	5.6	23.5	38.9	33.3	29.4	27.8	22.2	38.9	33.3	38.9	27.8	22.2	
	D・I	-5.6	-5.6	11.1	-5.5	-38.9	5.5	-17.6	-27.8	-27.7	-29.4	-27.8	-11.1	-38.9	-27.7	-27.8	-22.2	-11.1	
	修正値	<b>-7.9</b>	<b>-5.1</b>	<b>5.2</b>	<b>-5.8</b>	<b>-31.0</b>	<b>1.5</b>	<b>-15.0</b>	<b>-19.7</b>	<b>-27.0</b>	<b>-26.6</b>	<b>-30.6</b>	<b>-12.1</b>	<b>-30.7</b>	<b>-31.5</b>	<b>-27.0</b>	<b>-16.0</b>	<b>3.7</b>	<b>-7.7</b>
	傾向値	14.1		7.9		0.0		-9.9		-15.5		-23.1		-28.0		-29.3			
	傾																		
価 格 動 向	販	0.0	5.5	11.1	5.6	-22.2	0.0	-18.8	-11.1	-11.1	-18.8	-11.1	-11.1	-5.5	-11.1	0.0	0.0	5.5	
	修正値	<b>2.5</b>	<b>7.2</b>	<b>11.3</b>	<b>5.0</b>	<b>-17.8</b>	<b>4.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-8.8</b>	<b>-9.0</b>	<b>-18.1</b>	<b>-12.8</b>	<b>-11.4</b>	<b>-1.6</b>	<b>-9.7</b>	<b>-0.3</b>	<b>2.2</b>	<b>1.3</b>	<b>3.7</b>
	傾向値	6.5		5.7		2.1		-4.4		-8.9		-13.0		-13.7		-9.3			
	仕	0.0	11.1	16.7	0.0	-11.1	11.1	-12.5	-11.1	0.0	-12.5	0.0	0.0	16.6	0.0	5.6	11.1	-5.5	
	修正値	<b>4.4</b>	<b>13.3</b>	<b>17.1</b>	<b>2.6</b>	<b>-8.9</b>	<b>12.2</b>	<b>-9.0</b>	<b>-7.5</b>	<b>1.4</b>	<b>-11.7</b>	<b>-1.0</b>	<b>0.5</b>	<b>16.7</b>	<b>0.2</b>	<b>9.7</b>	<b>14.5</b>	<b>-7.0</b>	<b>-2.6</b>
	傾向値	17.2		13.5		8.3		1.2		-1.7		-3.8		-2.4		3.3			
	傾																		
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在	-22.2	-27.8	-22.2	-16.6	-16.7	-22.2	-29.4	-16.7	-17.6	-29.4	-11.1	-23.5	-22.2	-11.1	-11.1	-22.2	-16.6	
	修正値	<b>-22.8</b>	<b>-23.0</b>	<b>-20.0</b>	<b>-15.8</b>	<b>-17.6</b>	<b>-23.9</b>	<b>-26.5</b>	<b>-18.9</b>	<b>-17.3</b>	<b>-23.3</b>	<b>-10.8</b>	<b>-22.1</b>	<b>-21.3</b>	<b>-13.5</b>	<b>-8.9</b>	<b>-22.4</b>	<b>12.4</b>	<b>-11.1</b>
	資	-5.6	-5.5	0.0	-5.6	0.0	0.0	-5.9	-5.6	-5.6	0.0	11.1	-5.6	0.0	11.1	-5.5	0.0	-5.5	
	修正値	<b>-3.9</b>	<b>-0.4</b>	<b>-2.4</b>	<b>-6.0</b>	<b>-2.4</b>	<b>-2.6</b>	<b>-0.8</b>	<b>-5.5</b>	<b>-3.4</b>	<b>4.3</b>	<b>8.0</b>	<b>-4.6</b>	<b>-1.5</b>	<b>6.2</b>	<b>0.7</b>	<b>1.1</b>	<b>2.2</b>	<b>0.2</b>
前 年 同 期 比	売	-16.6		5.5		-33.4		-29.4		-49.9		-44.4		-38.9		-50.0			
	取	-16.6		-5.5		-27.8		-41.2		-44.4		-44.4		-38.9		-33.3			
雇 用	残	-5.5	-5.5	5.6	0.0	-33.3	0.0	0.0	-16.6	-11.1	0.0	-16.7	-11.1	-16.7	-11.1	-22.2	-16.7	-16.7	
	人	-11.1	-22.2	-27.7	-16.6	-17.6	-27.7	-17.6	-17.6	-11.1	-17.6	-22.2	-16.6	-16.7	-16.7	-16.6	-11.1	-11.1	
借 入 金	借	33.3	38.9	38.9	33.3	27.8	27.8	47.1	33.3	38.9	17.6	22.2	16.7	33.3	22.2	23.5	27.8	22.2	
	借	66.7	61.1	61.1	66.7	72.2	72.2	52.9	66.7	61.1	82.4	77.8	83.3	66.7	77.8	76.5	72.2	77.8	
	借	<b>5.8</b>		<b>13.4</b>		<b>26.7</b>		<b>21.4</b>		<b>12.5</b>		<b>18.8</b>		<b>25.0</b>		<b>18.8</b>			
有効回答事業所数		18		18		18		18		18		18		18		18			

不動産業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年7月~9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	対 前期比	令和3年 10月~12月期
		10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期		
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	22.2	11.1	27.8	16.7	27.8	33.3	27.8	33.3		
	人手不足	22.2	16.7	11.1	16.7	11.1	5.6	-	11.1		
	大手企業との競争の激化	11.1	5.6	11.1	5.6	11.1	16.7	5.6	5.6		
	同業者間の競争の激化	55.6	66.7	66.7	55.6	50.0	50.0	44.4	44.4		
	利幅の縮小	16.7	22.2	27.8	27.8	22.2	11.1	16.7	27.8		
	商品物件の不足	27.8	27.8	16.7	16.7	16.7	16.7	27.8	22.2		
	商品物件の高騰	16.7	11.1	5.6	5.6	5.6	11.1	11.1	16.7		
	人件費の増加	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	11.1	11.1	-		
	人件費以外の経費の増加	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	-		
	代金回収の悪化	-	-	11.1	11.1	5.6	5.6	-	-		
重点経営施策(%)	販路を広げる	22.2	33.3	33.3	27.8	33.3	33.3	27.8	27.8		
	経費を節減する	27.8	33.3	44.4	38.9	22.2	38.9	33.3	27.8		
	宣伝・広告を強化する	50.0	44.4	50.0	27.8	33.3	44.4	16.7	22.2		
	情報力を強化する	44.4	50.0	50.0	44.4	38.9	27.8	27.8	50.0		
	新しい事業を始める	16.7	-	-	-	5.6	-	5.6	-		
	提携先を見つける	5.6	5.6	5.6	11.1	5.6	-	5.6	5.6		
	機械化を推進する	-	-	-	5.6	5.6	-	-	-		
	人材を確保する	22.2	27.8	22.2	16.7	16.7	11.1	16.7	11.1		
	パート化を図る	-	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-	-		
	教育訓練を強化する	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	11.1	-	11.1		
	労働条件を改善する	-	-	11.1	11.1	11.1	-	-	5.6		
不動産の有効活用を図る	16.7	16.7	5.6	16.7	11.1	27.8	33.3	27.8			
その他	-	-	5.6	-	-	-	5.6	-			
特になし	5.6	-	-	-	11.1	5.6	-	-			
有効回答事業所数	18	18	18	18	18	18	18	18			

---

## 杉並区 中小企業の景況

令和3年度第2四半期（令和3年7月～9月）

令和3年11月 発行

登録印刷物番号
---------

03-0015 (3)
-------------

【発行】 杉並区 産業振興センター  
杉並区上荻 1-2-1 Daiwa 荻窪タワー2 階  
TEL：03（5347）9077

【調査機関】 一般社団法人 東京都信用金庫協会  
中央区京橋 3-8-1 信用金庫会館 京橋別館 12F  
TEL：03（6228）8556

【分析委託業者】 株式会社 サーベイリサーチセンター

---